

Data Projector

簡易説明書 _____ JP
Quick Reference Manual _____ GB
Guide de référence rapide _ FR
Manual de referencia rápida _ ES
Kurzreferenz _____ DE
Guida rapida all'uso _____ IT
Краткое справочное руководство _ RU

よくあるお問い合わせはホームページをご利用ください。
<http://www.sony.jp/professional/support/>

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

VPL-FHZ75/FHZ70

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。



5002991040

このマニュアルについて

本書は、本機で映像を映すまでの簡単な説明と、本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

「インジケータの見かた」、「エアーフィルターを掃除する」、「投写レンズを交換する」は必要に応じてご覧ください。

操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

Step 1

準備する 16 ページ

Step 2

接続する 21 ページ

Step 3

投写する 23 ページ

インジケータの見かた 27 ページ

エアーフィルターを掃除する 29 ページ

投写レンズを交換する 30 ページ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検（有料）を、ソニーの修理窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、ソニーの修理窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源コードや接続コードを抜く。
- ❸ ソニーの修理窓口連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

JP



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口に変換をご相談ください。

付属の電源コードを使用する



注意

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない



禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

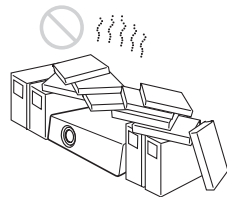
排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。充分に通気ができるように以下の項目をお守りください。

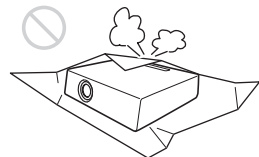
- ・ 周辺の壁や物から離して設置してください(14 ページ)。



- ・ 吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしない。



- ・ 出荷時に包装されているシート、柔らかい布地、書類、毛足の長いじゅうたん、小さい紙などの上に設置しない。吸い上げられて、吸気口がふさがれます。



熱感知器や煙感知器のそばに設置しない



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

レンズ交換は天吊り状態で行わない



禁止

天吊り状態でレンズ交換を行なうとレンズの落下によりけがや事故の原因となります。

レンズ交換の際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズ交換は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

指定された部品を使用する



指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの修理窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの修理窓口にご連絡ください。

レンズをのぞかない



禁止

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

電源コードのアース端子から外した絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する



注意

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

プロジェクターにぶら下らない



禁止

落下してけがの原因となります。

子供だけで使用させない



禁止

レーザー点灯中にレンズの覗きこみや高温部への接触により、目を傷めたり、やけどをする可能性があります。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に
損害を与えることがあります

不安定な場所に置かない



禁止

ぐらついた台の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

製品の上に物を載せない



禁止

製品の上に物を載せると、故障や事故の原因となります。特に、水が入った物をおくと内部に水が入り、火災や感電の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない



禁止

火災の原因となることがあります。

本機を立てておかない



禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

電源コード、接続ケーブルに足を引っ掛けない



注意

電源コードや接続ケーブルに足を引っ掛けると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みこみに注意する



手を挟まれないよう注意

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

運搬・移動は慎重に行う



注意

- ・ 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・ キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

運搬するときは必ず左右側面を2人で持つ



注意

運搬するときは、必ず左右側面のくぼみを2人で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。

床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

本機を運搬するときは落下に注意する



注意

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

天吊り状態でエアフィルターを取り外す際は、周りに人がいない事を確認してから取り外す



注意

天吊りのままエアフィルターを取りはずす際は落下に注意しないと思わぬ事故の原因となります。

定期的にフィルターに汚れが無いことを確認する



注意

万が一汚れているときにはクリーニングする、または交換してください。
放置すると火災の原因になることがあります。

排気口付近に手や物を近づけない



高温

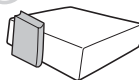
排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置くとやけどや変形の原因になります。

投写中にレンズの前で光を遮らない



禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。
投写を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。



キャビネットのカバー類はしっかり固定する



指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

レンズシフト調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

レンズと本体の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

脚部調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

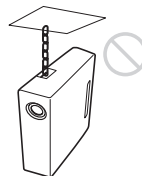
前脚部の調整は慎重に行ってください。前脚部に指を挟み、けがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使しない



禁止

盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊下げなどの設置に使用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。



排気口をのぞかない



禁止

光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

天吊り状態で端子カバーを取り付ける際は確実に固定されたことを確認する、また取り外す際は周りに人がいないことを確認する



注意

天吊りのまま操作する際は落下に注意しないと、思わぬ事故の原因になります。

製品本体へ確実にレンズを取り付ける



注意

確実に取り付けないとレンズが外れてけがや事故の原因となります。

レンズの取り外し以外では LENS RELEASE ボタンを押さない



禁止

レンズが緩み落下によるけがや事故の原因となります。

プロジェクターの電源を投入する際は、投写レンズをのぞき込む人がいないことを確認する



注意

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

梱包用のレンズ保護キャップを付けたまま投写しない



禁止

投写する前に必ず梱包用のレンズ保護キャップをはずしてください。梱包用のレンズ保護キャップを付けたまま投写すると、熱によりキャップが溶け出す場合があります。

特約店様へ



天井への取り付けには細心の注意を要する



注意

- ・天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながることがあります。必ずソニー製または推奨の取付金具を使用してください。
- ・取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
- ・取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

調整用工具を内部に入れない



禁止

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となる場合があります。万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。



低い天井に天吊りしない



指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する



指示

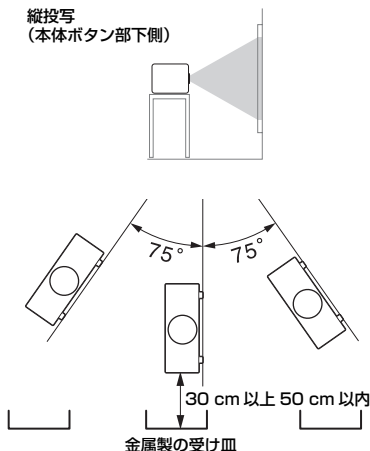
天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

注意

本機の開口部を下側に向け、図のような角度で設置する場合は、開口部の真下の下図の距離に、70 cm × 40 cm 以上の金属製の受け皿を設置してください。

また、上から開口部に異物や水滴が入らないように注意してください。

縦投写
(本体ボタン部下側)



天吊りする場合の安全上のご注意



天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない



天井への取り付けは必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

落下防止をする



天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。



- ・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- ・充電しない。
- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- ・水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- ・液漏れした電池を使用しない。
- ・電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。



- ・外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- ・指定された種類の電池以外は使用しない。
- ・火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

注意

- 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- 使用済みの電池、または製品本体は、国または地域の法令に従って処理してください。電池、または製品本体を廃棄する場合は、焼却したり火の中に捨てたりしないでください。また、機械的に粉碎したり、切断したりしないでください。破裂したり火災が発生することがあります。電池を極度の低気圧にさらさないでください。爆発や可燃性の液体ガスの漏れが発生する可能性があります。
- 直射日光の下や火気の近くなど、高温のところに電池を置かないでください。発火・破裂・火災の原因となります。電池を水や海水に浸けたり、濡らしたりしないでください。感電の原因となります。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターを以下のポートに接続しないでください。

- LAN

重要

機銘板は、製品上の以下の位置に貼付されています。

- 底面

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。

本機に付属、または推奨の電源コードセットをご使用ください。本機に電源コードセットが付属されている場合、その電源コードセットは、他の機器には使用しないでください。

電池の使用に関するご注意

リモコンには、以下のバッテリーが必要です。

- バッテリーサイズ：単3形
- 使用個数：2個

破裂の原因となりますので、以下のバッテリー以外は、使わないでください。

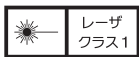
- マンガン/アルカリ

この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。

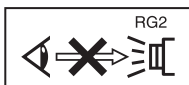
この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。



JIS C 6802:2014 クラス 1 レーザー製品



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。RG2 IEC 62471-5:2015

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

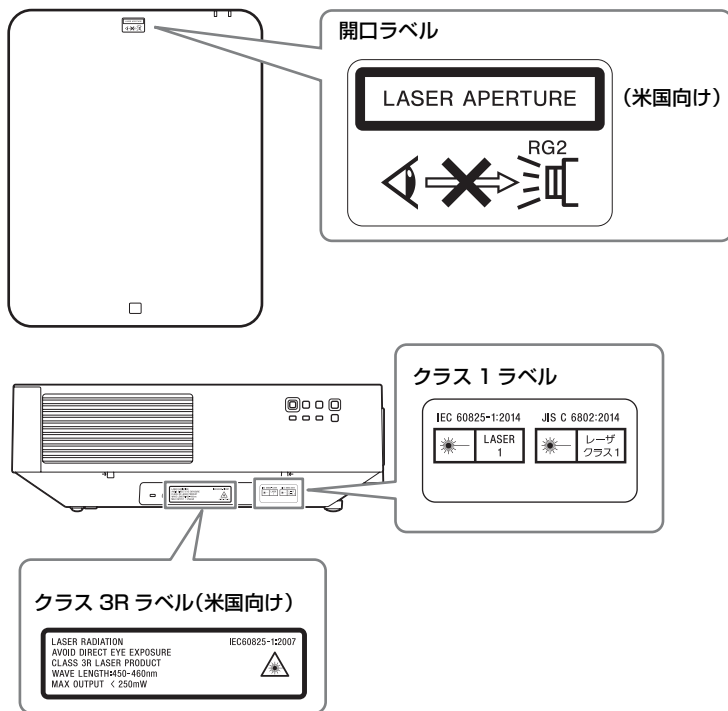
注意

本製品に対し光学機器を使用すると、目に対する危険が高まります。

警告

レンズをのぞかない。投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと、強い光が目にも悪影響を与えることがあります。

ラベルの位置情報



光源の仕様

4.35 W レーザーダイオード

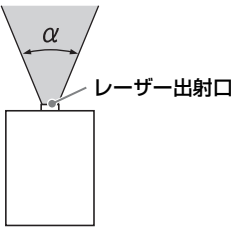
32 個 (VPL-FHZ75)

28 個 (VPL-FHZ70)

レーザーダイオードの波長

450 ～ 460 nm

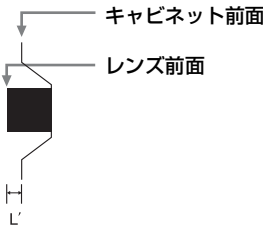
本機におけるレンズからのビームの広がり角



レンズ	ズーム 最大時 α	ズーム 最小時 α
標準レンズ	45.3°	29.4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

レンズ前面（中心）からキャビネット
前面までの距離 L'

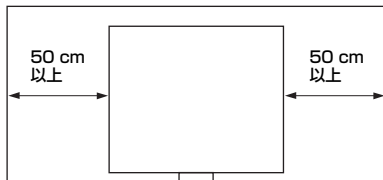
レンズ	L'
標準レンズ	1.2 mm
VPLL-3007	52.4 mm
VPLL-Z3009	51.2 mm
VPLL-Z3010	60 mm
VPLL-Z3024	9.9 mm
VPLL-Z3032	9.9 mm
VPLL-2007	52.4 mm
VPLL-Z2009	51.2 mm
VPLL-Z1024	9.9 mm
VPLL-Z1032	9.9 mm
VPLL-3003	256 mm



使用上のご注意

設置について

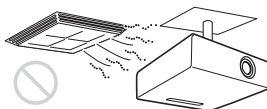
- 図のように、周辺の壁や物から離して設置してください。



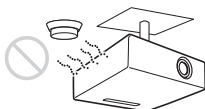
- 温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。



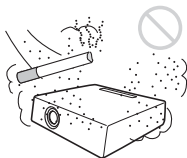
- 空調の冷暖気が直接当たる場所での使用は避けてください。結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。



- 熱感知器や煙感知器のそばでの使用は避けてください。感知器が誤動作する原因となることがあります。



- ほこりの多い場所、タバコなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障の原因となることがあります。



- 海拔 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
- 設置する角度に応じて設置設定メニューの設置角度を正しく設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

レンズ、外装のお手入れ

- 必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- 布にゴミが附着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- レンズを素手で触らないでください。
- レンズ面のお手入れのしかた：
メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 外装のお手入れのしかた：
柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

部屋の照明について

美しく見やすい画像にするために、直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。

本機の発熱について

使用中、使用直後にキャビネットの温度が上がる場合がありますが、故障ではありません。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音

が発生した場合にはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズの交換について

電源を接続した状態で投写レンズをはずしたり、投写レンズを取り付けたりしない。
別売りアクセサリとして指定されているレンズ以外は取り付けないでください。

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの修理窓口にご相談ください。

使用済み製品の処理について

使用済み製品と一般の生活ごみを一緒に捨てないでください。

使用済み製品を正しく廃棄することで環境や人の健康に対する潜在的な悪影響を避けることができます。

具体的な廃棄方法はお住まいの地域の法規制に従ってください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の色組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。

結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。

結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。(取扱説明書の「ネットワーク機能を利用する」参照)
また、定期的にはパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

付属品を確認める

リモコン (RM-PJ30) (1 個)
単 3 形乾電池 (2 個)
電源コード (1 本)
プラグホルダー (1 個)
端子カバー (1 個)
簡易説明書 (本書) (1 部)
取扱説明書 (CD-ROM) (1 枚)
保証書 (1 部)

CD-ROM マニュアルの使いかた

Adobe Reader がインストールされたコンピュータで、取扱説明書を閲覧できます。

Adobe Reader は、Adobe のウェブサイトから無償でダウンロードできます。

- 1 CD-ROM に収録されている index.html ファイルを開く。**
- 2 読みたい取扱説明書を選択してクリックする。**

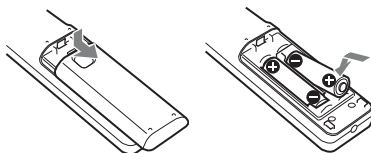
◆CD-ROM が破損または紛失した場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口経由で購入できます。

リモコンに電池を入れる

- 1 ふたを外し、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形乾電池 2 個 (付属) を入れる。**

上から押して
スライドさせる。

必ず ⊖ 極側から電池
を入れてください。



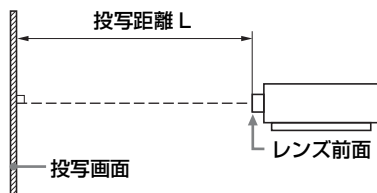
- 2 ふたを閉める。**

**警告**

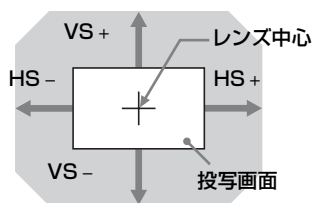
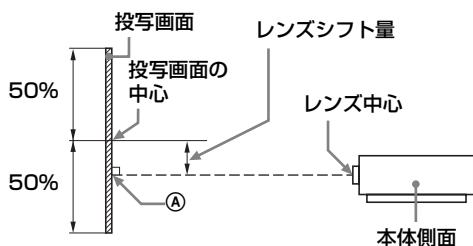
電池については、「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

投写距離とレンズシフト量

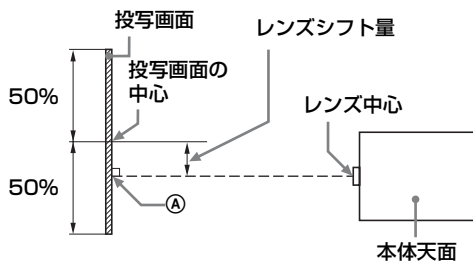
投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。



レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 ㊶）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲



VS+ : 垂直レンズシフト量 (上) [%]

VS- : 垂直レンズシフト量 (下) [%]

HS+ : 水平レンズシフト量 (右) [%]

HS- : 水平レンズシフト量 (左) [%]

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L		
対角	横×縦	標準レンズ	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80 型 (2.03)	1.72 × 1.08	2.36 - 3.86	1.09	1.44 - 1.69
100 型 (2.54)	2.15 × 1.35	2.96 - 4.84	1.38	1.82 - 2.13
120 型 (3.05)	2.58 × 1.62	3.57 - 5.82	1.67	2.20 - 2.57
150 型 (3.81)	3.23 × 2.02	4.47 - 7.29	2.11	2.76 - 3.23
200 型 (5.08)	4.31 × 2.69	5.97 - 9.73	2.83	3.70 - 4.34

画面サイズ	投写距離 L		
対角	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80 型 (2.03)	1.69 - 2.37	4.00 - 5.48	5.45 - 8.32
100 型 (2.54)	2.13 - 2.98	5.03 - 6.87	6.84 - 10.43
120 型 (3.05)	2.56 - 3.59	6.05 - 8.27	8.24 - 12.55
150 型 (3.81)	3.22 - 4.50	7.59 - 10.36	10.33 - 15.72
200 型 (5.08)	4.31 - 6.03	10.15 - 13.85	13.82 - 21.00

投写距離計算式

D：画面サイズ（型）

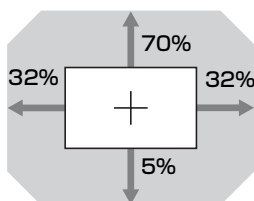
例）画面サイズが 80 型の場合は、D には 80 を入れる。

単位：m

レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
標準レンズ	$L = 0.030040 \times D - 0.0443$	$L = 0.048910 \times D - 0.0442$
VPLL-3007	$L = 0.014518 \times D - 0.0700$	-
VPLL-Z3009	$L = 0.018832 \times D - 0.0678$	$L = 0.022017 \times D - 0.0635$
VPLL-Z3010	$L = 0.021850 \times D - 0.0631$	$L = 0.030491 \times D - 0.0640$
VPLL-Z3024	$L = 0.051187 \times D - 0.0973$	$L = 0.069717 \times D - 0.0930$
VPLL-Z3032	$L = 0.069792 \times D - 0.1414$	$L = 0.105707 \times D - 0.1323$

レンズシフト量

■ 標準レンズ



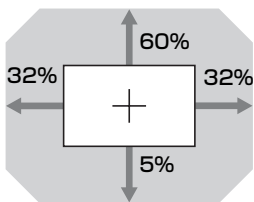
$$VS_{+} = 70 - 2.187 \times (HS_{+} \text{もしくは} HS_{-}) [\%]$$

$$VS_{-} = 5 - 0.156 \times (HS_{+} \text{もしくは} HS_{-}) [\%]$$

$$HS_{+} = 32 - 0.457 \times VS_{+} [\%]$$

$$HS_{-} = 32 - 6.400 \times VS_{-} [\%]$$

■ VPLL-Z3024、VPLL-Z3032



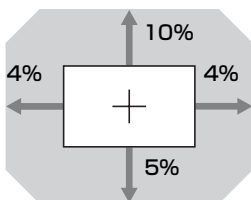
$$VS_+ = 60 - 1.875 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$VS_- = 5 - 0.156 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 32 - 0.533 \times VS_+ [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 32 - 6.400 \times VS_- [\%]$$

■ VPLL-3007



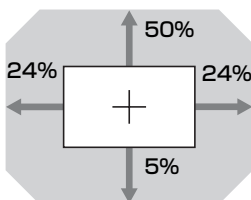
$$VS_+ = 10 - 2.500 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$VS_- = 5 - 1.250 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 4 - 0.400 \times VS_+ [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 4 - 0.800 \times VS_- [\%]$$

■ VPLL-Z3009



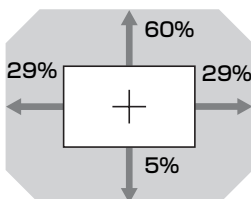
$$VS_+ = 50 - 2.083 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$VS_- = 5 - 0.208 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 24 - 0.480 \times VS_+ [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 24 - 4.800 \times VS_- [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS_+ = 60 - 2.069 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

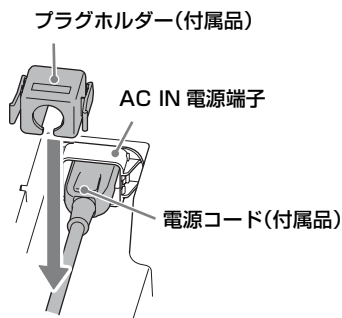
$$VS_- = 5 - 0.172 \times (HS_+ \text{もしくは} HS_-) [\%]$$

$$HS_+ = HS_- = 29 - 0.483 \times VS_+ [\%]$$

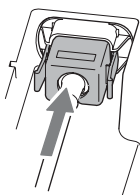
$$HS_+ = HS_- = 29 - 5.800 \times VS_- [\%]$$

電源コードを接続する

- 1 電源コードをAC IN電源端子に差し込み、プラグホルダーを電源コードに取り付ける。



- 2 プラグホルダーをスライドさせて、本体に固定する。



メニューの表示言語を切り替える

お買い上げ時は、メニュー画面やメッセージの表示言語が英語に設定されています。以下の手順で変更してください。

- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 本機の電源を入れる。
本体の I/O ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。

- 3 MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

見えにくい場合は、画面のフォーカス、サイズ、位置を調整してください (24 ページ)。

- 4 表示言語を切り替える。

- ① ▲ または ▼ を押して、Operation (操作設定) を選び、ENTER ボタンを押す。
- ② ▲ または ▼ を押して、「Language」(表示言語) を選び、ENTER ボタンを押す。

Operation	
	A Language English
	Menu Position Bottom Left
	Status On
	IR Receiver Front & Rear
	ID Mode All
	Security Lock Off
	Control Key Lock Off
	Lens Control On
	Set
	Back

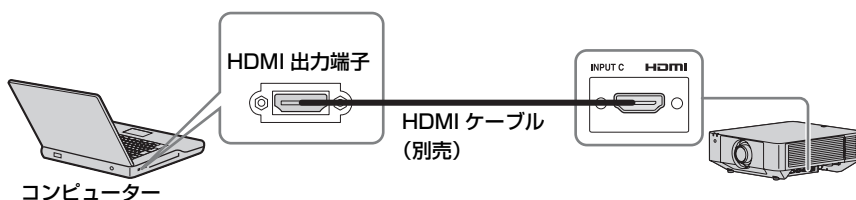
- ③ ▲/▼/◀/▶ を押して、表示言語を選び、ENTER ボタンを押す。

- 5 MENU ボタンを押し、メニュー画面を消す。

ご注意

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターとの接続



ご注意

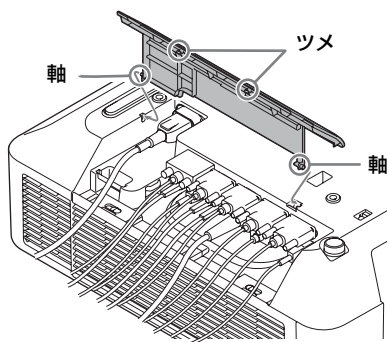
- ・HDMI で接続する機器は、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

◆その他の接続方法は、取扱説明書 (CD-ROM) の「接続のしかた」をご覧ください。

端子カバーを取り付ける

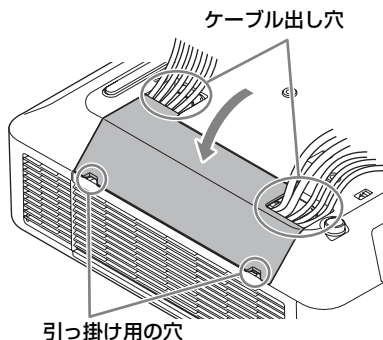
付属の端子カバーを取り付けることで端子部へのほこりの入り込みを軽減し、外観をすっきり見せることができます。

- 1 端子カバーの片方の軸を底面の差し込み部に差し込み、カバーを少し反らせながらもう一方の軸を差し込む。

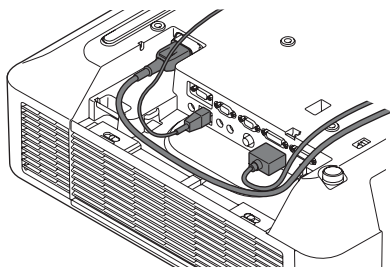


- 2 端子カバーを閉める。

端子カバーのツメ 2 か所で「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。



カバー内の配線の一例



ご注意

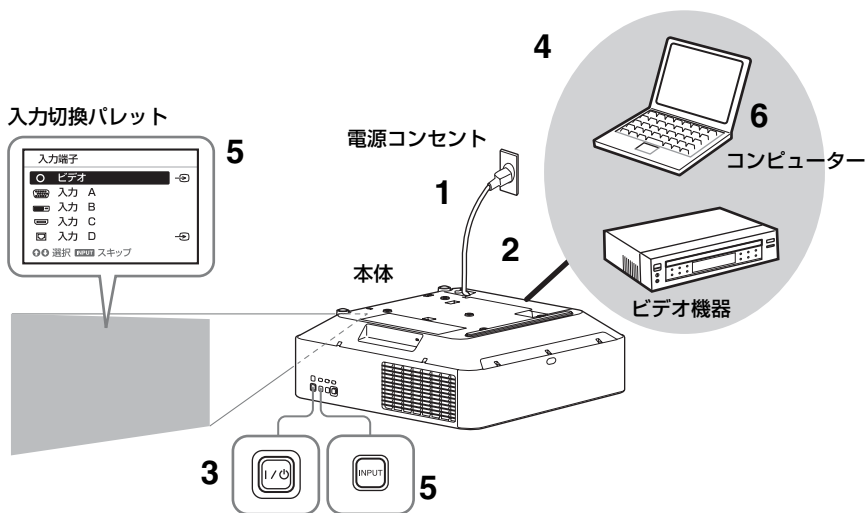
接続ケーブルの状態や床置きなど設置方法によってはカバーを取り付けられないことがあります。使用上の問題はありません。

端子カバーを開けるには

引っ掛け用の穴 2 か所を持って持ち上げます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。



1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する（21ページ）。

3 本機の電源を入れる。

本体の I/O ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。

4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切り替えパレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または ▲/▼ ボタンを押

し、投写する映像を選びます。

信号入力時は右側に → が表示されます。

また、リモコンのダイレクト入力切り替えボタンでも切り替えることができます。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

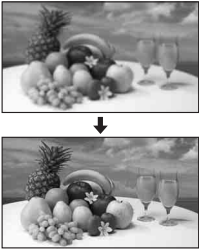
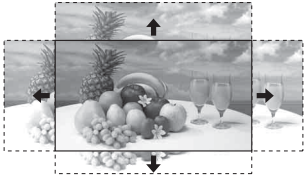
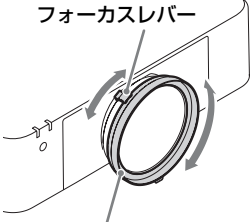
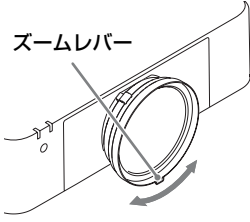
出力先の切り替えは、コンピューターによって異なります。

(例)



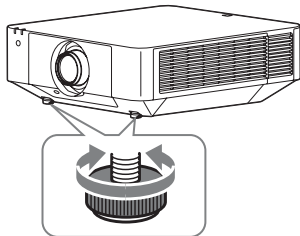
7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する。

画面のフォーカス／サイズ／位置を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)	画面の位置 (レンズシフト)
		
電動フォーカスレンズ装着時 リモコンまたは操作部の FOCUS ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整する。 手動フォーカスレンズ装着時 フォーカスレバーおよび周辺フォーカスリングを回して調整する。 周辺フォーカスリングを回すと、周辺のフォーカス調整が可能です。 フォーカスレバー  周辺フォーカスリング ズームレバー 	電動ズームレンズ装着時 リモコンまたは操作部の ZOOM ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整する。 手動ズームレンズ装着時 ズームレバーを回して調整する。	リモコンまたは操作部の LENS SHIFT/SHIFT ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整する。 センター位置に戻すには 調整中にリモコンの RESET ボタンを押してください。

前脚部（調整可）による調整

台が水平でない場合には、前脚部（調整可）で調整できます。



ご注意

- ・ 前脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 前脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

調整用パターンを表示する

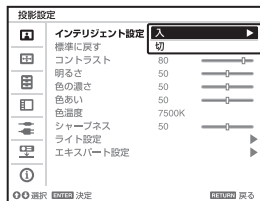
リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面に調整用パターンを表示することができます。▲/▼ でパターンの柄を、◀/▶ でパターンの色を変更できます。もう一度 PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

プロジェクターの設定を自動で最適化する

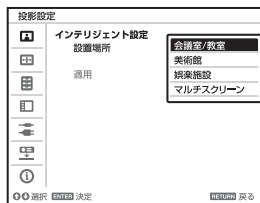
投影設定メニューの「インテリジェント設定」を「入」に設定すると、プロジェクターを使用する環境に応じた「設置場所」を選ぶだけで、画質設定、ライト設定、およびシステム冷却（ファン回転数）を最適化します。「インテリジェント設定」は、プロジェクターを長時間安定して使用するための設定です。

1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

2 投影設定メニューの「インテリジェント設定」を「入」に設定し、ENTER ボタンを押す。



3 プロジェクターを使用する場所を選ぶ。



会議室 / 教室：文字や図形などをくっきりと投影する画質に最適化します。会議室や教室などで使用する場合に適しています。

美術館：色を忠実に再現する画質に最適化します。美術館や博物館など静かな場所で使用する場合に適しています。

娯楽施設：メリハリのある画質に最適化します。テーマパークや公共の娯楽施設、展示会場のカンファレンスルームなどで使用する場合に適しています。

マルチスクリーン：複数のプロジェクターで1画面を構成する場合やプロジェクターを横に並べて投写する場合など、複数のプロジェクターを同時に使用する場合に適しています。

4 「適用」を選び、ENTER ボタンを押す。

電源を切る

1 本体の I/⏻ ボタンまたはリモコンの ⏻ ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。

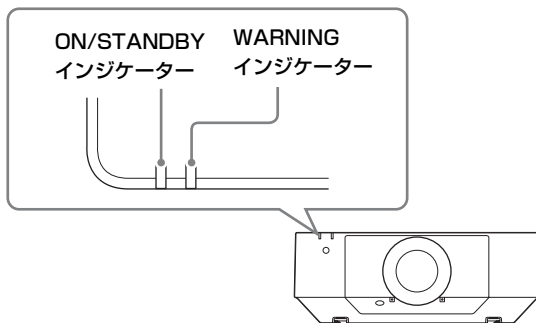
本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。

2 電源コードを抜く。

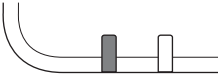
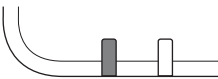
◆さらに画面の調整が必要な場合は、取扱説明書（CD-ROM）の「映像の投写と画面の調整」をご覧ください。

インジケータの見かた

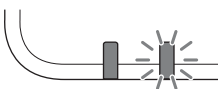
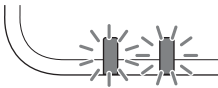
本機では、本体前面の ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯・点滅により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。インジケータが赤色に点滅している場合には、「警告表示と対処方法」(28 ページ)に従って対処してください。



動作状態の表示

インジケータの状態	動作状態	意味
 (赤点灯) (消灯)	スタンバイ状態	本機に通电されており、設定により各種待機となっている状態です。
 (緑点滅) (消灯)	起動準備中	本機に電源が入り、操作可能になるまでの状態です。
 (緑点灯) (消灯)	電源オン状態	映像が投写できる状態です。
 (オレンジ点灯) (消灯)	その他待機状態	無信号時設定 (ライトオフ) 状態、またはクイックリスタートの待機状態です。

警告表示と対処方法

インジケータの状態	点滅回数	意味	対処方法
 (赤点灯) (赤点滅)	2 回	サイドカバーまたはエアフィルターが確実に取り付けられていません。	サイドカバーまたはエアフィルターの取り付け状態を確認し、確実に付けてください。
	3 回	光源が正常に点灯しません。	電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	6 回	本機への強い衝撃を検出しました。	本体に明らかな異常が見られない場合、電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	8 回	レンズが確実に装着されていません。	レンズの取り付け状態を確認し、確実に付けてください。
 (赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅	2 回	本機内部の温度が異常です。	・ エアフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。(29 ページ) ・ 排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。 ・ 本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。

上記以外のインジケータ点滅時には電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください

◆ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、取扱説明書 (CD-ROM) の「メッセージ一覧」または「故障かな? と思ったら」をご覧ください。

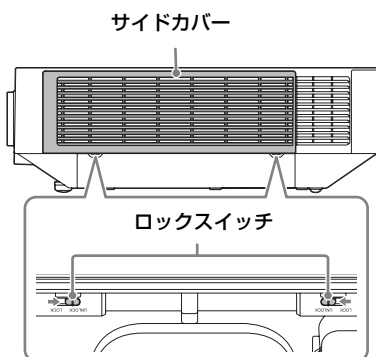
エアフィルターを 掃除する

エアフィルター掃除のメッセージが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

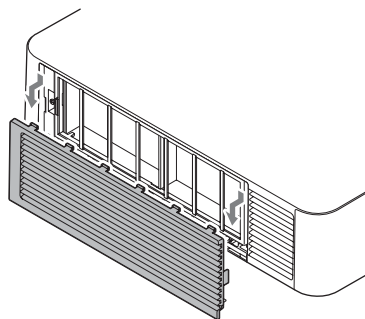
⚠ 注意

メッセージが表示された後に、そのままの状態でご使用を続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

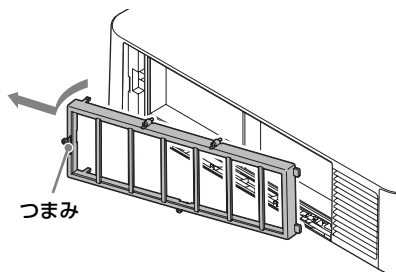
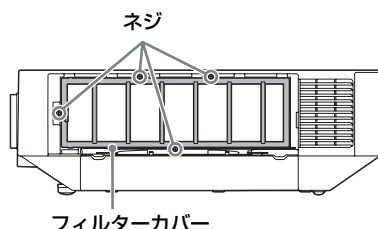
- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 サイドカバーのロックスイッチを UNLOCK 方向にスライドさせてロックを解除する。



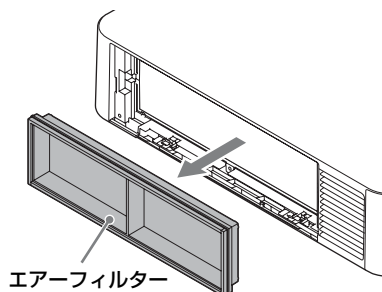
- 3 サイドカバー上側の左右を押しながら下方にずらしてサイドカバーを外す。



- 4 ネジ (4 本) をゆるめ、フィルターカバー左のつまみを持って引き抜く。

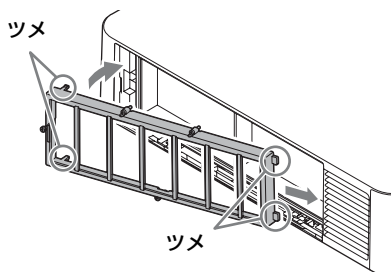


- 5 本体からエアフィルターを取り出す。

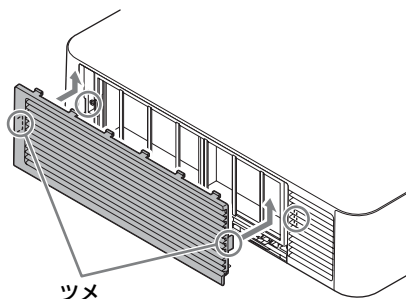


6 取り出したエアフィルターを掃除機で掃除する。

7 エアフィルターを元に戻し、フィルターカバーを取り付ける。
フィルターカバーを取り付けるときは、右側2か所のツメを差し込み、右側支点で回して左側ツメ2か所を入れてください。その後にネジ4本を締めてください。



8 サイドカバーのツメ2か所を入れて押し上げる。



9 サイドカバーをロックする。

ご注意

エアフィルターが確実に装着されていないと、本機の電源が入りません。

投写レンズを交換する

ご注意

- ・ 天吊状態では行わないでください。
- ・ 取り付け可能な投写レンズについては取扱説明書の「別売アクセサリ」をご覧ください。
- ・ 別売アクセサリとして指定されているレンズ以外は取り付けないでください。
- ・ 投写レンズを落とさないように気をつけてください。
- ・ レンズ面には手を触れないでください。

取り外す

1 投写レンズをセンター位置に戻す。

本機の電源を入れている状態で、リモコンの LENS SHIFT ボタンを押し、その後、リモコンの RESET ボタンを押してください。投写レンズがセンター位置に戻ります。

ご注意

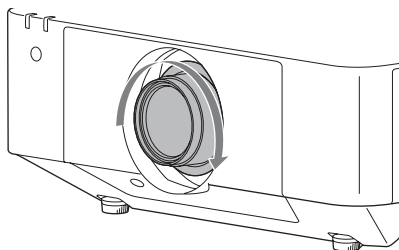
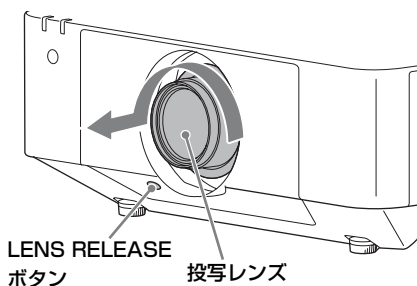
投写レンズをセンター位置に戻さないと、レンズの取り外しができません。

2 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

⚠ 注意

レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズ交換は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

- 3** LENS RELEASE ボタンを押しながら、投写レンズを反時計方向に回し、レンズをまっすぐに引き出す。

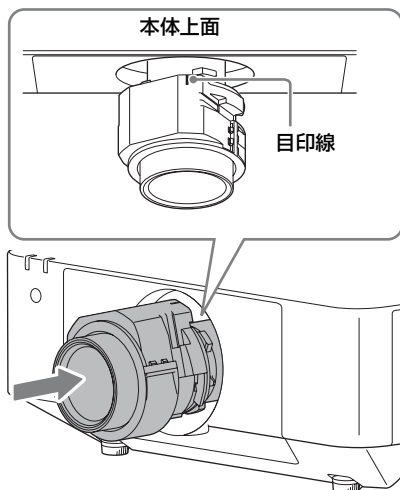


ご注意

投写レンズを取り付ける際は、LENS RELEASE ボタンを押さないでください。

取り付ける

- 1** 投写レンズの目印線を本体上面に向けて奥まで差し込む。



- 2** 時計方向に「カチッ」と音がするまで回す。

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the basic operations for projecting pictures. It also describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this unit.

Refer to “Indicators,” “Cleaning the Air Filter,” and “Replacing the Projection Lens,” as necessary.

For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Step 1

PreparingPage 16

Step 2

Connecting.....Page 21

Step 3

Projecting.....Page 23

IndicatorsPage 27

Cleaning the Air FilterPage 29

Replacing the Projection Lens.....page 30

English

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture. To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

This apparatus must be earthed.

CAUTION

- Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
- When you dispose of the battery or the product, you must obey the law in the corresponding area or country. Do not dispose of the battery or the product in a fire or a hot oven, or mechanically crush or cut the battery. It may explode or cause a fire. Do not subject the battery to extremely low air pressure that may result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.
- Do not place the battery in a high temperature place, such as under direct sunlight or near fire. It may ignite, explode, or cause a fire. Do not immerse or wet the battery in water or seawater. This may cause an electric shock.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

CAUTION

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to the following port:
- LAN

WARNING

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country/region if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

IMPORTANT

The nameplate is located in the following location on the unit.

- Bottom

GB

CAUTION

The following size and number of batteries are required for the remote control.

- Size: AA (R6)
- Number of battery(ies): two

To avoid risk of explosion, use only the following type of battery.

- Manganese/Alkaline

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

All interface cables used to connect the equipment to peripherals must be shielded type to comply with EMC standard(s) and to prevent undesired operation due to radiated emissions. When cables are supplied, always use them for this purpose.

If you have any questions about this product, you may call:
Sony Customer Information Service
Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name	: SONY
Model	: VPL-FHZ75/ FHZ70
Responsible party	: Sony Electronics Inc.
Address	: 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number	: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

For the customers in Europe, Australia and New Zealand

WARNING

This equipment is compliant with Class A of CISPR 32. In a residential environment this equipment may cause radio interference.

WARNING

Operation of this equipment in a residential environment could cause radio interference.

For the customers in Europe

This apparatus shall not be used in the residential area.

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

警告使用者:

此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

AVERTISMENT

Funcționarea acestui echipament într-un mediu casnic poate cauza interferențe radio.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

UYARI

Bu ürünün yerleşim yerlerinde çalıştırılması radyo parazitlerine yol açabilir.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Експлоатацията на това оборудване в домашни условия би могла да предизвика радиосмущения.

VÝSTRAHA

Provoz tohoto zařízení v obytném prostředí může způsobovat rušení rádiového signálu.

For the customers in the U.S.A.

CAUTION

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

This product is classified as a CLASS 3R LASER PRODUCT.

WARNING

LASER RADIATION
AVOID DIRECT EYE EXPOSURE
CLASS 3R LASER PRODUCT

CAUTION

Do not look into the lens while in use.

CAUTION

Do not allow children to operate this product without supervision.

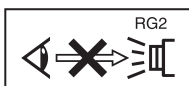
CAUTION

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

For the customers in other countries



IEC 60825-1:2014
CLASS 1 LASER
PRODUCT



As with any bright light source, do not stare into the beam, RG2 IEC 62471-5: 2015.

WARNING: Do not look into the lens while in use.

Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

Caution

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

För kunderna i Sverige



IEC 60825-1:2014
LASERPRODUKT AV
KLASS 1



Precis som med alla starka ljuskällor bör man inte titta direkt i strålen, RG2 IEC 62471-5:2015.

VARNING: Titta aldrig in i projektorns lins medan den används.

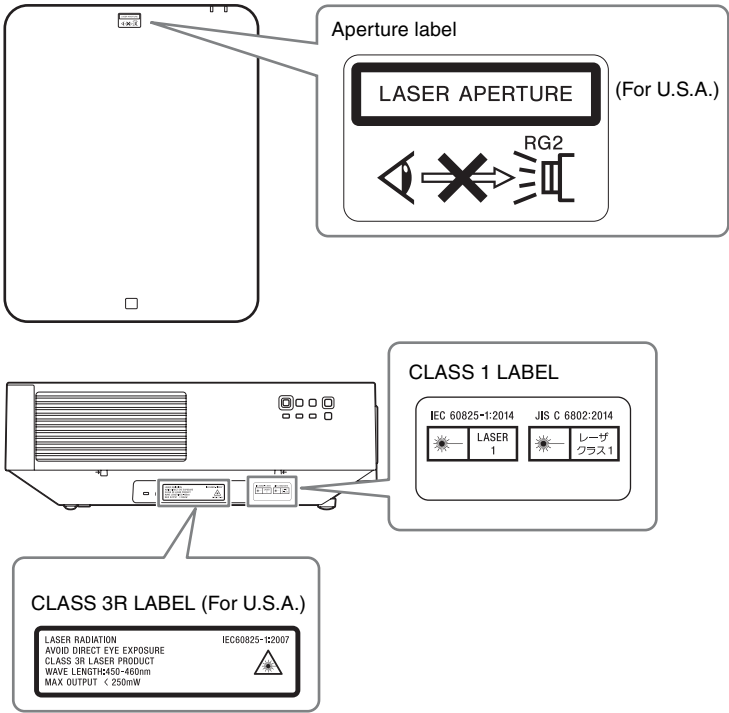
Försiktighet!

Användandet av kontroller eller justeringar eller utförandet av andra procedurer än de som specificeras här kan resultera i exponering av farlig strålning.

Försiktighet!

Användandet av optiska instrument med denna produkt ökar risk för ögonskada.

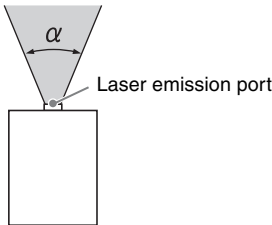
Location information of the labels



Light source specifications

4.35 W laser diodes
× 32 (VPL-FHZ75)
× 28 (VPL-FHZ70)
Wavelength: 450 - 460 nm

Beam divergence angle from lens of this unit

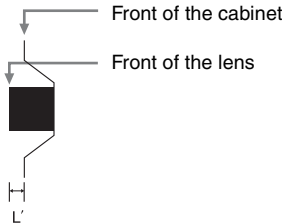


Lens	Zoom maximum: α	Zoom minimum: α
Standard lens	45.3°	29.4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

The distance L' between the front of the lens (center) and the front of the cabinet

Unit: mm (inches)

Lens	L'
Standard lens	1.2 ($\frac{1}{16}$)
VPLL-3007	52.4 ($2 \frac{1}{16}$)
VPLL-Z3009	51.2 ($2 \frac{1}{32}$)
VPLL-Z3010	60 ($2 \frac{3}{8}$)
VPLL-Z3024	9.9 ($\frac{3}{8}$)
VPLL-Z3032	9.9 ($\frac{3}{8}$)
VPLL-2007	52.4 ($2 \frac{1}{16}$)
VPLL-Z2009	51.2 ($2 \frac{1}{32}$)
VPLL-Z1024	9.9 ($\frac{3}{8}$)
VPLL-Z1032	9.9 ($\frac{3}{8}$)
VPLL-3003	256 ($10 \frac{3}{32}$)



For the Customers in Brazil only

Apenas para clientes no Brasil

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Pilhas e Baterias não recarregáveis

Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

**Türkiye'deki müşteriler için
AEEE Yönetmeliğine Uygundur**

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sony.com/psa/warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty.

Please visit https://pro.sony/en_GB/support-services/warranty/support-professional-solutions-europe-standard-product-warranty for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Taiwan only

第一類雷射產品



廢電池請回收

設備名稱：商用投影機						
單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr ⁺⁶)	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷電路板	—	○	○	○	○	○
外殼	—	○	○	○	○	○
光學組件	—	○	○	○	○	○
電源供應單元	—	○	○	○	○	○
輸出入端子	—	○	○	○	○	○
附配件(遙控器/ 電源線)	—	○	○	○	○	○
備考1. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。						
備考2. “—” 係指該項限用物質為排除項目。						

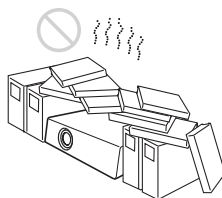
T4-1

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while in use.
- When turning on the projector, make sure no one is peeking at the projection lens.
- Do not let children use the unit alone.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the feet (adjustable) when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the adjuster out.
- Be sure to use two people to grasp both sides of the unit when carrying the unit.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.

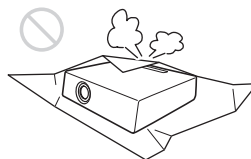
- If a user disassembles, repairs, or alters the unit, it may cause a serious problem to the user's safety.
- If the projector malfunctions or is damaged, consult with a qualified Sony personnel.
- If the ventilation holes are blocked, internal heat builds up, and it may cause a fire or damage the unit. To allow adequate air circulation and prevent internal heat build-up, follow the items below:
- Place the unit, leaving sufficient space from walls or any objects (page 13).



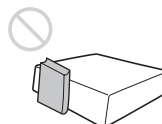
- Avoid using something to cover the ventilation holes (exhaust/intake).



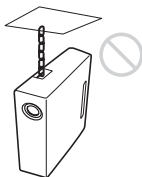
- Do not place the unit on surfaces such as an original packing sheet, soft cloth, papers, rugs, or scraps of paper. The ventilation holes may take in such materials.



- Do not place any object in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the picture muting function to cut off the picture.



- Do not use the Security bar for the purpose of preventing theft for transporting or installing the unit. If you lift the unit by the Security bar or hang the unit by this bar, it may cause the unit to fall and be damaged, and may result in personal injury.



- Make sure to remove the protective packaging lens cap before projection. Projection with the cap attached may melt the cap by heat.

For dealers

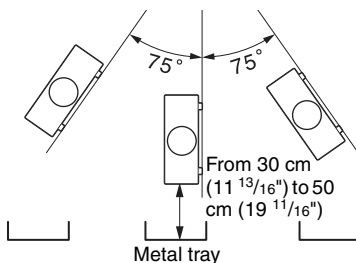
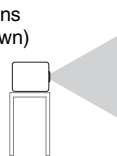
- When the projector is mounted on the ceiling, a Sony bracket or recommended equivalent must be used for installation.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

Caution

When installing the unit at the angle illustrated, if the ventilation holes are facing down, install a metal tray (min. 70 cm × 40 cm (27 ⁹/₁₆" × 15 ³/₄")) at the distance indicated below directly under the ventilation holes.

Ensure that foreign materials or liquids do not drop into the ventilation holes.

Portrait (The buttons of the unit face down)

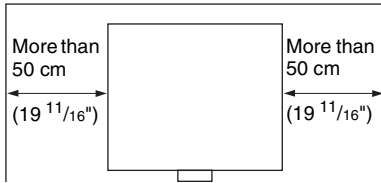


Safety precautions for installing the unit on a ceiling

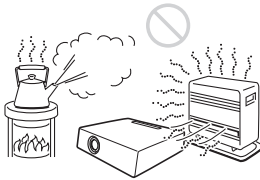
- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult the store where you purchased the projector or a dedicated installer.
- When installing the unit on a ceiling, be sure to use a safety wire, etc., to prevent the unit from falling. For the installation, be sure to consult the store where you purchased the projector or a dedicated installer.

On Installation

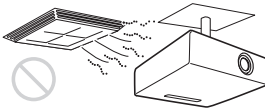
- When installing the unit, leave space between any walls, etc. and the unit as illustrated.



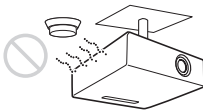
- Avoid using the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.



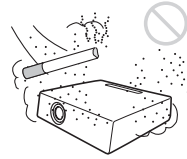
- Avoid installing the unit in a location subject to direct cool or warm air from an air-conditioner. Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.



- Avoid installing the unit in a location near a heat or smoke sensor. Installing in such a location may cause malfunction of the sensor.



- Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it.



- When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set “High Altitude Mode” to “On” in the Installation menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.
- Set “Installation Attitude” on the Installation menu correctly to suit to the Installation angle. Continuing to use the wrong setting may affect component reliability.

On cleaning the lens and the cabinet

- Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet before cleaning.
- If you rub on the unit with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the unit is exposed to volatile materials such as insecticide, or the unit is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the unit may deteriorate or the coating may come off.
- Do not touch the lens with bare hands.
- On cleaning the lens surface:
Wipe the lens gently-with a soft cloth, such as a glass cleaning cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with water. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.
- On cleaning the cabinet:
Clean the cabinet gently with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with mild detergent solution and wrung, followed by wiping with a soft dry cloth. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.

On Illumination

To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.

On Heat Dissipation

The temperature of the projector cabinet may increase during or immediately after use; however, this is not a malfunction.

On Screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

On Fan

Since the projector is equipped with a fan inside to prevent internal temperature from rising, there may be some noise. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction. If, however, in a case of abnormal noise, consult with qualified Sony personnel.

About Lens Replacement

When the power is connected, do not attach or remove the projection lens.
Do not attach any lens other than the specified accessory lens sold separately.

On inspection of light source related parts

Since the unit uses a laser, when performing maintenance or inspection of light source related parts, particular attention and a safe environment are necessary. Be sure to consult with qualified Sony personnel.

On disposing used products

Do not dispose the used products and general garbage together.
Correctly dispose of used products to avoid harming the environment or the health of yourself and others. Follow the disposal regulations of your area.

On LCD Projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.
Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

On condensation

If the room temperature where the projector is installed changes rapidly, or if the projector is moved suddenly from a cold to a warm place, condensation in the projector may occur. As the condensation may cause malfunction, be careful in adjusting temperature settings of the air conditioner. If condensation occurs, leave the projector turned on for about two hours before use.

Notes on security

- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND RESULTING FROM A FAILURE TO IMPLEMENT PROPER SECURITY MEASURES ON TRANSMISSION DEVICES, UNAVOIDABLE DATA LEAKS RESULTING FROM TRANSMISSION SPECIFICATIONS, OR SECURITY PROBLEMS OF ANY KIND.

- Depending on the operating environment, unauthorized third parties on the network may be able to access the unit. When connecting the unit to the network, be sure to confirm that the network is protected securely.
- From a safety standpoint, when using the unit connected with the network, it is strongly recommended to access the Control window via a Web browser and change the access limitation settings from the factory preset values (refer to “Using Network Features” in the Operating Instructions).
Changing the password regularly is also recommended.
- Do not browse any other website in the Web browser while making settings or after making settings. Since the login status remains in the Web browser, close the Web browser when you complete the settings to prevent unauthorized third parties from using the unit or harmful programs from running.

Notes

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Checking the Supplied Accessories

RM-PJ30 Remote Commander (1)
Size AA (R6) batteries (2)
AC power cord (1)
Plug holder (1)
Terminal cover (1)
Quick Reference Manual (this manual) (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Using the CD-ROM manual

The manual can be read on a computer with Adobe Reader installed.

You can download Adobe Reader free from the Adobe website.

- 1 Open the index.html file in the CD-ROM.
- 2 Select and click on the manual that you want to read.

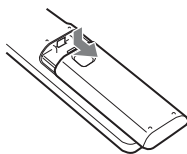
Note

If you have lost or damaged the CD-ROM, you can purchase a new one from your Sony dealer or Sony service counter.

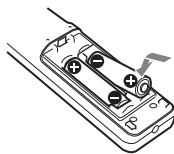
Installing batteries

- 1 Remove the lid, then install the two AA (R6) batteries (supplied) with the correct polarity.

While pressing the lid, slide it.



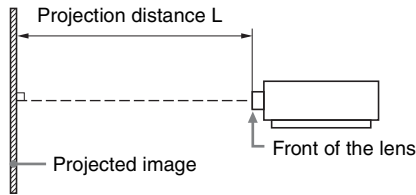
Be sure to install the battery from the ⊖ side.



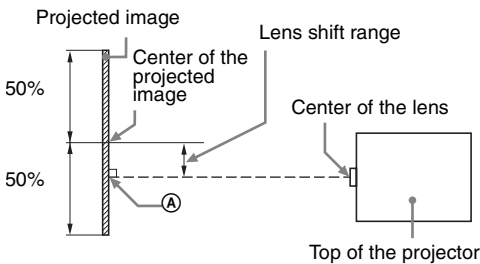
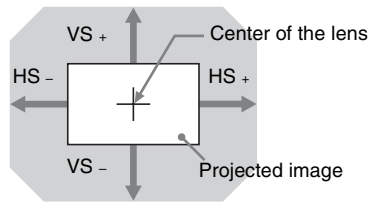
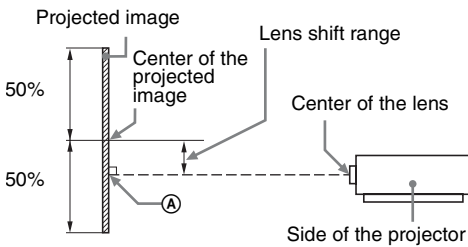
- 2 Replace the lid.

Projection Distance and Lens Shift Range

The projection distance refers to the distance between the front of the lens and the projected surface.



The lens shift range represents the distance in percent (%) by which the lens can be shifted from the center of the projected image. The lens shift range is regarded as 0% when the point (A) in the illustration (point where a line drawn from the center of the lens and the projected image cross at right angles) is aligned with the center of the projected image and full width or full height of the projected image is regarded as 100%.



- VS +: Vertical lens shift range (up) [%]
- VS -: Vertical lens shift range (down) [%]
- HS +: Horizontal lens shift range (right) [%]
- HS -: Horizontal lens shift range (left) [%]

Projection distance

Unit: m (inches)

Projection image size		Projection distance L		
Diagonal	Width × Height	Standard lens	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80" (2.03 m)	1.72 × 1.08 (68 × 42)	2.36 – 3.86 (93 – 152)	1.09 (43)	1.44 – 1.69 (57 – 66)
100" (2.54 m)	2.15 × 1.35 (85 × 53)	2.96 – 4.84 (117 – 191)	1.38 (54)	1.82 – 2.13 (72 – 84)
120" (3.05 m)	2.58 × 1.62 (102 × 64)	3.57 – 5.82 (141 – 229)	1.67 (66)	2.20 – 2.57 (87– 101)
150" (3.81 m)	3.23 × 2.02 (127 × 79)	4.47 – 7.29 (176 – 287)	2.11 (83)	2.76 – 3.23 (109 – 127)
200" (5.08 m)	4.31 × 2.69 (170 × 106)	5.97 – 9.73 (235 – 383)	2.83 (112)	3.70 – 4.34 (146 – 170)

Projection image size	Projection distance L		
Diagonal	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80" (2.03 m)	1.69 – 2.37 (67 – 93)	4.00 – 5.48 (158 – 215)	5.45 – 8.32 (215 – 327)
100" (2.54 m)	2.13 – 2.98 (84 – 117)	5.03 – 6.87 (198 – 270)	6.84 – 10.43 (270 – 410)
120" (3.05 m)	2.56 – 3.59 (101 – 141)	6.05 – 8.27 (238 – 325)	8.24 – 12.55 (325 – 494)
150" (3.81 m)	3.22 – 4.50 (127 – 177)	7.59 – 10.36 (299 – 408)	10.33 – 15.72 (407 – 619)
200" (5.08 m)	4.31 – 6.03 (170 – 237)	10.15 – 13.85 (400 – 545)	13.82 – 21.00 (544 – 827)

Projection distance formula

D: Projection image size (")

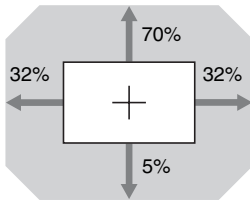
Example) Enter 80 in D for the 80" projection image size.

Unit: m (inches)

Lens	Projection distance L (minimal length)	Projection distance L (maximal length)
Standard lens	$L = 0.030040 \times D - 0.0443$ ($L = 1.182677 \times D - 1.7457$)	$L = 0.048910 \times D - 0.0442$ ($L = 1.925591 \times D - 1.7394$)
VPLL-3007	$L = 0.014518 \times D - 0.0700$ ($L = 0.571579 \times D - 2.7563$)	–
VPLL-Z3009	$L = 0.018832 \times D - 0.0678$ ($L = 0.741408 \times D - 2.6702$)	$L = 0.022017 \times D - 0.0635$ ($L = 0.866824 \times D - 2.4985$)
VPLL-Z3010	$L = 0.021850 \times D - 0.0631$ ($L = 0.860217 \times D - 2.4830$)	$L = 0.030491 \times D - 0.0640$ ($L = 1.200444 \times D - 2.5211$)
VPLL-Z3024	$L = 0.051187 \times D - 0.0973$ ($L = 2.015234 \times D - 3.8296$)	$L = 0.069717 \times D - 0.0930$ ($L = 2.744761 \times D - 3.6617$)
VPLL-Z3032	$L = 0.069792 \times D - 0.1414$ ($L = 2.747720 \times D - 5.5654$)	$L = 0.105707 \times D - 0.1323$ ($L = 4.161687 \times D - 5.2083$)

Lens shift range

■ Standard lens



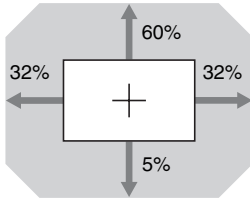
$$VS + = 70 - 2.187 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0.156 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0.457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6.400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



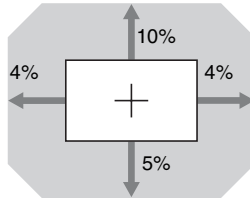
$$VS + = 60 - 1.875 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0.156 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0.533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6.400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



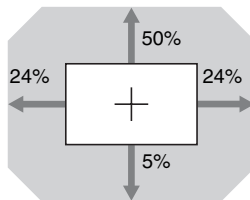
$$VS + = 10 - 2.500 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1.250 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0.400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0.800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



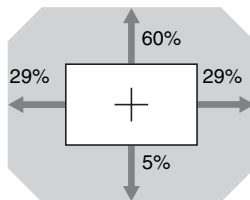
$$VS + = 50 - 2.083 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0.208 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0.480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4.800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2.069 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0.172 \times (HS + \text{ or } HS -) [\%]$$

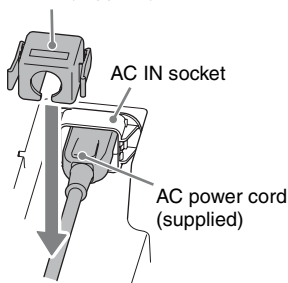
$$HS + = HS - = 29 - 0.483 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 5.800 \times VS - [\%]$$

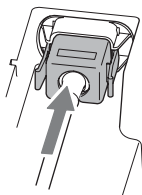
Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket, then attach the plug holder to the AC power cord.

Plug holder (supplied)



- 2 Slide the plug holder over the AC power cord to fix to the unit.



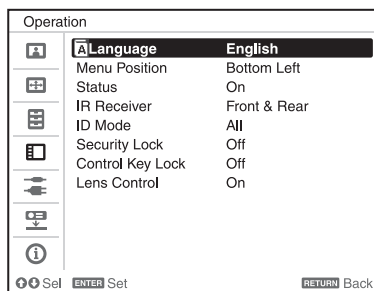
Selecting the Menu Language

The factory setting for the language for displaying menus, messages, etc. is English. To change the on-screen language, proceed as follows:

- 1 Plug the AC power cord into a wall outlet.
- 2 Turn on the projector.
Press the I/⏻ key on the main unit or the I key on the Remote Commander.
- 3 Press the MENU key to display the menu.

If the display cannot be properly seen, adjust the focus, size, and position of the projected image (page 24).

- 4 Select the menu language.
 - ① Press the ↑ or ↓ key to select the Operation (E) menu then press the ENTER key.
 - ② Press the ↑ or ↓ key to select “Language (A)” then press the ENTER key.

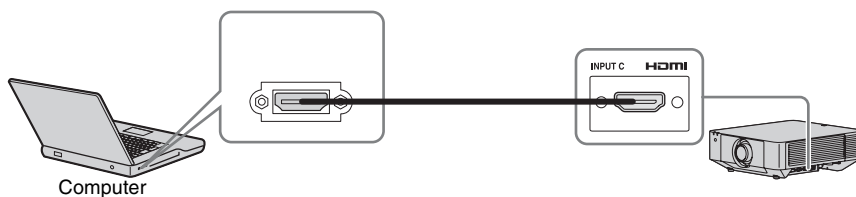


- ③ Press the ↑/↓/←/→ key to select a language, then press the ENTER key.
- 5 Press the MENU key to turn off the menu screen.

Notes

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly; Loose connections may reduce performance of picture signals or cause a malfunction. When pulling out a cable, be sure to grip it by the plug, not the cable itself.
- For more information, refer also to the instruction manuals of the equipment you are connecting.

Connecting a Computer



Notes

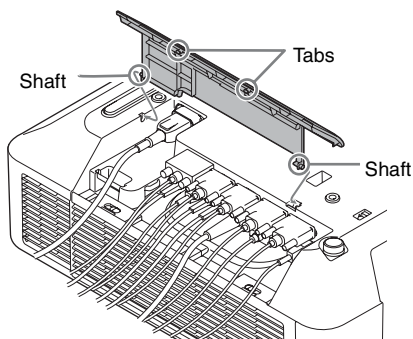
- Use HDMI-compatible equipment which has the HDMI Logo.
- Use a high speed HDMI cable(s) on which the cable type logo is specified. (Sony products are recommended.)
- The HDMI terminal of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) signal or CEC (Consumer Electronics Control) signal.

For information on other connecting methods, refer to “Connecting the Projector” in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

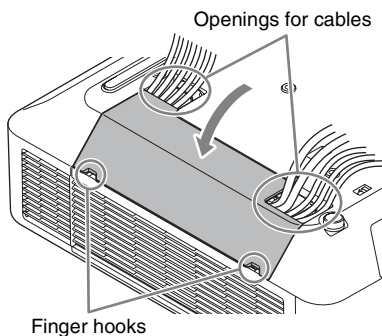
Attaching the terminal cover

You can attach the supplied terminal cover to prevent dust from entering the terminals to maintain a neat appearance.

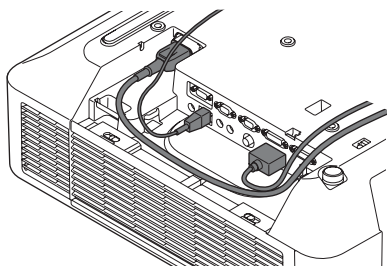
- 1 Fit one shaft on the side of the terminal cover into the hole on the bottom, then fit the other shaft by bending the cover slightly.



- 2 Close the terminal cover.
Close the terminal cover until the two tabs on the terminal cover click.



Example of the cable layout in the cover



Note

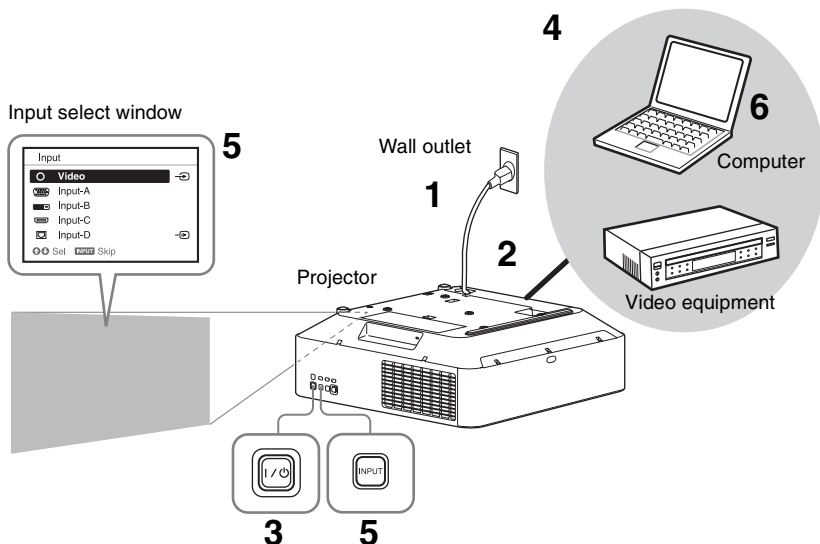
The terminal cover may not be attached depending on the installation method, such as due to the condition of the connected cables or when installing the unit on the floor. However, this has no impact on normal use.

Opening the terminal cover

Raise the cover by inserting your fingers into the finger hooks.

Projecting an Image

The size of a projected image depends on the distance between the projector and screen. Install the projector so that the projected image fits the screen size.



1 Plug the AC power cord into a wall outlet.

2 Connect all equipment to the projector (page 21).

3 Turn on the projector.
Press the **I/O** key on the main unit or the **I** key on the Remote Commander.

4 Turn on the connected equipment.

5 Select the input source.
Press the **INPUT** key on the projector to display the input select window. Press the **INPUT** key repeatedly or the **↑/↓** key to select an image to be projected. The signal icon  appears on the right side in the input select window when a signal is input.

You can select the input source using Direct input select keys on the Remote Commander.

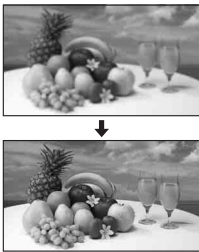
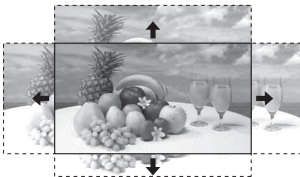
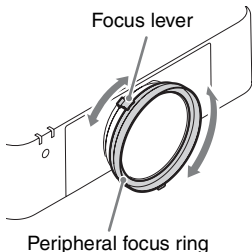
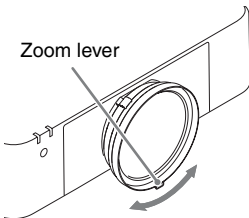
6 Switch your computer to output to external display by changing your computer's setting.
How to switch the computer to output to the projector varies, depending on the type of computer.

(Example)



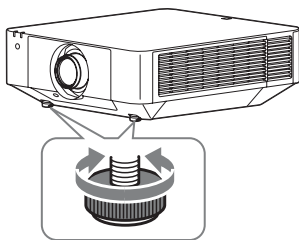
7 Adjust the focus, size, and position of the projected image.

Adjusting the Focus, Size, and Position of the Projected Image

Focus	Size (Zoom)	Position (Lens shift)
		
When attaching the Electric focus lens Press the FOCUS key on the projector or the Remote Commander then press the ▲/▼/◀/▶ key to adjust the focus. When attaching the Manual focus lens Turn the focus lever and peripheral focus ring to adjust the focus. You can adjust the focus of the peripheral area by rotating the peripheral focus ring. 	When attaching the Electric zoom lens Press the ZOOM key on the projector or the Remote Commander then press the ▲/▼/◀/▶ key to adjust the size. When attaching the Manual zoom lens Turn the zoom lever to adjust the size. 	Press the LENS SHIFT/SHIFT key on the projector or the Remote Commander then press the ▲/▼/◀/▶ key to adjust the position. To return the lens to the center position of the projected image Press the RESET key on the Remote Commander while adjusting.

Adjusting the tilt of the projector with the front feet (adjustable)

When the projector is installed on an uneven surface, you can adjust using the front feet (adjustable).



Notes

- Be careful not to let the projector down on your fingers.
- Do not push hard on the top of the projector with the front feet (adjustable) extended. It may cause a malfunction.

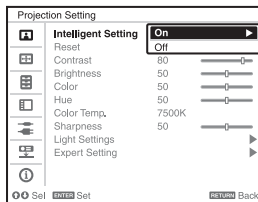
Displaying a pattern for adjusting an image

You can display a pattern for adjusting the projected image with the PATTERN key on the Remote Commander. Use $\blacktriangle/\blacktriangledown$ to change the pattern and $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ to change its color. Press the PATTERN key again to restore the previous image.

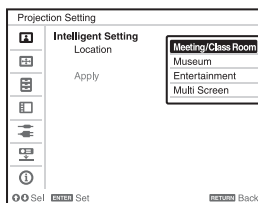
Automatically Optimizing Projector Settings

When you set “Intelligent Setting” to “On” in the Projection Setting menu, you can optimize the picture settings, light settings, and system cooling performance (fan rotation speed) by selecting the installation location from “Location” according to the environment in which the projector is used. “Intelligent Setting” is for stable and prolonged use of the projector.

- 1 Press the MENU key to display the menu.
- 2 Set “Intelligent Setting” to “On” in the Projection Setting menu, then press the ENTER key.



- 3 Select usage location of the projector from the following options.



Meeting/Class Room: Sharply projects text and graphics. This is suitable for use in meeting rooms or classrooms.

Museum: Precisely reproduces colors. This is suitable for use in quiet places, such as galleries or museums.

Entertainment: Produces well-contrasted pictures. This is suitable for use at theme parks, public entertainment facilities, conference rooms in the exhibition hall, and so on.

Multi Screen: This is suitable when simultaneously using multiple projectors for projections, such as blending projections or projections from multiple projectors set up side-by-side.

- 4 Select “Apply,” then press the ENTER key.

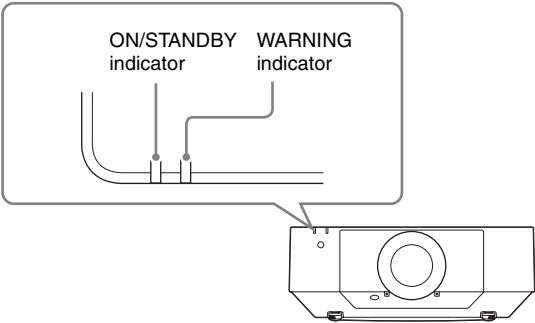
Turning Off the Power

- 1** Press the **I/⏻** key on the main unit or the **⏻** key on the Remote Commander. The projector starts shutdown and turns off.
For long-term use, turn off the projector when not in use.
- 2** Unplug the AC power cord from the wall outlet.

If you need to further adjust projected images, refer to “Projecting/Adjusting an Image” in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Indicators

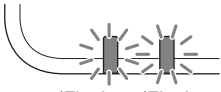
You can check the projector status or abnormality by checking the lighting/flashing status of the ON/STANDBY indicator and WARNING indicator on the front. If the indicators flash in red, address the problem in accordance with “Warning indicators and remedies” (page 28).



Operating status indication

Indicator status	Operating status	Meaning
 (Lights in red) (Off)	Standby	The power is supplied to the projector and the projector is in a standby mode according to the setting.
 (Flashes in green) (Off)	Warm-up	The projector is warming up after it is turned on.
 (Lights in green) (Off)	Power on	The projector is ready for projection.
 (Lights in orange)(Off)	Other standby status	The projector is in With No Input (Light Cutoff), or Quick Reboot standby mode.

Warning indicators and remedies

Indicator status	The number of flashes	Meaning	Remedies
 (Lights in red) (Flashes in red)	Twice	The side cover or air filter is not installed securely.	Check how the side cover or air filter is attached and install it securely.
	Three times	The light source does not light properly.	Unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.
	Six times	A strong shock to the projector is detected.	If there is no visible abnormality, unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.
	Eight times	The lens is not securely attached.	Check how the lens is attached and install it securely.
 (Flashes in red) (Flashes in red) Both indicators flash	Twice	The temperature in the projector is abnormal.	• Check if the air filter is clogged, then clean or replace it (page 29). • Check if the ventilation holes (intake/exhaust) are not blocked by the wall or an object and secure a sufficient gap. • Check the ambient temperature and use the projector within the range of operating temperature.

If the indicators flash in a manner other than described above, unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.

If the problem still persists, consult with qualified Sony personnel.

If there is any problem or an error message appears on the screen, refer to “Messages List” or “Troubleshooting” in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Cleaning the Air Filter

When the message that prompts cleaning the air filter appears, clean the air filter.

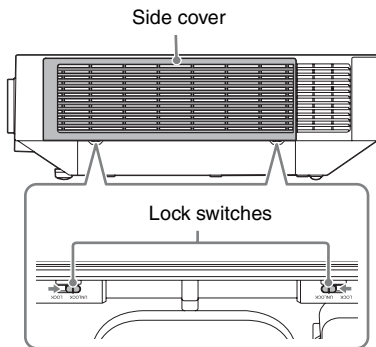
If the dust cannot be removed from the air filter even after cleaning, replace the air filter with a new one.

For details on a new air filter, consult with qualified Sony personnel.

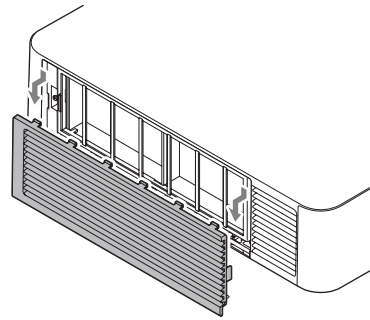
Caution

If you continue to use the projector even after the message is displayed, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.

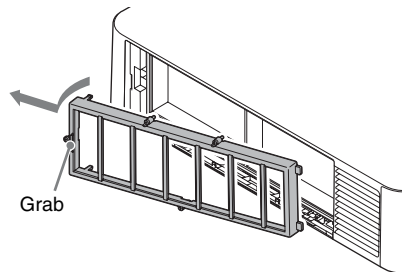
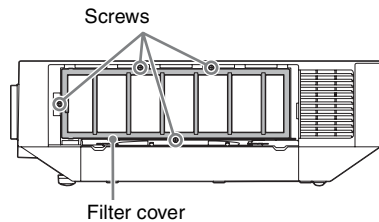
- 1 Turn off the projector and disconnect the AC power cord from a wall outlet.
- 2 Slide the lock switch on the side cover toward UNLOCK to unlock the cover.



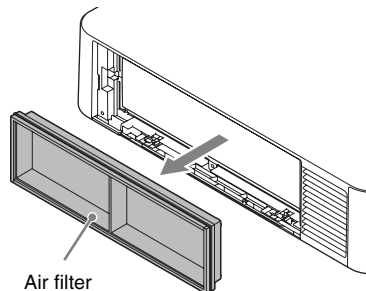
- 3 Slide the side cover downward by pushing its upper corners on both sides to remove the side cover.



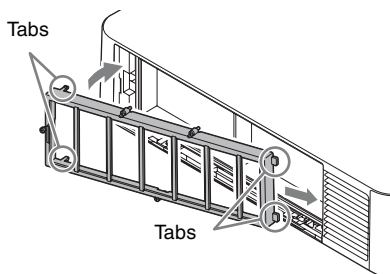
- 4 Loosen the screws (four) and pull out the filter cover by pinching the grab on the left side.



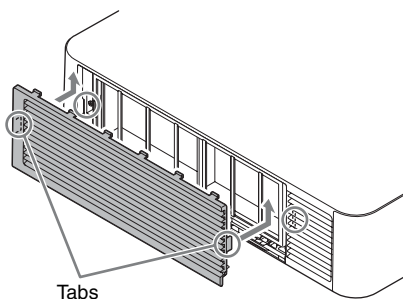
- 5 Pull out the air filter from the main unit.



- 6 Clean the air filter with a vacuum cleaner.
- 7 Replace the air filter and attach the filter cover.
When attaching the filter cover, fit the two tabs on the right into place, turn the filter cover using the right side as an axis, and fit the two tabs on the left into place. Then, tighten the four screws.



- 8 Fit the two tabs on the side cover into place and slide the side cover upward.



- 9 Lock the side cover.

Note

Be sure to attach the air filter firmly; the power cannot be turned on if it is not attached securely.

Replacing the Projection Lens

Notes

- Avoid removing/attaching the lens with the projector installed suspended from a ceiling.
- For usable projection lenses, see “Optional accessories” in the Operating Instructions.
- Do not attach any lens other than the specified accessory lens sold separately.
- Be careful not to drop the projection lens.
- Avoid touching the lens surface.

Removing

- 1 Return the projection lens to the center position.
While the unit is turned on, press the LENS SHIFT button on the Remote Commander, then press the RESET button on it. The projection lens returns to the center position.

Note

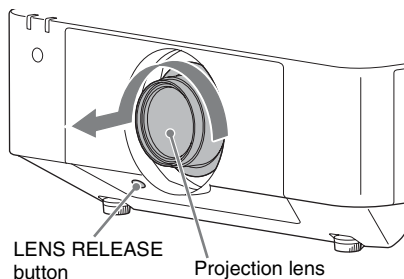
The projection lens cannot be removed unless it has returned to the center position.

- 2 Turn off the projector, then unplug the AC power cord from the wall outlet.

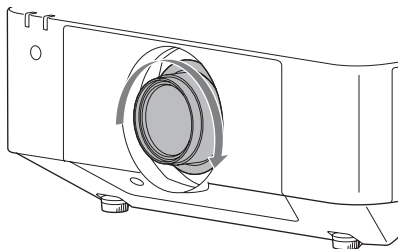
Caution

When replacing the lens, your eyes may be damaged if a strong light accidentally gets into your eyes. Before replacing the lens, turn off the projector and then unplug the AC power cord.

- 3** While pressing and holding down the LENS RELEASE button, rotate the projection lens counterclockwise to pull out the lens straight.



- 2** Rotate the lens clockwise until it clicks.

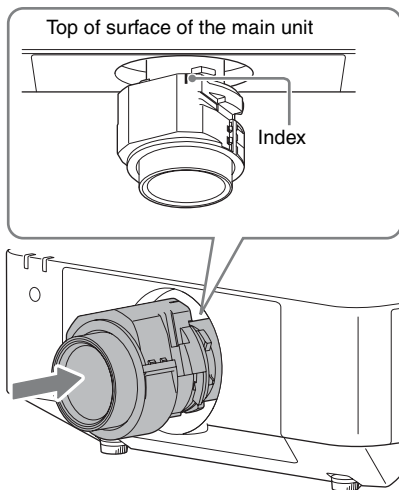


Note

When attaching the projection lens, do not press the LENS RELEASE button.

Attaching

- 1** Fully insert the projection lens with the index on the lens facing toward the top surface of the main unit.



A propos du Guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide explique les opérations de base de projection des images. Vous y trouverez également des mises en garde et des remarques importantes qu'il convient de respecter au cours de la manipulation et de l'utilisation de cet appareil.

Le cas échéant, reportez-vous à la section « Témoins », « Nettoyage du filtre à air » et « Remplacement de l'objectif de projection ».

Pour plus d'informations sur l'utilisation, reportez-vous au Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Etape 1

PréparationPage 13

Etape 2

RaccordementPage 18

Etape 3

Projection.....Page 20

TémoinsPage 24

Nettoyage du filtre à air.....Page 26

Remplacement de l'objectif de projectionPage 27

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écartier tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

Cet appareil doit être relié à la terre.

ATTENTION

- Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
- Lors de la mise au rebut de la batterie ou du produit, vous devez respecter la loi de la région ou du pays concerné. Ne mettez pas la batterie ou le produit au rebut dans un feu ou un four chaud, ou n'écrasez pas mécaniquement la batterie et ne la coupez pas. Elle risque d'exploser ou de provoquer un incendie. Ne soumettez pas la batterie à une pression d'air extrêmement basse qui pourrait entraîner une explosion ou une fuite de liquide ou de gaz inflammable.
- Ne placez pas la batterie dans un endroit à température élevée, tel qu'à la lumière directe du soleil ou à proximité d'un feu. Elle risque de prendre feu, d'exploser ou de provoquer un incendie. Ne plongez pas et ne mouillez pas la batterie dans de l'eau douce ou de l'eau de mer. Cela risque de provoquer une électrocution.

FR

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive au port suivant :
- LAN

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale/régionale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe à l'endroit suivant sur l'appareil.

- Bas

ATTENTION

La taille et le nombre de piles suivants sont requis pour la télécommande.

- Taille : AA (R6)
- Nombre de pile(s) : deux

Pour éviter tout risque d'explosion, utilisez uniquement le type de pile suivant.

- Manganèse/Alcaline

Pour les clients au Canada

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

Pour les clients en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande

AVERTISSEMENT

Cet appareil est conforme à la Classe A de CISPR 32. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio.

AVERTISSEMENT

L'utilisation de cet appareil dans un environnement domestique risque de provoquer des interférences radio.

Pour les clients en Europe

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Pour les clients aux Etats-Unis

ATTENTION

L'emploi de commandes ou ajustements ou l'exécution de procédures autres que celles spécifiées ici peut provoquer une exposition dangereuse au rayonnement.

AVERTISSEMENT

RAYONNEMENT LASER

ÉVITER L'EXPOSITION DIRECTE DES YEUX

PRODUIT LASER DE CLASSE 3R

ATTENTION

Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.

ATTENTION

Ne pas laisser des enfants utiliser ce produit sans surveillance.

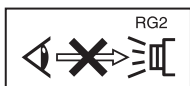
ATTENTION

L'emploi d'instruments optiques avec ce produit augmentera les risques pour les yeux.

Pour les clients résidant dans d'autres pays



IEC 60825-1:2014
PRODUIT LASER DE
CLASSE 1



Comme pour n'importe quelle source de lumière vive, ne regardez pas fixement le faisceau, RG2 IEC 62471-5: 2015.

AVERTISSEMENT: Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.

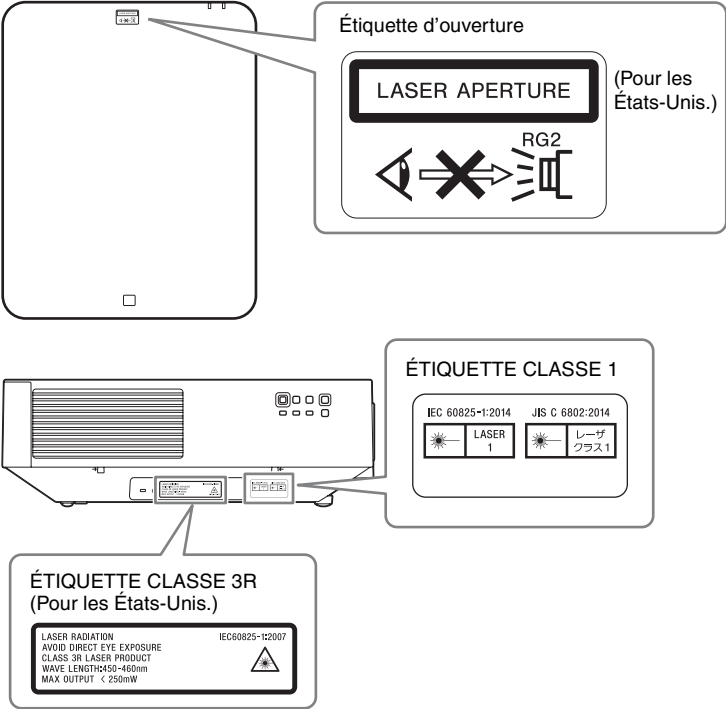
Attention

L'emploi de commandes ou ajustements ou l'exécution de procédures autres que celles spécifiées ici peut provoquer une exposition dangereuse au rayonnement.

Attention

L'emploi d'instruments optiques avec ce produit augmentera les risques pour les yeux.

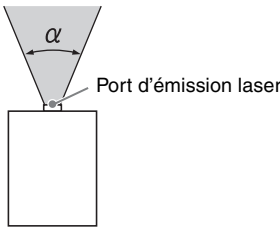
Informations sur l'emplacement des étiquettes



Spécifications de la source lumineuse

Diodes laser 4,35 W
× 32 (VPL-FHZ75)
× 28 (VPL-FHZ70)
Longueur d'onde : 450 - 460 nm

Angle de divergence du faisceau par rapport à l'objectif de cet appareil

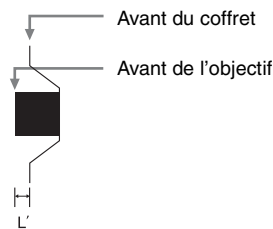


Objectif	Zoom maximum : α	Zoom minimum : α
Objectif standard	45,3°	29,4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

**Distance L'entre l'avant de l'objectif
(centre) et l'avant du coffret**

Unité : mm (pouces)

Objectif	L'
Objectif standard	1,2 (¹ / ₁₆)
VPLL-3007	52,4 (2 ¹ / ₁₆)
VPLL-Z3009	51,2 (2 ¹ / ₃₂)
VPLL-Z3010	60 (2 ³ / ₈)
VPLL-Z3024	9,9 (³ / ₈)
VPLL-Z3032	9,9 (³ / ₈)
VPLL-2007	52,4 (2 ¹ / ₁₆)
VPLL-Z2009	51,2 (2 ¹ / ₃₂)
VPLL-Z1024	9,9 (³ / ₈)
VPLL-Z1032	9,9 (³ / ₈)
VPLL-3003	256 (10 ³ / ₃₂)

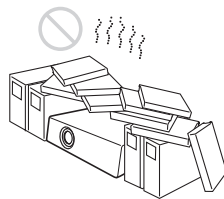


Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.
- Lors de la mise sous tension du projecteur, veillez à ce que personne ne regarde l'objectif de projection.
- Ne laissez pas les enfants utiliser l'appareil sans surveillance.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation ; l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prenez garde de ne pas vous coincer les doigts dans les pieds (réglables) lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. Ne exercez pas une pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le dispositif de réglage est sorti.
- Deux personnes doivent transporter l'appareil en le saisissant par les deux côtés.
- Évitez d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension, car cela risquerait de causer un court-circuit et un accident matériel.
- Prenez garde de vous coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lorsque vous déplacez le projecteur alors qu'il est installé sur le plancher.

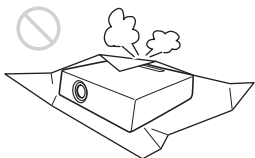
- Prenez garde de vous coincer les doigts dans le ventilateur de refroidissement.
- Ne transportez pas le projecteur sans avoir d'abord fermé le cabinet et le couvercle.
- N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle qu'un radiateur ou un conduit d'air, ou dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, très poussiéreux ou humide, ou sujet à des vibrations mécaniques ou chocs.
- Si un utilisateur démonte, répare ou modifie l'appareil, cela peut gravement nuire à sa sécurité.
- Si le projecteur ne fonctionne pas bien ou est endommagé, consultez un technicien Sony qualifié.
- Si les orifices de ventilation sont obstrués, la chaleur interne augmente et peut entraîner un incendie ou endommager l'appareil. Pour assurer la circulation correcte de l'air et éviter toute surchauffe interne, appliquez les recommandations suivantes :
- Posez l'appareil de manière à laisser un espace suffisant entre celui-ci et les murs ou tout objet (page 10).



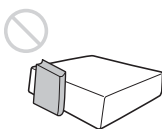
- Évitez de recouvrir les orifices de ventilation (évacuation/admission).



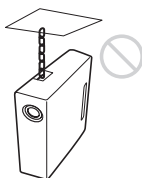
- Ne posez pas l'appareil sur des surfaces telles que sa feuille d'emballage, un linge doux, des journaux, un tapis ou des bouts de papier. Ces matériaux risqueraient d'obstruer les orifices de ventilation.



- Ne placez aucun objet devant l'objectif pour éviter de bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque de les endommager. Utilisez la touche de masquage d'image pour couper l'image.



- N'utilisez pas la barre de sécurité comme antivol lors du transport ou de l'installation de l'appareil. Si vous soulevez ou accrochez l'appareil au moyen de la barre de sécurité, il risque de tomber et d'être endommagé, voire de provoquer des blessures.



- Assurez-vous de retirer le capuchon protecteur de l'objectif avant la projection. Si le capuchon reste fixé, la projection peut le faire fondre sous l'effet de la chaleur.

Pour les revendeurs

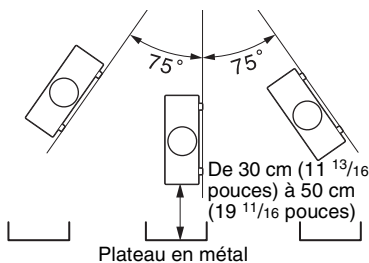
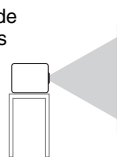
- Quand le projecteur est fixé au plafond, un support Sony ou un support équivalent recommandé doit être utilisé pour l'installation.
- Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

Attention

Lorsque vous installez l'appareil sous l'angle illustré et que les orifices de ventilation sont dirigés vers le bas, fixez un plateau en métal (min. 70 cm × 40 cm (27 9/16 pouces × 15 3/4 pouces)) à la distance indiquée, directement en dessous des orifices de ventilation.

Veillez à ce qu'aucun liquide ou corps étranger ne pénètre dans les orifices de ventilation.

Portrait (Touches de l'appareil orientées vers le bas)

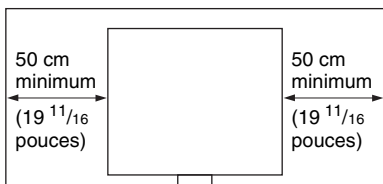


Précautions de sécurité relatives à l'installation de l'appareil au plafond

- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser au magasin auprès duquel vous avez acheté le projecteur ou à un installateur spécialisé.
- Lorsque vous installez l'appareil au plafond, veillez à utiliser un fil de sécurité, par exemple, pour l'empêcher de tomber. Pour l'installation, veillez à vous adresser au magasin auprès duquel vous avez acheté le projecteur ou à un installateur spécialisé.

Lors de l'installation

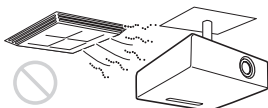
- Lorsque vous installez l'appareil, laissez un espace entre celui-ci et les murs, etc. comme illustré.



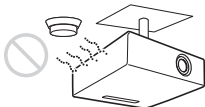
- Évitez d'utiliser l'appareil dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.



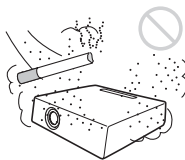
- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur. L'installation dans un tel lieu peut engendrer une défaillance de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.



- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit situé à proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée. Cela risquerait de provoquer une défaillance du détecteur.



- N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur.



- Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Installation. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.
- Définissez correctement l'option « Attitude installation » du menu Installation en fonction de l'angle d'installation. L'utilisation prolongée d'un mauvais réglage risque d'affecter la fiabilité des composants.

Nettoyage de l'objectif et du boîtier

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur avant de procéder au nettoyage.
- Si vous frottez l'appareil avec un chiffon sale, vous risquez de le rayer.
- Si l'appareil est exposé à des substances volatiles telles que des insecticides, ou en cas de contact prolongé avec un produit en caoutchouc ou en résine vinylique, l'appareil risque de se détériorer ou de perdre son revêtement.
- Ne touchez pas l'objectif avec les mains nues.
- Nettoyage de la surface de la lentille : Essuyez délicatement l'objectif avec un chiffon doux, notamment un chiffon de nettoyage pour vitres. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement humide. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

- Nettoyage du boîtier :
Nettoyez délicatement le boîtier avec un chiffon doux. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente neutre et tordu. Ensuite, essuyez avec un chiffon doux et sec. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

Éclairage

Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.

À propos de la dissipation de chaleur

La température du boîtier du projecteur peut augmenter pendant ou juste après utilisation, mais il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

Écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

Ventilateur

Le projecteur renferme un ventilateur qui empêche la température interne d'augmenter et qui peut donc générer du bruit. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'une défaillance. Toutefois, en cas de bruit anormal, adressez-vous à un technicien Sony agréé.

À propos du remplacement de l'objectif

Après le branchement du courant, ne fixez pas ou ne retirez pas l'objectif de protection. Ne fixez pas un objectif autre que l'objectif accessoire spécifié vendu séparément.

À propos du contrôle des pièces de la source d'éclairage

Comme l'appareil utilise un laser, il convient d'être particulièrement vigilant et de travailler dans un environnement sûr lors de l'entretien ou du contrôle des pièces de la source d'éclairage. Veuillez à vous adresser à un technicien Sony agréé.

Mise au rebut des déchets usagés

Ne jetez pas les produits usagés avec les ordures ménagères. Mettez correctement au rebut les produits usagés afin d'éviter de nuire à l'environnement, à votre santé et à celle des autres. Suivez les règlements d'élimination des déchets en vigueur dans votre région.

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement. Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Remarque concernant la condensation

Si la pièce dans laquelle le projecteur est installé subit de brusques changements de températures ou si vous déplacez le projecteur d'un endroit froid à un endroit chaud, de la condensation peut se former à l'intérieur du projecteur. Étant donné que la condensation peut provoquer un dysfonctionnement, réglez la température de votre climatiseur avec précaution. Si de la condensation se forme, laissez le projecteur allumé pendant deux heures avant de l'utiliser.

Remarques sur la sécurité

- **Sony ne peut être tenue responsable de tout dommage, de quelque nature que ce soit, résultant d'une incapacité à mettre en place des mesures de sécurité adaptées pour les dispositifs de transmission, de fuites de données inévitables dues aux spécifications de transmission ou de tout autre problème de sécurité.**
- Selon l'environnement d'exploitation, il est possible que des tiers non autorisés sur le réseau puissent accéder à l'appareil. Avant de connecter l'appareil au réseau, vérifiez que le réseau est bien protégé.
- Pour des raisons de sécurité, lors de l'utilisation de cet appareil connecté au réseau, il est fortement recommandé d'accéder à la fenêtre de commande via un navigateur Web et de modifier la limitation d'accès des valeurs d'usine prérégées (reportez-vous à la section « Utilisation des fonctionnalités réseau » du Mode d'emploi).
Il est par ailleurs recommandé de modifier régulièrement le mot de passe.
- Ne consultez aucun autre site Web dans le navigateur Web pendant ou après la configuration. Étant donné que l'état de connexion est conservé dans le navigateur Web, fermez ce dernier lorsque la configuration est terminée pour empêcher tout tiers non autorisé d'utiliser l'appareil ou d'exécuter des programmes malveillants.

Remarques

- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**
- Sony n'assumera pas de responsabilité pour les réclamations, quelle qu'elles soient, effectuées par les utilisateurs de cet appareil ou par des tierces parties.
- Sony n'assumera pas de responsabilité pour la cessation ou l'interruption de tout service lié à cet appareil, résultant de quelque circonstance que ce soit.

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY -

Rendez-vous sur <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty> pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

Vérification des accessoires fournis

Télécommande RM-PJ30 (1)
Piles de format AA (R6) (2)
Cordon d'alimentation secteur (1)
Porte-fiche (1)
Cache des bornes (1)
Guide de référence rapide (ce manuel) (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)

Utilisation du manuel sur CD-ROM

Vous devez installer Adobe Reader sur votre ordinateur pour pouvoir lire ce manuel. Vous pouvez télécharger Adobe Reader gratuitement depuis le site Web d'Adobe.

- 1 Ouvrez le fichier `index.html` situé sur le CD-ROM.
- 2 Sélectionnez le manuel que vous souhaitez lire, puis cliquez sur ce dernier.

Remarque

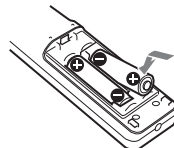
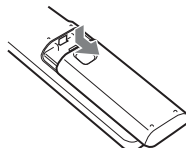
Si vous avez perdu ou endommagé le CD-ROM, vous pouvez acheter un CD-ROM de remplacement auprès de votre représentant Sony ou du service clientèle Sony.

Mise en place des piles

- 1 Retirez le couvercle, puis installez les deux piles AA (R6) (fournies) en respectant les polarités.

Faites glisser le couvercle tout en appuyant dessus.

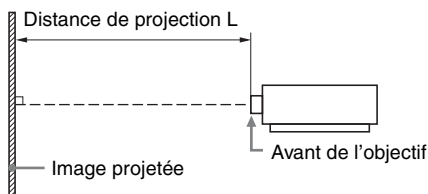
Installez les piles en commençant par le côté $\ominus$.



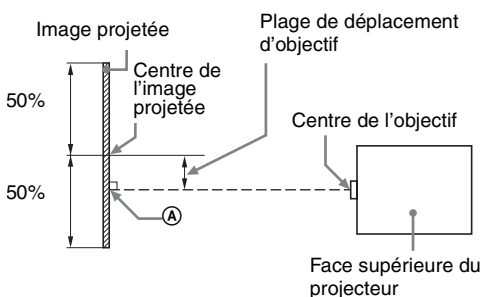
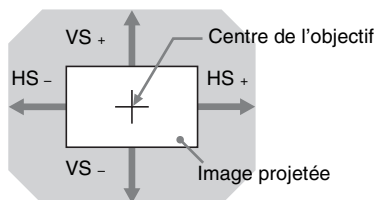
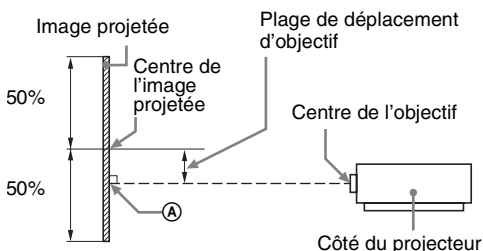
- 2 Remettez le couvercle en place.

Distance de projection et plage de déplacement d'objectif

La distance de projection désigne la distance séparant l'avant de l'objectif de la surface de projection.



La plage de déplacement d'objectif représente, sous forme de pourcentage (%), la distance de déplacement de l'objectif par rapport au centre de l'image projetée. La plage de déplacement de l'objectif est considérée comme égale à 0% quand le point (A) de l'illustration (point qui est perpendiculaire à une ligne tracée entre le centre de l'objectif et celui de l'image projetée) est aligné avec le centre de l'image projetée ; la pleine largeur ou la pleine hauteur de l'image projetée est considérée comme égale à 100%.



VS + : plage de déplacement vertical de l'objectif (haut) [%]

VS - : plage de déplacement vertical de l'objectif (bas) [%]

HS + : plage de déplacement horizontal de l'objectif (droite) [%]

HS - : plage de déplacement horizontal de l'objectif (gauche) [%]

Distance de projection

Unité : m (pouces)

Taille de l'image de projection		Distance de projection L		
Diagonale	Largeur × Hauteur	Objectif standard	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80" (2,03 m)	1,72 × 1,08 (68 × 42)	2,36 – 3,86 (93 – 152)	1,09 (43)	1,44 – 1,69 (57 – 66)
100" (2,54 m)	2,15 × 1,35 (85 × 53)	2,96 – 4,84 (117 – 191)	1,38 (54)	1,82 – 2,13 (72 – 84)
120" (3,05 m)	2,58 × 1,62 (102 × 64)	3,57 – 5,82 (141 – 229)	1,67 (66)	2,20 – 2,57 (87 – 101)
150" (3,81 m)	3,23 × 2,02 (127 × 79)	4,47 – 7,29 (176 – 287)	2,11 (83)	2,76 – 3,23 (109 – 127)
200" (5,08 m)	4,31 × 2,69 (170 × 106)	5,97 – 9,73 (235 – 383)	2,83 (112)	3,70 – 4,34 (146 – 170)

Taille de l'image de projection	Distance de projection L		
Diagonale	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80" (2,03 m)	1,69 – 2,37 (67 – 93)	4,00 – 5,48 (158 – 215)	5,45 – 8,32 (215 – 327)
100" (2,54 m)	2,13 – 2,98 (84 – 117)	5,03 – 6,87 (198 – 270)	6,84 – 10,43 (270 – 410)
120" (3,05 m)	2,56 – 3,59 (101 – 141)	6,05 – 8,27 (238 – 325)	8,24 – 12,55 (325 – 494)
150" (3,81 m)	3,22 – 4,50 (127 – 177)	7,59 – 10,36 (299 – 408)	10,33 – 15,72 (407 – 619)
200" (5,08 m)	4,31 – 6,03 (170 – 237)	10,15 – 13,85 (400 – 545)	13,82 – 21,00 (544 – 827)

Formule de la distance de projection

D : taille de l'image de projection (")

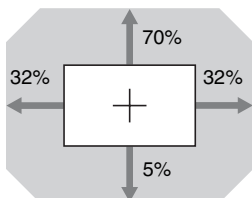
Exemple) Entrez 80 dans D lorsque la taille de l'image de projection est de 80".

Unité : m (pouces)

Objectif	Distance de projection L (longueur minimale)	Distance de projection L (longueur maximale)
Objectif standard	$L = 0,030040 \times D - 0,0443$ ($L = 1,182677 \times D - 1,7457$)	$L = 0,048910 \times D - 0,0442$ ($L = 1,925591 \times D - 1,7394$)
VPLL-3007	$L = 0,014518 \times D - 0,0700$ ($L = 0,571579 \times D - 2,7563$)	–
VPLL-Z3009	$L = 0,018832 \times D - 0,0678$ ($L = 0,741408 \times D - 2,6702$)	$L = 0,022017 \times D - 0,0635$ ($L = 0,866824 \times D - 2,4985$)
VPLL-Z3010	$L = 0,021850 \times D - 0,0631$ ($L = 0,860217 \times D - 2,4830$)	$L = 0,030491 \times D - 0,0640$ ($L = 1,200444 \times D - 2,5211$)
VPLL-Z3024	$L = 0,051187 \times D - 0,0973$ ($L = 2,015234 \times D - 3,8296$)	$L = 0,069717 \times D - 0,0930$ ($L = 2,744761 \times D - 3,6617$)
VPLL-Z3032	$L = 0,069792 \times D - 0,1414$ ($L = 2,747720 \times D - 5,5654$)	$L = 0,105707 \times D - 0,1323$ ($L = 4,161687 \times D - 5,2083$)

Plage de déplacement d'objectif

■ Objectif standard



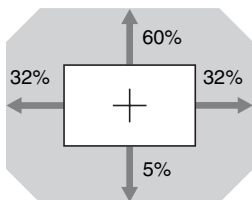
$$VS + = 70 - 2,187 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0,457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



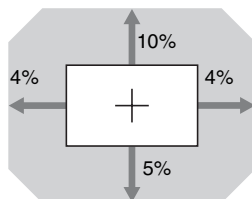
$$VS + = 60 - 1,875 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0,533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



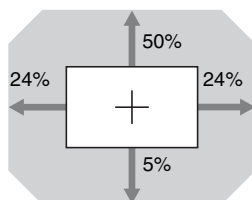
$$VS + = 10 - 2,500 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1,250 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



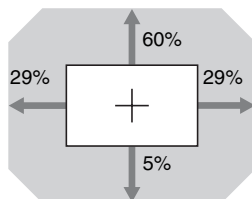
$$VS + = 50 - 2,083 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,208 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0,480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2,069 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

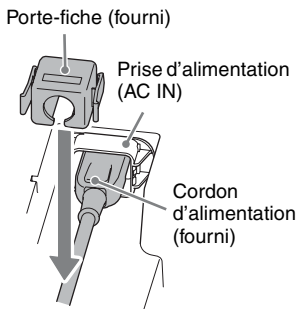
$$VS - = 5 - 0,172 \times (HS + \text{ou } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 0,483 \times VS + [\%]$$

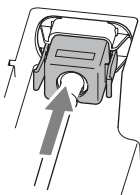
$$HS + = HS - = 29 - 5,800 \times VS - [\%]$$

Raccordement du cordon d'alimentation

- 1 Branchez le cordon d'alimentation sur la prise d'alimentation (AC IN), puis fixez-lui le porte-fiche.



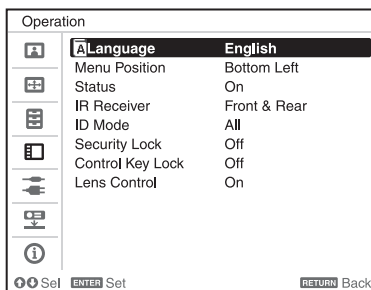
- 2 Glissez le porte-fiche par-dessus le cordon d'alimentation afin de le fixer à l'appareil.



Sélection de la langue de menu

L'anglais est défini d'origine comme langue d'affichage des menus, des messages, etc. Pour changer la langue des menus à l'écran, procédez comme suit :

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale.
- 2 Mettez le projecteur sous tension. Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche I de la télécommande.
- 3 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu. Si l'affichage n'est pas net, réglez la mise au point, la taille et la position de l'image projetée (page 21).
- 4 Sélectionnez la langue des menus.
 - ① Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner le menu Operation (), puis appuyez sur la touche ENTER.
 - ② Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner « Language () », puis appuyez sur la touche ENTER.

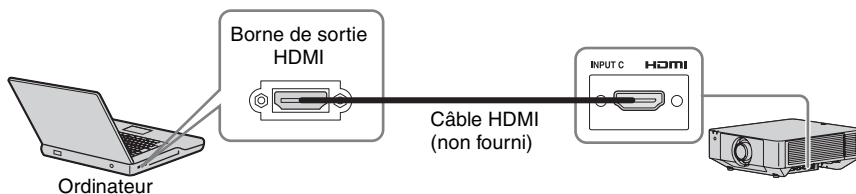


- ③ Appuyez sur la touche ↑/↓/←/→ pour sélectionner la langue, puis appuyez sur la touche ENTER.
- 5 Appuyez sur la touche MENU pour désactiver l'écran de menu.

Remarques

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez les fiches de câble à fond ; de mauvais contacts peuvent réduire les performances des signaux d'image ou entraîner des dysfonctionnements. Débranchez les câbles en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le câble lui-même.
- Pour plus d'informations, consultez aussi la documentation de l'appareil à raccorder.

Raccordement d'un ordinateur



Remarques

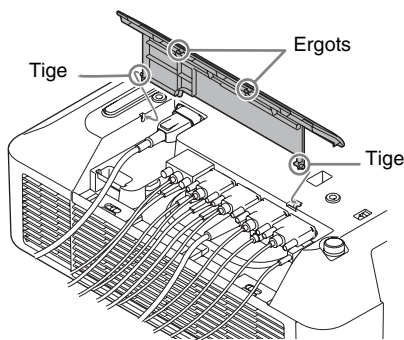
- Utilisez un équipement compatible HDMI portant le logo HDMI.
- Utilisez un ou des câbles HDMI haute vitesse portant un logo du type de câble. (Les produits Sony sont recommandés.)
- La borne HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital - technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control – contrôle « interéléments »).

Pour en savoir plus sur les méthodes de raccordement, reportez-vous à la section « Raccordement du projecteur » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

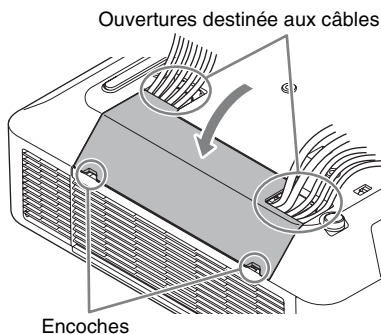
Fixation du cache-borne

Vous pouvez fixer le cache-borne fourni pour empêcher la poussière de pénétrer dans les bornes et préserver ainsi l'apparence de l'appareil.

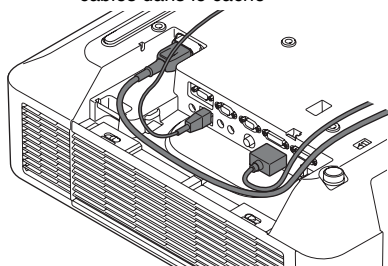
- 1 Montez une tige sur le côté du cache-borne dans l'orifice du dessous, puis montez l'autre tige en pliant légèrement le cache.



- 2 Fermez le cache-borne.
Fermez le cache-borne jusqu'à l'enclenchement de ses deux ergots.



Exemple de disposition des câbles dans le cache



Remarque

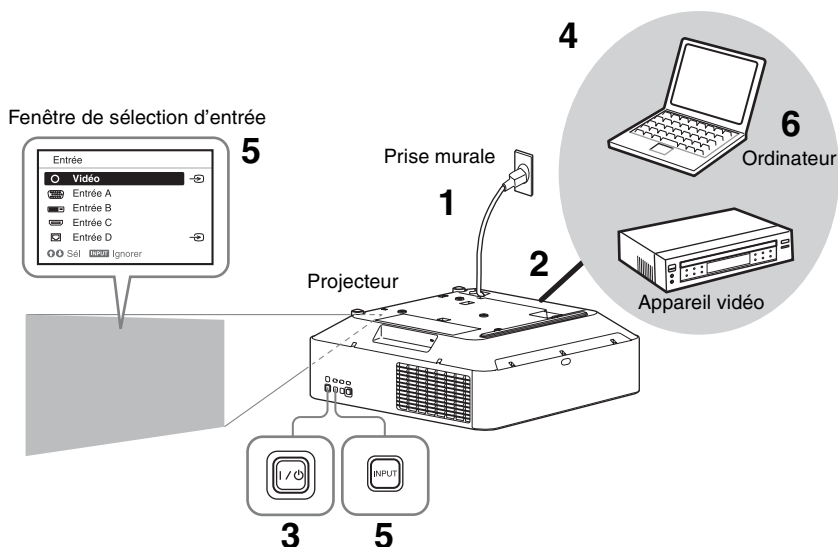
Selon la méthode d'installation, il est possible que le cache-borne ne soit pas fixé en raison notamment de l'état des câbles connectés ou parce que l'appareil est posé à même le sol. Toutefois, cela n'a aucun impact sur une utilisation normale.

Ouverture du cache-borne

Levez le cache en insérant les doigts dans les encoches.

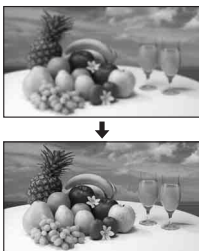
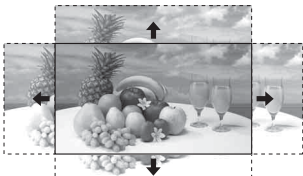
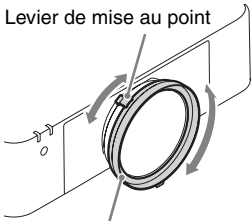
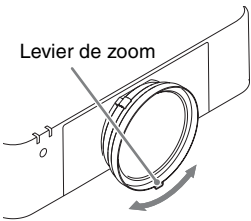
Projection d'une image

La taille de l'image projetée dépend de la distance entre le projecteur et l'écran. Installez le projecteur de façon à adapter l'image projetée à la taille de l'écran.



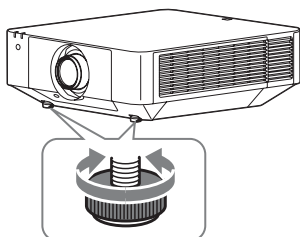
- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale.
- 2 Raccordez tous les appareils au projecteur (page 18).
- 3 Mettez le projecteur sous tension. Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche I de la télécommande.
- 4 Mettez sous tension l'appareil raccordé.
- 5 Sélectionnez la source d'entrée. Appuyez sur la touche INPUT du projecteur pour afficher la fenêtre de sélection d'entrée. Appuyez plusieurs fois sur la touche INPUT ou appuyez sur la touche ▲/▼ pour sélectionner l'image à projeter.
- 6 Faites basculer la sortie de l'ordinateur vers l'affichage externe en modifiant les paramètres de l'ordinateur. La procédure à suivre pour diriger la sortie de l'ordinateur vers le projecteur dépend du type d'ordinateur.
(Exemple)
Fn + F7
- 7 Réglez la mise au point, la taille et la position de l'image projetée.

Réglage de la mise au point, la taille et la position de l'image projetée

Mise au point	Taille (zoom)	Position (déplacement d'objectif)
		
Lors de la fixation de l'objectif à mise au point électrique Appuyez sur la touche FOCUS du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ pour régler la mise au point. Lors de la fixation de l'objectif à zoom manuel Faites tourner le levier de mise au point périphérique pour effectuer la mise au point. Vous pouvez effectuer la mise au point de la zone périphérique en faisant tourner la bague de mise au point périphérique.  Levier de mise au point Bague de mise au point périphérique	Lors de la fixation de l'objectif à zoom électrique Appuyez sur la touche ZOOM du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ pour régler la taille. Lors de la fixation de l'objectif à zoom manuel Faites tourner le levier de zoom pour régler la taille.  Levier de zoom	Appuyez sur la touche LENS SHIFT/SHIFT du projecteur ou de la télécommande, puis appuyez sur la touche $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ pour régler la position. Pour repositionner l'objectif au centre de l'image projetée Appuyez sur la touche RESET de la télécommande pendant le réglage.

Réglage de l'inclinaison du projecteur à l'aide des supports avant (réglables)

Lorsque le projecteur est installé sur une surface inégale, vous pouvez l'ajuster à l'aide des supports avant (réglables).



Remarques

- Veillez à ne pas abaisser le projecteur sur vos doigts.
- Évitez d'appuyer fortement sur le dessus du projecteur lorsque les supports avant (réglables) sont déployés. Cela pourrait entraîner un dysfonctionnement.

Affichage d'une mire pour le réglage d'une image

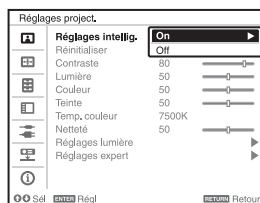
Vous pouvez afficher une mire pour régler l'image projetée à l'aide de la touche PATTERN de la télécommande. Utilisez **▲/▼** pour changer de mire et **◀/▶** pour changer sa couleur. Appuyez à nouveau sur la touche PATTERN pour rétablir l'image précédente.

Optimisation automatique des réglages du projecteur

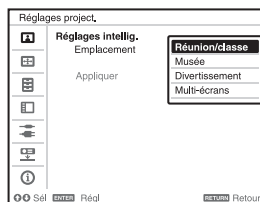
Lorsque vous réglez « Réglages intellig. » sur « On » dans le menu Réglages project., vous pouvez optimiser les réglages de l'image, les réglages de la lumière et les performances de refroidissement du système (vitesse de rotation du ventilateur) en sélectionnant l'emplacement d'installation sous « Emplacement » selon l'environnement dans lequel le projecteur est utilisé. Le paramètre « Réglages intellig. » convient à une utilisation stable et prolongée du projecteur.

- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu.

- 2 Réglez « Réglages intellig. » sur « On » dans le menu Réglages project., puis appuyez sur la touche ENTER.



- 3 Sélectionnez l'emplacement d'utilisation du projecteur parmi les options suivantes.



Réunion/classe: projection nette de textes et graphiques. Ce paramètre convient à une utilisation dans des salles de réunion ou des salles de classe.

Musée: reproduit les couleurs avec précision. Ce paramètre convient à une utilisation dans des endroits calmes, comme des galeries d'art ou des musées.

Divertissement: produit des images bien contrastées. Convient aux parcs à thème, aux lieux de divertissement publics, aux salles de conférence des parcs d'exposition, etc.

Multi-écrans: ceci convient à l'utilisation simultanée de plusieurs projecteurs, par exemple pour les projections fusionnées ou les projections à partir de plusieurs projecteurs installés côte à côte.

- 4 Sélectionnez « Appliquer », puis appuyez sur la touche ENTER.

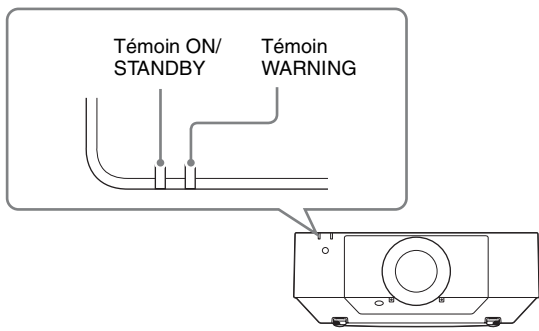
Mise hors tension

- 1** Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou sur la touche ⏻ de la télécommande.
Le projecteur s'arrête et se met hors tension.
Pour pouvoir profiter de votre projecteur à long terme, mettez-le hors tension lorsque vous ne l'utilisez pas.
- 2** Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

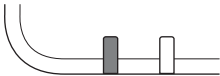
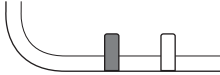
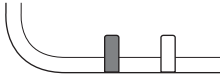
Si vous devez poursuivre l'ajustement des images projetées, reportez-vous à la section « Projection/Réglage d'une image » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

Témoins

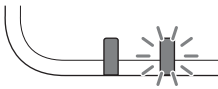
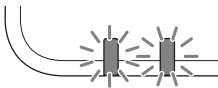
Vous pouvez vérifier l'état du projecteur ou une anomalie en vérifiant l'état d'éclairage/de clignotement du témoin ON/STANDBY et du témoin WARNING à l'avant. Si les témoins clignotent en rouge, reportez-vous à la section « Témoins d'avertissement et solutions » (page 25) afin de remédier au problème.



Utilisation d'une indication d'état

État du témoin	État d'utilisation	Signification
 (S'allume en rouge) (Off)	Veille	L'alimentation est fournie au projecteur et le projecteur est en mode de veille en fonction du réglage.
 (Clignote en vert) (Off)	Chauffe	Le projecteur chauffe après sa mise sous tension.
 (S'allume en vert) (Off)	Mise sous tension	Le projecteur est prêt pour la projection.
 (S'allume en orange) (Off)	Autre état de veille	Le projecteur est en mode veille Sans entrée (Coupure éclairage) ou Redémarrage rapide.

Témoins d'avertissement et solutions

État du témoin	Nombre de clignotements	Signification	Solutions
 (S'allume en rouge) (Clignote en rouge)	Deux fois	Le couvercle latéral ou le filtre à air n'est pas installé solidement.	Vérifiez la fixation du couvercle latéral ou du filtre à air et installez-le solidement.
	Trois fois	La source lumineuse ne s'allume pas correctement.	Débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension.
	Six fois	Un choc important sur le projecteur est détecté.	Si tout semble normal, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension.
	Huit fois	L'objectif n'est pas fixé solidement.	Vérifiez la fixation de l'objectif et installez-le solidement.
 (Clignote en rouge) (Clignote en rouge) Les deux témoins clignotent	Deux fois	La température interne du projecteur est anormale.	• Vérifiez si le filtre à air est colmaté, puis nettoyez-le ou remplacez-le (page 26). • Vérifiez si les orifices de ventilation (évacuation/prise d'air) ne sont pas obstrués par le mur ou un objet et prévoyez un intervalle suffisant. • Vérifiez la température ambiante et utilisez le projecteur dans la plage de température de fonctionnement.

Si les témoins clignotent différemment de la description ci-dessus, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension. Si le problème persiste, contactez un technicien Sony agréé.

En cas de problème ou si un message d'erreur apparaît à l'écran, reportez-vous à la section « Liste des messages » ou « Dépannage » du Mode d'emploi figurant sur le CD-ROM fourni.

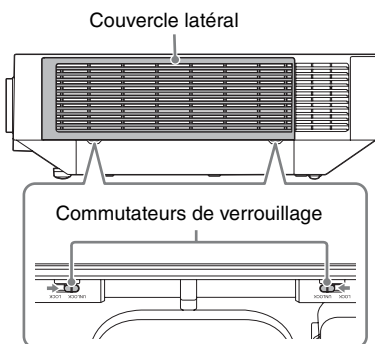
Nettoyage du filtre à air

Lorsque le message vous invitant à nettoyer le filtre à air apparaît, nettoyez le filtre à air. S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, même après un nettoyage, remplacez ce dernier par un neuf. Pour plus d'informations sur les filtres à air neufs, contactez un technicien Sony agréé.

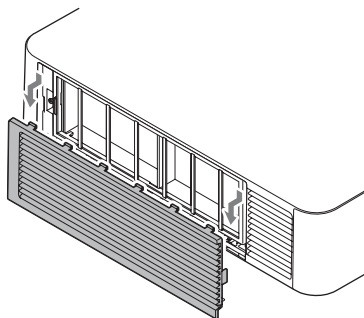
Mise en garde

Si vous continuez d'utiliser le projecteur alors que le message est affiché, la poussière risque de s'accumuler et de colmater l'appareil. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et provoquer un mauvais fonctionnement ou un incendie.

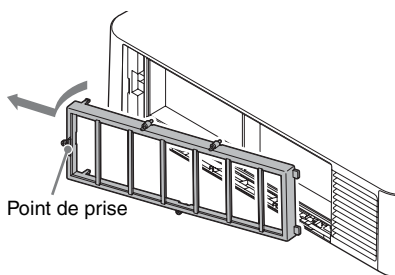
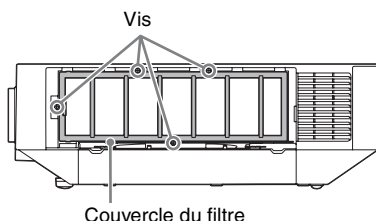
- 1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.
- 2 Faites glisser le commutateur de verrouillage du couvercle latéral vers UNLOCK pour déverrouiller le couvercle.



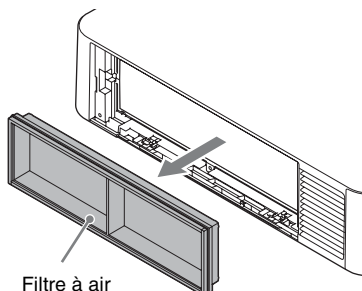
- 3 Pour retirer le couvercle latéral, faites-le glisser vers le bas en poussant ses coins supérieurs de chaque côté.



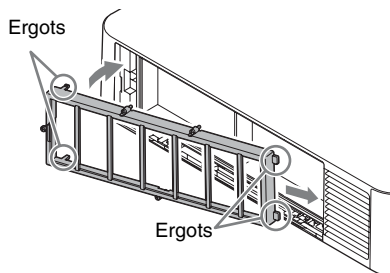
- 4 Desserrez les vis (quatre) et retirez le couvercle du filtre en pinçant le point de prise du côté gauche.



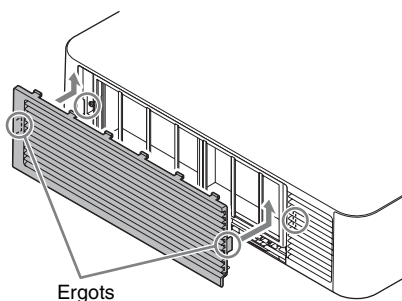
- 5 Extrayez le filtre à air de l'appareil principal.



- 6 Nettoyez le filtre à air avec un aspirateur.
- 7 Remplacez le filtre à air et fixez le couvercle du filtre.
Pour fixer le couvercle du filtre, mettez les deux ergots de droite en place, tournez le couvercle du filtre en utilisant le côté droit comme un axe, puis mettez les deux ergots de gauche en place. Serrez ensuite les quatre vis.



- 8 Montez les deux ergots du couvercle latéral et faites glisser le couvercle latéral vers le haut.



- 9 Verrouillez le couvercle latéral.

Remarque

Fixez solidement l'ensemble du filtre à air ; il est impossible de mettre le projecteur sous tension si le couvercle n'est pas correctement fixé.

Remplacement de l'objectif de projection

Remarques

- Évitez de retirer/fixer l'objectif si le projecteur est suspendu au plafond.
- Pour les objectifs de projection, reportez-vous à la section « Accessoires en option » du Mode d'emploi.
- Ne fixez pas d'autre objectif que l'objectif accessoire (vendu séparément) spécifié.
- Veillez à ne pas faire tomber l'objectif de projection.
- Évitez de toucher la surface de l'objectif.

Retrait

- 1 Remettez l'objectif de projection sur la position centrale.
Lorsque l'appareil est sous tension, appuyez sur la touche LENS SHIFT de la télécommande, puis appuyez sur sa touche RESET. L'objectif de projection revient sur la position centrale.

Remarque

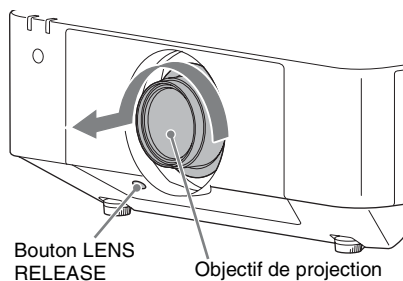
Il est impossible de retirer l'objectif de projection s'il n'a pas rejoint la position centrale.

- 2 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

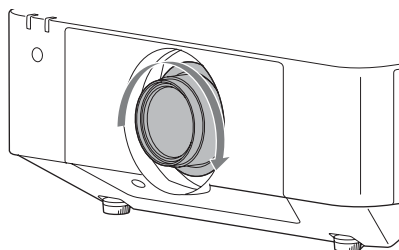
Mise en garde

Lors du remplacement de l'objectif, vos yeux peuvent être endommagés si une forte lumière pénètre accidentellement dans vos yeux. Avant de remplacer l'objectif, mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur.

- 3** Tout en maintenant la touche LENS RELEASE enfoncée, tournez l'objectif de projection dans le sens antihoraire pour retirer l'objectif en le maintenant droit.



- 2** Faites pivoter l'objectif dans le sens horaire jusqu'à enclenchement.

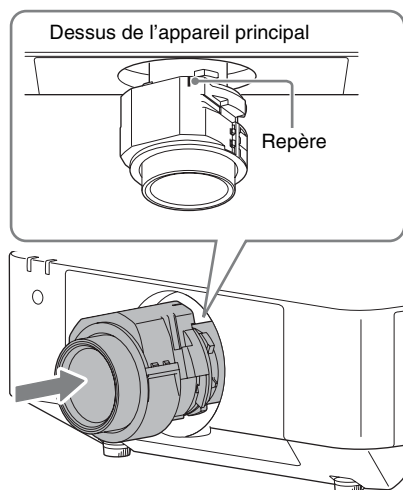


Remarque

Quand vous fixez l'objectif de protection, n'appuyez pas sur le bouton LENS RELEASE.

Fixation

- 1** Insérez à fond l'objectif de projection en dirigeant le repère de l'objectif vers le dessus de l'appareil principal.



Acerca del Manual de referencia rápida

Este Manual de referencia rápida explica las operaciones básicas para proyectar imágenes. También presenta notas y precauciones importantes que deben tenerse muy en cuenta al manipular y utilizar esta unidad.

Consulte los apartados “Indicadores”, “Limpieza del filtro de aire” y “Sustitución del objetivo de proyección” si es necesario.

Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el Manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Paso 1

Preparación Página 12

Paso 2

Conexión Página 17

Paso 3

Proyección Página 19

Indicadores Página 23

Limpieza del filtro de aire..... Página 26

Sustitución del objetivo de proyección Página 27

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendio o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad. Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

Este aparato debe conectarse a tierra.

PRECAUCIÓN

- Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
- Cuando deseche la batería o el producto, debe cumplir con la legislación de su área o país. No deseche la batería o el producto en el fuego o en un horno caliente, ni la corte o aplaste mecánicamente. Podría explotar o provocar un incendio. No someta a la batería a una presión de aire extremadamente baja ya que podría dar lugar a una explosión o a la fuga de gas o líquido inflamable.
- No coloque la batería en un lugar donde la temperatura sea elevada; por ejemplo, bajo la luz directa del sol o cerca del fuego. Podría prenderse, explotar o provocar un incendio. No sumerja ni humedezca la batería con agua o agua de mar. Podría producirse una descarga eléctrica.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

PRECAUCIÓN

Por razones de seguridad, no conecte el conector de los cables de dispositivos periféricos que puedan tener demasiado voltaje en el siguiente puerto:

- LAN

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país/región, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión y amperaje.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la siguiente ubicación de la unidad.

- Parte inferior

PRECAUCIÓN

Se necesitan los tamaños y el número de pilas siguientes para el mando a distancia.

- Tamaño: AA (R6)
- Número de pilas: dos

Para evitar el riesgo de explosión, utilice únicamente el siguiente tipo de pilas.

- Manganeso / Alcalina

Para los clientes de Europa, Australia y Nueva Zelanda

ADVERTENCIA

Este equipo cumple con los requisitos de la Clase A de la norma CISPR 32. En un entorno residencial, este equipo puede causar interferencias radioeléctricas.

ADVERTENCIA

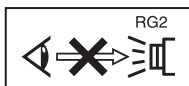
El uso de este equipo en un entorno residencial podría causar interferencias radioeléctricas.

Para los clientes de Europa

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.



IEC 60825-1:2014 PRODUCTO LÁSER DE CLASE 1



Al igual que con cualquier fuente de luz brillante, no mire fijamente al haz de luz, RG2 IEC 62471-5: 2015.

ADVERTENCIA: No examine la lente mientras la utilice.

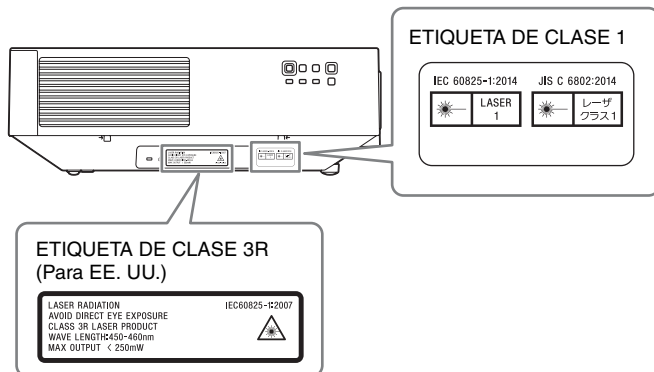
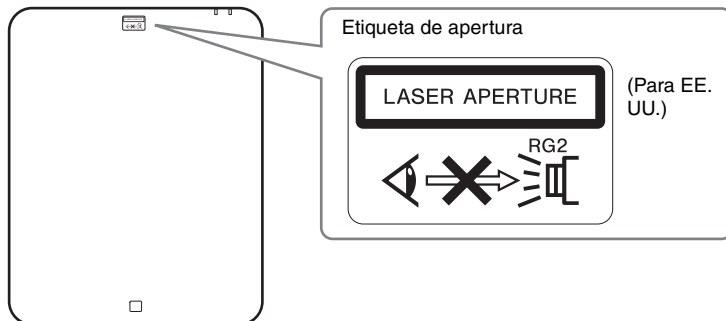
Precaución

La utilización de controles o ajustes, o la realización de procedimientos no especificados aquí pueden resultar en la exposición a radiación peligrosa.

Precaución

El uso de instrumentos ópticos con este producto aumentará el peligro para los ojos.

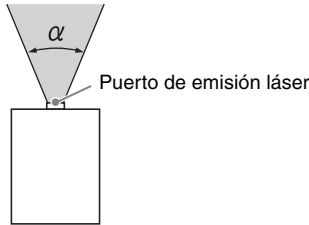
Información sobre la posición de las etiquetas



Especificaciones de la fuente de luz

Diodos láser de 4,35 W
 × 32 (VPL-FHZ75)
 × 28 (VPL-FHZ70)
 Longitud de onda: 450 - 460 nm

Ángulo de divergencia del haz de luz desde la lente de esta unidad

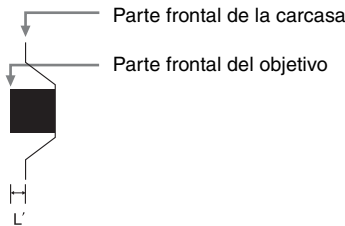


Objetivo	Zoom máximo: α	Zoom mínimo: α
Objetivo estándar	45,3°	29,4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

La distancia L' entre la parte frontal del objetivo (centro) y la parte frontal de la carcasa

Unidad: mm

Objetivo	L'
Objetivo estándar	1,2
VPLL-3007	52,4
VPLL-Z3009	51,2
VPLL-Z3010	60
VPLL-Z3024	9,9
VPLL-Z3032	9,9
VPLL-2007	52,4
VPLL-Z2009	51,2
VPLL-Z1024	9,9
VPLL-Z1032	9,9
VPLL-3003	256

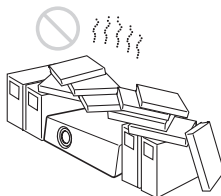


Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No examine la lente mientras la utilice.
- Al encender el proyector, asegúrese de que nadie está mirando directamente al objetivo de proyección.
- No deje que los niños utilicen la unidad sin supervisión.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el pie (ajustable) cuando ajuste la altura de la unidad. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior de la unidad cuando el ajustador esté fuera.
- Asegúrese de que dos personas sujetan ambos lados de la unidad al trasladar la unidad.
- Evite utilizar un cable prolongador con un bajo límite de tensión, ya que puede producir cortocircuitos e incidentes físicos.
- No se atrape los dedos entre la unidad y la superficie del suelo al mover un proyector instalado en el suelo.
- Tenga cuidado de no atraparse los dedos con el ventilador de refrigeración.

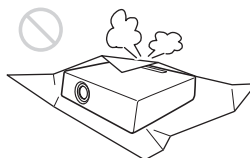
- No transporte el proyector guardado en su estuche y con la tapa abierta.
- No instale la unidad en una ubicación cercana a fuentes de calor tales como radiadores o conducciones de aire, ni en un lugar sujeto a la luz directa del sol, demasiado polvo o humedad, vibraciones mecánicas o golpes.
- Si un usuario desmonta, repara o modifica la unidad, puede poner en peligro gravemente su propia seguridad.
- Si se produce un error o una avería en el proyector, consulte con un técnico de Sony cualificado.
- Si se bloquean los orificios de ventilación, el calor interno aumentará y esto podría provocar un incendio o dañar la unidad. Con el fin de facilitar una circulación de aire adecuada y evitar el recalentamiento interno, siga los consejos que se indican a continuación:
- Coloque la unidad, dejando un espacio suficiente en relación con paredes u objetos (página 9).



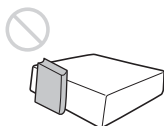
- Procure no utilizar ningún objeto que cubra los orificios de ventilación (salida/entrada de aire).



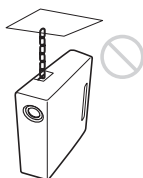
- No coloque la unidad sobre superficies tales como partes del embalaje original, paños suaves, papeles, cojines o trozos de papel. Dichos materiales podrían pegarse a los orificios de ventilación.



- No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla de función de apagado de la imagen para interrumpir la imagen.



- No utilice la barra de seguridad para evitar robos durante el transporte o la instalación de la unidad. Si eleva la unidad o la deja suspendida mediante la barra de seguridad, es posible que la unidad se caiga y se dañe, asimismo, podría provocar daños personales.



- Asegúrese de retirar la tapa de protección del objetivo antes de la proyección. Si realiza la proyección con la tapa montada podría derretirse a causa del calor.

Para los distribuidores

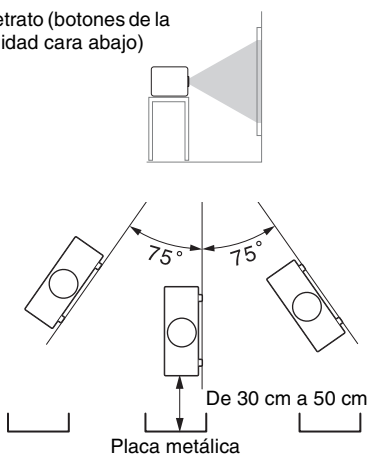
- Si se instala el proyector en el techo, es necesario utilizar un soporte Sony o un soporte equivalente recomendado.
- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

Precaución

Cuando instale la unidad en el ángulo mostrado, si los orificios de ventilación están orientados hacia abajo, coloque una placa metálica (mín. 70 cm x 40 cm) a la distancia indicada a continuación directamente por debajo de los orificios de ventilación.

Asegúrese de que no penetran materiales extraños ni líquidos por los orificios de ventilación.

Retrato (botones de la unidad cara abajo)

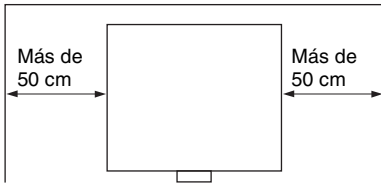


Precauciones de seguridad para instalar la unidad en el techo

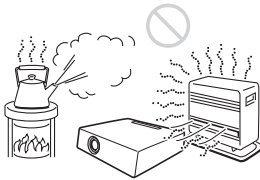
- Nunca instale el proyector en el techo ni lo desplace sin ayuda. Consulte con la tienda en la que compró el proyector o con un instalador experimentado.
- Si instala la unidad en el techo, utilice un cable de seguridad o un sistema similar para evitar que la unidad se desprenda. Para realizar la instalación, consulte con la tienda en la que compró el proyector o con un instalador experimentado.

Sobre la instalación

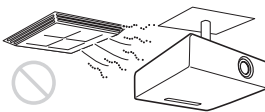
- Cuando instale la unidad, deje espacio entre cualquier pared o similar y la unidad como se muestra en la ilustración.



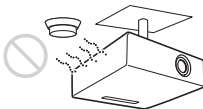
- Evite utilizar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.



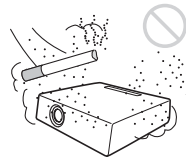
- Evite instalar la unidad en lugares expuestos a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización. Si se instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o a un aumento de temperatura.



- Evite instalar la unidad en una ubicación cercana a un sensor de calor o de humo. Si se instala en una ubicación de estas características, podría provocar un fallo de funcionamiento del sensor.



- Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente.



- Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú Instalación en “Sí”. Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.
- Ajuste correctamente la “Posición instalación” en el menú Instalación de acuerdo con el ángulo de instalación. El uso prolongado de un ajuste incorrecto podría afectar a la fiabilidad del componente.

Limpieza del objetivo y de la carcasa

- Asegúrese de desconectar el cable de alimentación de CA de la toma de corriente de CA antes de limpiar la unidad.
- Si frota la unidad con un paño sucio, la carcasa podría rayarse.
- Si la unidad se expone a materiales volátiles, como insecticidas, o si está en contacto con algún producto de goma o resina de vinilo durante un período de tiempo prolongado, la unidad podría deteriorarse o el recubrimiento podría desprenderse.
- No toque el objetivo con las manos desprotegidas.
- Acerca de la limpieza de la superficie del objetivo:
Limpie suavemente el objetivo con un paño suave, como una gamuza. Las manchas resistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido con agua. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o

los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

- **Acerca de la limpieza de la carcasa:**
Limpie la carcasa suavemente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecida en una solución detergente neutra previamente escurrido y, a continuación, pasando un paño suave y seco. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

Iluminación

Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.

Disipación de calor

La temperatura de la carcasa del proyector puede subir mientras se utiliza el equipo o inmediatamente después; sin embargo, esto no indica un problema de funcionamiento.

Pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Ventilador

Es posible que se produzca ruido, ya que el proyector está equipado con un ventilador en su interior para evitar que la temperatura interna aumente. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento. Si, no obstante, se produce un ruido anómalo, consulte con personal especializado de Sony.

Acerca de la sustitución del objetivo

Cuando el equipo esté encendido, no coloque ni retire el objetivo de proyección. No utilice ningún objetivo diferente del objetivo especificado como accesorio (vendido por separado).

Revisión de componentes relacionados con la fuente de luz

La unidad utiliza un láser, por lo que al realizar el mantenimiento o la revisión de componentes relacionados con la fuente de luz, es necesario trabajar con las máximas precauciones y en un entorno seguro. Pida siempre consejo a un técnico de Sony cualificado.

Eliminación de productos usados

No deseche los productos usados junto con los residuos generales. Deseche correctamente los productos usados para evitar perjudicar el medio ambiente o su propia salud o la de los demás. Cumpla las normativas sobre eliminación de su zona.

Proyector LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Acerca de la condensación

Si la temperatura de la habitación en la que se instala el proyector cambia rápidamente, o si el proyector se traslada súbitamente de un lugar muy frío a uno muy cálido, es posible que se produzca condensación en el proyector. La condensación puede provocar errores de funcionamiento, por lo que debe prestarse atención al ajustar la temperatura del aire acondicionado. Si se produce condensación, deje el proyector encendido durante dos horas antes de utilizarlo.

Notas sobre la seguridad

- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO DEBIDOS A LA OMISIÓN DE LAS MEDIDAS DE SEGURIDAD ADECUADAS EN DISPOSITIVOS DE TRANSMISIÓN, FUGAS DE DATOS INEVITABLES DERIVADAS DE LAS ESPECIFICACIONES DE TRANSMISIÓN O PROBLEMAS DE SEGURIDAD DE CUALQUIER TIPO.
- En función del entorno operativo, es posible que terceros no autorizados en la red puedan acceder a la unidad. Al conectar la unidad a la red, confirme siempre que la red está correctamente protegida.
- Desde el punto de vista de la seguridad, al utilizar la unidad conectada a la red, se recomienda encarecidamente acceder a la ventana de control a través de un navegador web y modificar la limitación de acceso de los valores predeterminados de fábrica (consulte “Uso de las funciones de red” en el Manual de instrucciones). Asimismo, se recomienda cambiar la contraseña periódicamente.
- No visite otros sitios web con el navegador web mientras ajuste la configuración o justo después. El navegador web recuerda los ajustes de inicio de sesión, por lo que debe cerrarlo al completar la configuración para evitar que terceros no autorizados utilicen la unidad o evitar la instalación de programas maliciosos.

Notas

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

Comprobación de los accesorios suministrados

Mando a distancia RM-PJ30 (1)
Pilas de tamaño AA (R6) (2)
Cable de alimentación de CA (1)
Sujeta-enchufe (1)
Tapa del terminal (1)
Manual de referencia rápida (este manual) (1)
Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)

Utilización del manual en CD-ROM

El manual puede leerse en un ordenador con Adobe Reader instalado.
Puede descargar la aplicación Adobe Reader de forma gratuita desde el sitio web de Adobe.

- 1 Abra el archivo index.html en el CD-ROM.
- 2 Seleccione y haga clic en el manual que desee leer.

Nota

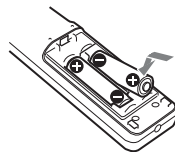
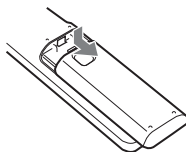
Si ha perdido el CD-ROM o se le ha estropeado, podrá adquirir uno de sustitución en su distribuidor Sony o en un punto de asistencia Sony.

Colocación de las pilas

- 1 Retire la tapa y coloque las dos pilas AA (R6) (suministradas) con la polaridad correcta.

Deslice la tapa mientras la presiona.

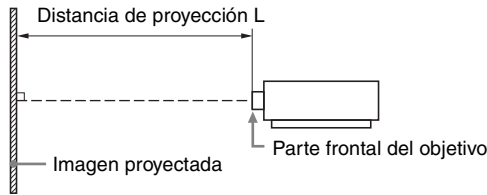
Asegúrese de instalar la pila comenzando por el lado $\ominus$.



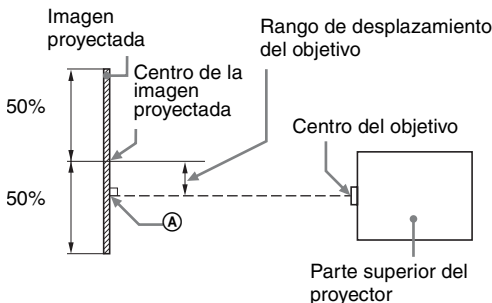
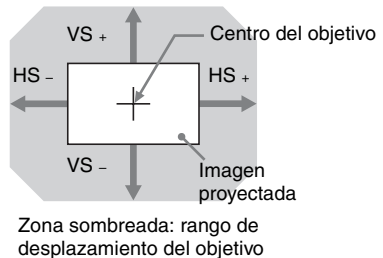
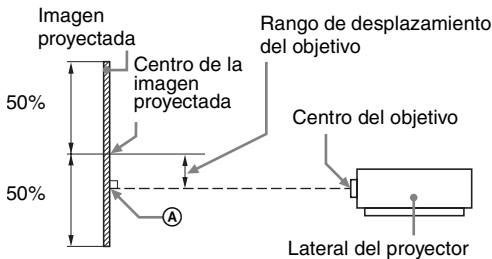
- 2 Vuelva a colocar la tapa.

Distancia de proyección y Rango de desplazamiento del objetivo

La distancia de proyección hace referencia a la distancia existente entre la parte frontal del objetivo y la superficie proyectada.



El rango de desplazamiento del objetivo representa la distancia en porcentaje (%) a la que el objetivo se puede desplazar desde el centro de la imagen proyectada. El rango de desplazamiento del objetivo se considera como del 0% cuando el punto (A) de la ilustración (punto en el que una línea dibujada desde el centro del objetivo y la imagen proyectada se cruzan en ángulo recto) está alineado con el centro de la imagen proyectada y la anchura completa o la altura completa de la imagen proyectada se considera como del 100%.



VS +: rango de desplazamiento vertical del objetivo (arriba) [%]

VS -: rango de desplazamiento vertical del objetivo (abajo) [%]

HS +: rango de desplazamiento horizontal del objetivo (derecha) [%]

HS -: rango de desplazamiento horizontal del objetivo (izquierda) [%]

Distancia de proyección

Unidad: m

Tamaño de la imagen de proyección		Distancia de proyección L		
Diagonal	Anchura × Altura	Objetivo estándar	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80 pulgadas (2,03 m)	1,72 × 1,08	2,36 – 3,86	1,09	1,44 – 1,69
100 pulgadas (2,54 m)	2,15 × 1,35	2,96 – 4,84	1,38	1,82 – 2,13
120 pulgadas (3,05 m)	2,58 × 1,62	3,57 – 5,82	1,67	2,20 – 2,57
150 pulgadas (3,81 m)	3,23 × 2,02	4,47 – 7,29	2,11	2,76 – 3,23
200 pulgadas (5,08 m)	4,31 × 2,69	5,97 – 9,73	2,83	3,70 – 4,34

Tamaño de la imagen de proyección	Distancia de proyección L		
Diagonal	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80 pulgadas (2,03 m)	1,69 – 2,37	4,00 – 5,48	5,45 – 8,32
100 pulgadas (2,54 m)	2,13 – 2,98	5,03 – 6,87	6,84 – 10,43
120 pulgadas (3,05 m)	2,56 – 3,59	6,05 – 8,27	8,24 – 12,55
150 pulgadas (3,81 m)	3,22 – 4,50	7,59 – 10,36	10,33 – 15,72
200 pulgadas (5,08 m)	4,31 – 6,03	10,15 – 13,85	13,82 – 21,00

Fórmula de la distancia de proyección

D: Tamaño de imagen de proyección (pulgadas)

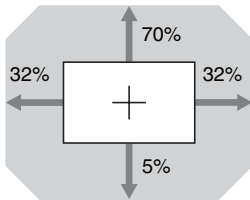
Ejemplo) Escriba 80 en D para un tamaño de imagen de proyección de 80 pulgadas.

Unidad: m

Objetivo	Distancia de proyección L (longitud mínima)	Distancia de proyección L (longitud máxima)
Objetivo estándar	$L = 0,030040 \times D - 0,0443$	$L = 0,048910 \times D - 0,0442$
VPLL-3007	$L = 0,014518 \times D - 0,0700$	–
VPLL-Z3009	$L = 0,018832 \times D - 0,0678$	$L = 0,022017 \times D - 0,0635$
VPLL-Z3010	$L = 0,021850 \times D - 0,0631$	$L = 0,030491 \times D - 0,0640$
VPLL-Z3024	$L = 0,051187 \times D - 0,0973$	$L = 0,069717 \times D - 0,0930$
VPLL-Z3032	$L = 0,069792 \times D - 0,1414$	$L = 0,105707 \times D - 0,1323$

Rango de desplazamiento del objetivo

■ Objetivo estándar



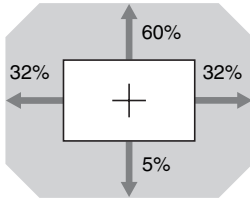
$$VS + = 70 - 2,187 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0,457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



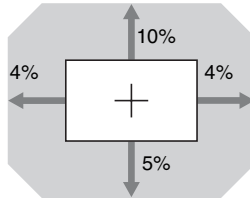
$$VS + = 60 - 1,875 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0,533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



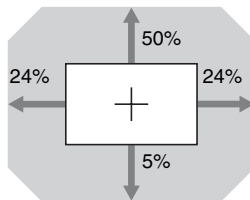
$$VS + = 10 - 2,500 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1,250 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



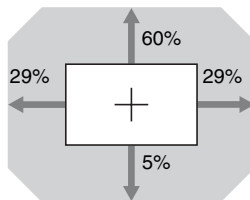
$$VS + = 50 - 2,083 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,208 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0,480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2,069 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,172 \times (HS + \text{ o } HS -) [\%]$$

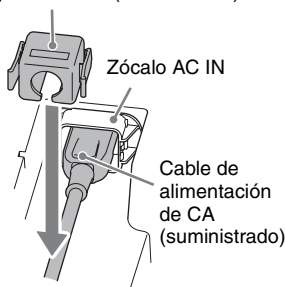
$$HS + = HS - = 29 - 0,483 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 5,800 \times VS - [\%]$$

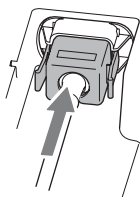
Conexión del cable de alimentación de CA

- 1 Enchufe el cable de alimentación de CA en el zócalo AC IN; seguidamente, fije el sujeta-enchufe al cable de alimentación de CA.

Sujeta-enchufe (suministrado)



- 2 Deslice el sujeta-enchufe por el cable de alimentación de CA para fijarlo a la unidad.



Selección del idioma del menú

El idioma predeterminado de fábrica para visualizar los menús, mensajes, etc. es el inglés.

Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, haga lo siguiente:

- 1 Conecte el cable de alimentación de CA a una toma de pared.
- 2 Encienda el proyector.
Pulse la tecla **I/⏻** de la unidad principal o la tecla **I** del mando a distancia.
- 3 Pulse la tecla **MENU** para visualizar el menú.
Si la pantalla no se visualiza correctamente, ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada (página 20).
- 4 Seleccione el idioma del menú.
 - ① Pulse la tecla **▲** o **▼** para seleccionar el menú **Operation** (**⚙️**) y, a continuación, pulse la tecla **ENTER**.
 - ② Pulse la tecla **▲** o **▼** para seleccionar “**Language** (**A**)” y, a continuación, pulse la tecla **ENTER**.

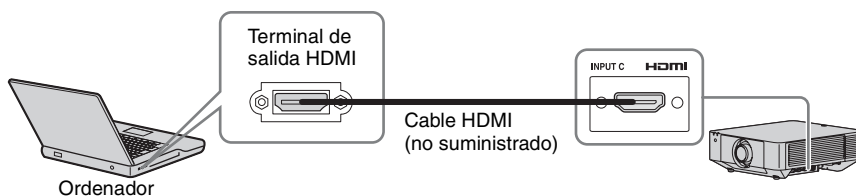
Operation		
A	Language	English
⚙️	Menu Position	Bottom Left
⏻	Status	On
📡	IR Receiver	Front & Rear
🔒	ID Mode	All
🔒	Security Lock	Off
🔒	Control Key Lock	Off
🔒	Lens Control	On
ℹ️		
⏻ Sel	ENTER Set	RETURN Back

- ③ Pulse la tecla **▲/▼/◀/▶** para seleccionar un idioma y, a continuación, pulse la tecla **ENTER**.
- 5 Pulse la tecla **MENU** para desactivar la pantalla de menú.

Notas

- Apague todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Inserte firmemente los enchufes de los cables; las conexiones mal realizadas pueden reducir la calidad de las señales de imagen o provocar una avería. Cuando desconecte un cable, asegúrese de sujetarlo del enchufe, no del mismo cable.
- Para obtener más información, consulte también los manuales de instrucciones del equipo que vaya a conectar.

Conexión a un ordenador



Notas

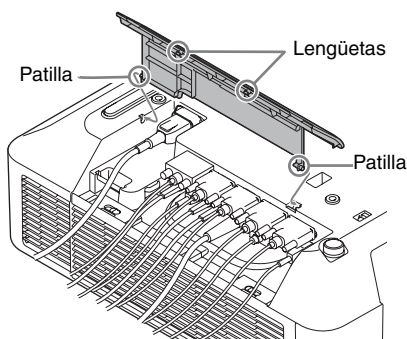
- Utilice equipos compatible con HDMI con el logotipo de HDMI.
- Utilice cables HDMI de alta velocidad en los que aparezca el logotipo del tipo de cable. (Se recomiendan los productos Sony.)
- El terminal HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo).

Para obtener información sobre otros métodos de conexión, consulte "Conexión del proyector" en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

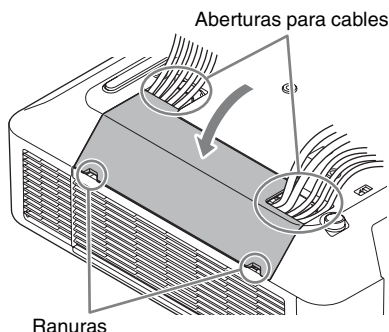
Colocación de la cubierta del terminal

Puede colocar la cubierta de terminales suministrada para evitar la penetración de polvo en los terminales y mantener el equipo con buen aspecto.

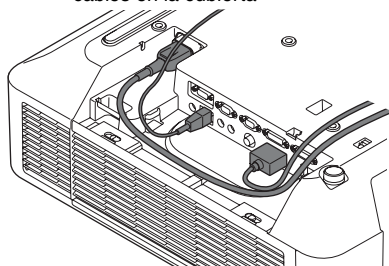
- 1 Coloque una patilla del lateral de la cubierta del terminal en el orificio de la parte inferior y, a continuación, coloque la otra patilla doblando ligeramente la cubierta.



- 2 Cierre la cubierta del terminal.
Cierre la cubierta del terminal hasta que hagan clic sus dos lengüetas.



Ejemplo de disposición de los cables en la cubierta



Nota

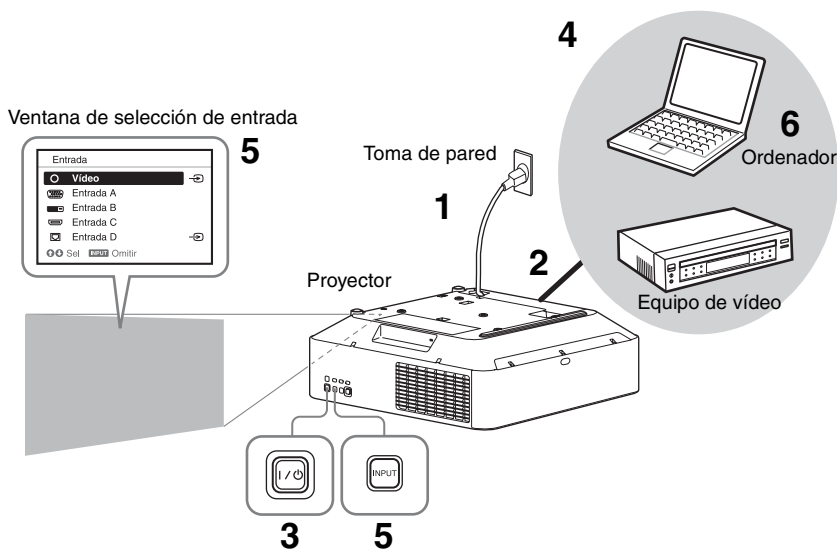
Es posible que no pueda instalar la cubierta de terminales en función del método de instalación, por ejemplo a causa del estado de los cables conectados o al instalar la unidad en el suelo. Sin embargo, esta circunstancia no influye en la utilización normal.

Apertura de la cubierta del terminal

Levante la cubierta introduciendo los dedos en las ranuras.

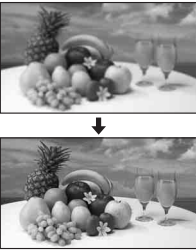
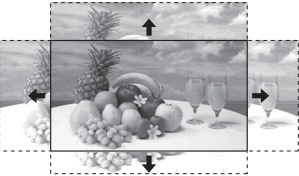
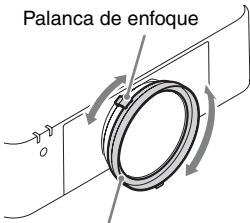
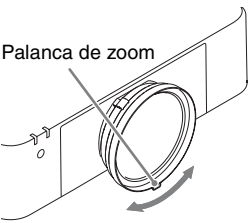
Proyección de una imagen

El tamaño de una imagen proyectada depende de la distancia existente entre el proyector y la pantalla. Instale el proyector de modo que la imagen proyectada se ajuste al tamaño de la pantalla.



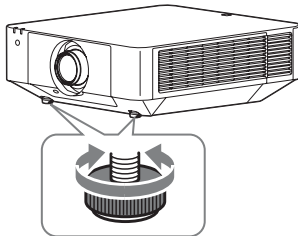
- 1** Conecte el cable de alimentación de CA a una toma de pared.
- 2** Conecte todos los equipos al proyector (página 17).
- 3** Encienda el proyector.
Pulse la tecla I/⏻ de la unidad principal o la tecla I del mando a distancia.
- 4** Encienda el equipo conectado.
- 5** Seleccione la fuente de entrada.
Pulse la tecla INPUT del proyector para visualizar la ventana de selección de entrada. Pulse la tecla INPUT varias veces o la tecla ⬆/⬇ para seleccionar la imagen que se va a proyectar. El icono de señal -Ⓢ aparece en el lado derecho de la ventana de selección de entrada cuando se recibe una señal de entrada. Puede seleccionar la fuente de entrada mediante el uso de las teclas de selección de entrada directa del mando a distancia.
- 6** Cambie la configuración del ordenador para conmutar la salida hacia una pantalla externa.
La manera de conmutar la salida del ordenador hacia el proyector variará en función del tipo de ordenador.
(Ejemplo)
Fn + F7
- 7** Ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada.

Ajuste del enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada

Enfoque	Tamaño (zoom)	Posición (desplazamiento del objetivo)
		
Cuando coloque el objetivo de enfoque eléctrico Pulse la tecla FOCUS del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ para ajustar el enfoque. Cuando coloque el objetivo de enfoque manual Gire la palanca de enfoque y el anillo de enfoque periférico para ajustar el enfoque. Puede ajustar el enfoque del área periférica girando el anillo de enfoque periférico.  Palanca de enfoque Anillo de enfoque periférico	Cuando coloque el objetivo de zoom eléctrico Pulse la tecla ZOOM del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ para ajustar el tamaño. Cuando coloque el objetivo de zoom manual Gire la palanca de zoom para ajustar el tamaño.  Palanca de zoom	Pulse la tecla LENS SHIFT/SHIFT del proyector o del mando a distancia y, a continuación, pulse la tecla $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ para ajustar la posición. Para volver a colocar el objetivo en la posición central de la imagen proyectada Pulse la tecla RESET del mando a distancia mientras realiza el ajuste.

Ajuste de la inclinación del proyector con el pie anterior (ajustable)

Cuando el proyector está instalado en una superficie irregular, puede ajustar su posición utilizando el pie anterior (ajustable).



Notas

- Tenga cuidado de no dejar caer el proyector sobre los dedos.
- No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior del proyector cuando el pie anterior (ajustable) esté extendido. Puede producirse un problema de funcionamiento.

Visualización de un patrón para ajustar una imagen

Puede visualizar un patrón para ajustar la imagen proyectada con la tecla PATTERN del mando a distancia. Utilice $\uparrow/\downarrow$ para cambiar el patrón y $\leftarrow/\rightarrow$ para cambiar su color. Vuelva a pulsar la tecla PATTERN para restablecer la imagen anterior.

Optimización automática de los ajustes del proyector

Si ajusta “Ajuste inteligente” en “Sí” en el menú Ajuste proyección, puede optimizar los ajustes de imagen, los ajustes de iluminación y el rendimiento de la refrigeración del sistema (velocidad de rotación del ventilador) seleccionando el lugar de instalación en “Ubicación” en función del entorno de utilización del proyector. “Ajuste inteligente” está pensado para una utilización estable y prolongada del proyector.

- 1 Pulse la tecla MENU para mostrar el menú.

- 2 Ajuste “Ajuste inteligente” en “Sí” en el menú Ajuste proyección y, a continuación, pulse la tecla ENTER.



- 3 Seleccione la ubicación de utilización del proyector entre las siguientes opciones.



Reunión/clase: proyección de textos y gráficos de forma nítida. Ajuste ideal para salas de reuniones o clases.

Museo: reproducción precisa de los colores. Ajuste adecuado para lugares tranquilos, como galerías o museos.

Ocio: obtención de imágenes con un buen contraste. Es adecuado para su uso en parques temáticos, espacios de ocio públicos, salas de conferencias de centros de exposiciones, etc.

Multipantalla: adecuado para la utilización simultánea de varios proyectores para proyecciones, por ejemplo para combinar proyecciones o en caso de proyecciones de varios proyectores dispuestos en paralelo.

- 4 Seleccione “Aplicar” y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

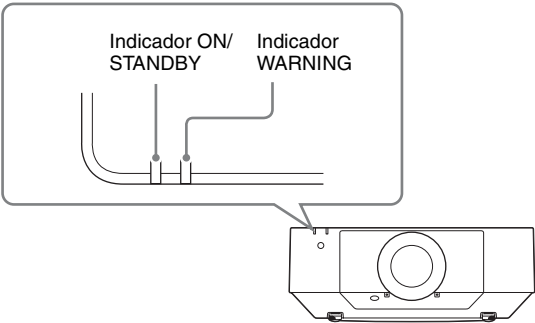
Apagado de la alimentación

- 1** Pulse la tecla I/⏻ de la unidad principal o la tecla ⏻ del mando a distancia.
El proyector empieza a cerrarse y se apaga.
Para prolongar su vida útil, apague el proyector cuando no lo utilice.
- 2** Desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.

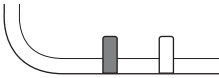
Si necesita realizar otros ajustes en las imágenes proyectadas, consulte “Proyección/Ajuste de una imagen” en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

Indicadores

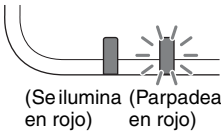
Puede comprobar el estado del proyector o si existe algún tipo de anomalía comprobando el estado de iluminación/parpadeo del indicador ON/STANDBY y del indicador WARNING de la parte frontal. Si los indicadores parpadean en rojo, solucione el problema de acuerdo con “Soluciones e indicadores de advertencia” (página 24).

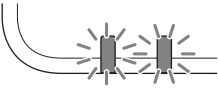


Indicación de estado de funcionamiento

Estado del indicador	Estado de funcionamiento	Significado
 (Se ilumina (Apagado) en rojo)	Espera	La alimentación se suministra al proyector y este se encuentra en el modo Espera de acuerdo con la configuración.
 (Parpadea (Apagado) en verde)	Calentamiento	El proyector está calentándose después de encenderlo.
 (Se ilumina (Apagado) en verde)	Encendido	El proyector está listo para la proyección.
 (Se ilumina (Apagado) en naranja)	Otro estado de espera	El proyector está en el modo de espera Sin entrada (Apagado luz) o Reinicio rápido.

Soluciones e indicadores de advertencia

Estado del indicador	El número de parpadeos	Significado	Soluciones
 (Se ilumina en rojo) (Parpadea en rojo)	Dos veces	La cubierta lateral o el filtro de aire no se han instalado de forma segura.	Compruebe cómo se han instalado la cubierta lateral o el filtro de aire e instáuelos de forma segura.
	Tres veces	La fuente de luz no se enciende correctamente.	Desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.
	Seis veces	Se detecta un golpe fuerte en el proyector.	Si no detecta ninguna anomalía a simple vista, desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.
	Ocho veces	El objetivo no está colocado de forma segura.	Compruebe cómo se ha colocado el objetivo e instálo de forma segura.

Estado del indicador	El número de parpadeos	Significado	Soluciones
 (Parpadea en rojo) (Parpadea en rojo) Ambos indicadores parpadean	Dos veces	La temperatura del proyector es anómala.	• Compruebe si el filtro de aire está obstruido y, a continuación, límpielo o vuelva a colocarlo (página 26). • Compruebe que los orificios de ventilación (entrada/salida) no estén bloqueados por la pared u otro objeto y deje suficiente espacio. • Compruebe la temperatura ambiente y utilice el proyector dentro del rango de temperatura de funcionamiento.

Si los indicadores parpadean de otra forma diferente a la descrita anteriormente, desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector.

Si el problema persiste, consulte con personal especializado de Sony.

Si tiene cualquier problema o aparece un mensaje de error en la pantalla, consulte “Lista de mensajes” o “Solución de problemas” en el Manual de instrucciones incluido en el CD-ROM suministrado.

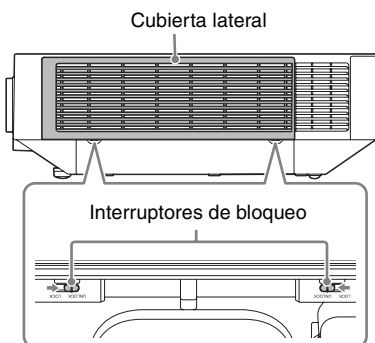
Limpieza del filtro de aire

Cuando aparezca un mensaje que indica limpiar el filtro de aire, límpielo. Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire incluso después de haberlo limpiado, sustitúyalo por uno nuevo. Para obtener información detallada sobre un nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.

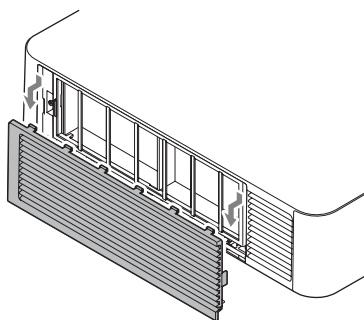
Precaución

Si continúa utilizando el proyector después de que aparezca el mensaje, es posible que se acumule el polvo y lo obstruya. Como consecuencia, la temperatura puede aumentar en el interior de la unidad, lo que podría provocar un fallo de funcionamiento o un incendio.

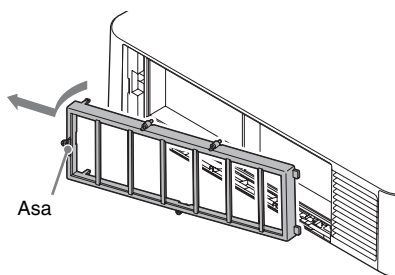
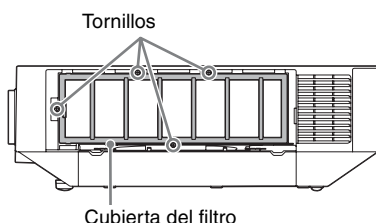
- 1 Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de corriente.
- 2 Deslice el interruptor de bloqueo de la cubierta lateral hacia UNLOCK para desbloquear la cubierta.



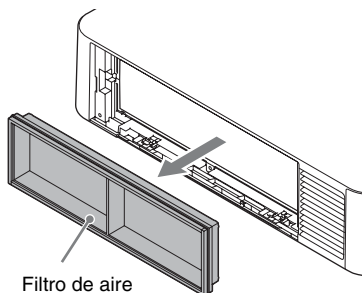
- 3 Deslice hacia abajo la cubierta lateral presionando sus bordes superiores en los dos lados para retirarla.



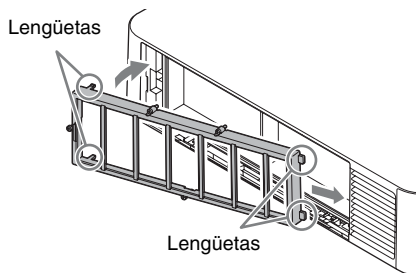
- 4 Afloje los tornillos (cuatro) y extraiga la cubierta del filtro sujetándola por el asa del lado izquierdo.



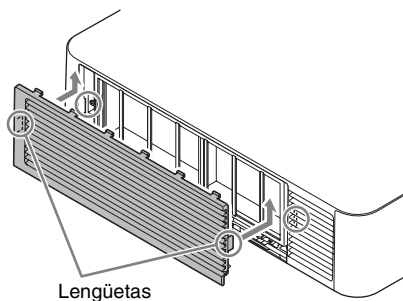
- 5 Extraiga el filtro de aire de la unidad principal.



- 6** Limpie el filtro de aire con un aspirador.
- 7** Vuelva a colocar el filtro de aire y coloque la cubierta del filtro.
Al colocar la cubierta del filtro, encaje las dos lengüetas de la derecha, gire la cubierta del filtro con el lado derecho como si fuera un eje, y encaje las dos lengüetas de la izquierda. A continuación, apriete los cuatro tornillos.



- 8** Encaje las dos lengüetas de la cubierta lateral y deslícela hacia arriba.



- 9** Bloquee la cubierta lateral.

Nota

Asegúrese de sujetar firmemente el filtro de aire; la alimentación no se puede encender si no está colocado con seguridad.

Sustitución del objetivo de proyección

Notas

- Evite extraer/colocar el objetivo con el proyector instalado en el techo.
- Para obtener información sobre los objetivos de proyección utilizables, consulte “Accesorios opcionales” en el Manual de instrucciones.
- No coloque ningún objetivo que no sea el objetivo accesorio especificado que se vende por separado.
- Asegúrese de no dejar caer el objetivo de proyección.
- Evite tocar la superficie del objetivo.

Extracción

- 1** Vuelva a colocar el objetivo de proyección en la posición central. Mientras la unidad esté encendida, pulse el botón LENS SHIFT del mando a distancia y, a continuación, pulse el botón RESET. El objetivo de proyección vuelve a la posición central.

Nota

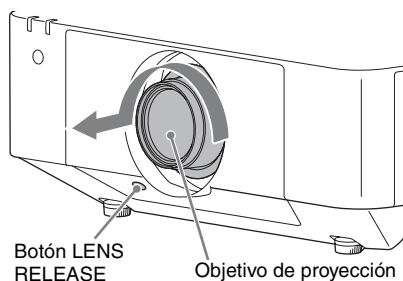
El objetivo de proyección no puede extraerse a menos que haya regresado a la posición central.

- 2** Apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de corriente.

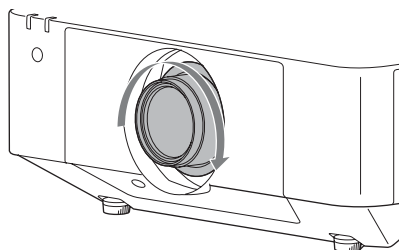
Precaución

Al sustituir el objetivo, puede sufrir daños en los ojos si una luz intensa incide accidentalmente en ellos. Antes de sustituir el objetivo, apague el proyector y, a continuación, desconecte el cable de alimentación de CA.

- 3** Mientras mantiene pulsado el botón LENS RELEASE, gire hacia la izquierda el objetivo de proyección para extraerlo.



- 2** Gire el objetivo hacia la derecha hasta que quede encajado.

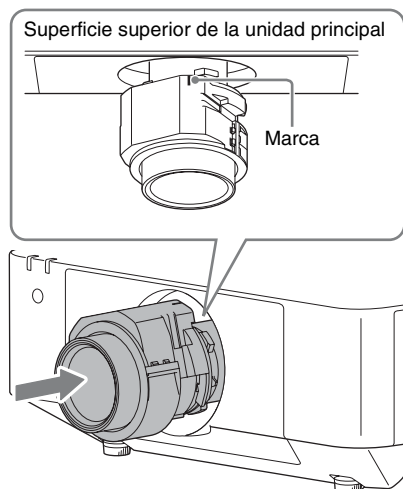


Nota

Al colocar el objetivo de proyección, no pulse el botón LENS RELEASE.

Colocación

- 1** Coloque la marca del objetivo de proyección mirando hacia la superficie superior de la unidad principal e introduzca por completo el objetivo.



Informationen zur Kurzreferenz

In dieser Kurzreferenz werden die Grundfunktionen für das Projizieren von Bildern erläutert. Es werden auch wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen erläutert, die Sie bei Handhabung und Gebrauch dieses Geräts beachten müssen.

Weitere Informationen finden Sie bei Bedarf unter „Anzeigen“, „Reinigen des Luftfilters“ und „Auswechseln des Projektionsobjektivs“.

Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Schritt 1

Vorbereitung.....Seite 13

Schritt 2

AnschlüsseSeite 18

Schritt 3

Projizieren.....Seite 20

AnzeigenSeite 24

Reinigen des Luftfilters.....Seite 27

Auswechseln des Projektionsobjektivs.....Seite 29

Deutsch

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

Dieses Gerät muss geerdet werden.

VORSICHT

- Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
- Beachten Sie beim der Entsorgung des Akkus oder des Geräts die örtlichen Vorschriften. Entsorgen Sie den Akku oder das Gerät nicht durch Verbrennen. Erhitzen Sie den Akku nicht, und beschädigen Sie ihn nicht. Andernfalls besteht Explosions- und Brandgefahr. Setzen Sie den Akku keinem extrem niedrigen Luftdruck aus, der zu einer Explosion oder dem Austreten brennbarer Flüssigkeiten oder Gase führen könnte.
- Setzen Sie den Akku keinen hohen Temperaturen aus wie etwa in direkter Sonneneinstrahlung oder in der Nähe von Wärmequellen. Er kann sich entzünden, explodieren oder einen Brand verursachen. Halten Sie den Akku fern von Wasser und Salzwasser. Andernfalls besteht Stromschlaggefahr.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

DE

VORSICHT

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für die nachstehende Buchse haben könnte:

- LAN

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land/der betreffenden Region gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich an der folgenden Stelle des Gerätes:

- Unterseite

VORSICHT

Batterien der folgenden Größe und in folgender Anzahl sind für die Fernbedienung erforderlich:

- Größe: AA (R6)
- Batterieanzahl: Zwei

Verwenden Sie nur den folgenden Batterietyp, da andernfalls Explosionsgefahr besteht:

- Mangan/Alkali

Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

WARNUNG

Dieses Gerät entspricht CISPR 32, Klasse A. Dieses Gerät kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen.

WARNUNG

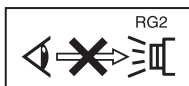
Der Betrieb dieses Geräts in Wohnbereichen kann Funkstörungen verursachen.

Für Kunden in Europa

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.



**IEC 60825-1:2014
LASERPRODUKT
DER KLASSE 1**



Schauen Sie wie bei jeder hellen Lichtquelle nicht in den Strahl, siehe RG2 IEC 62471-5:2015.

WARNUNG: Schauen Sie nicht in das Objekt, während es verwendet wird.

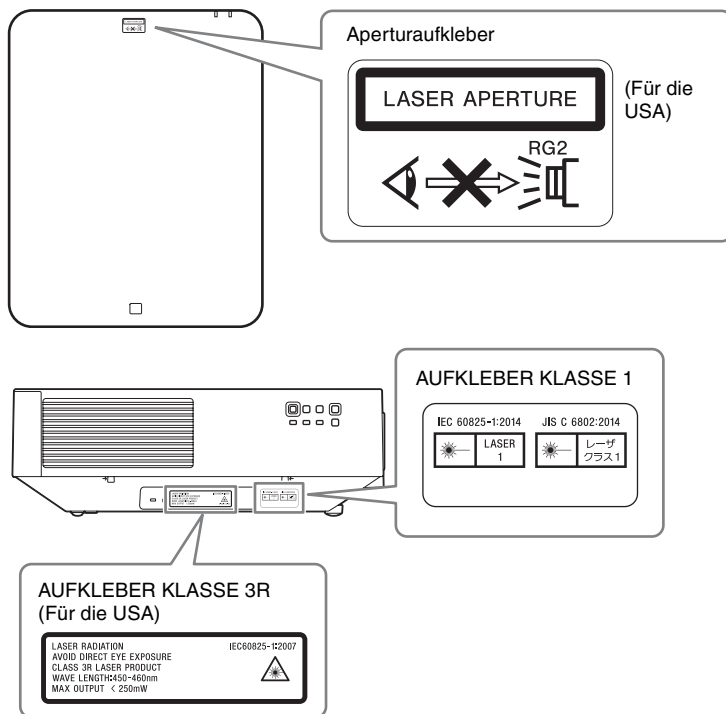
Vorsicht

Bei Betätigung von Bedien- und Einstellteilen oder Ausführung von Bedienvorgängen, die nicht ausdrücklich in dieser Bedienungsanleitung aufgeführt sind, droht u.U. die Einwirkung gefährlicher Laserstrahlung.

Vorsicht

Der Einsatz von optischen Hilfen bei Benutzung dieses Produktes verstärkt die Gefahr von Augenschäden.

Position der Aufkleber



Technische Daten der Lichtquelle

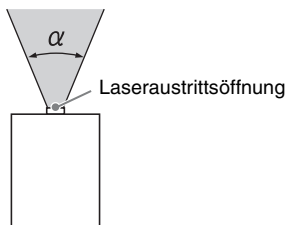
4,35-W-Laserdioden

× 32 (VPL-FHZ75)

× 28 (VPL-FHZ70)

Wellenlänge: 450 - 460 nm

Ablenkungswinkel des Strahls vom Objektiv dieses Geräts

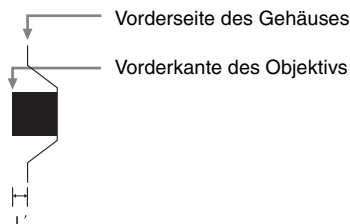


Objektiv	Maximaler Zoom: α	Minimaler Zoom: α
Standardobjektiv	45,3°	29,4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

Die Entfernung L' zwischen der Vorderkante des Objektivs (Mitte) und der Vorderseite des Gehäuses

Einheit: mm

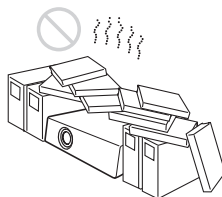
Objektiv	L'
Standardobjektiv	1,2
VPLL-3007	52,4
VPLL-Z3009	51,2
VPLL-Z3010	60
VPLL-Z3024	9,9
VPLL-Z3032	9,9
VPLL-2007	52,4
VPLL-Z2009	51,2
VPLL-Z1024	9,9
VPLL-Z1032	9,9
VPLL-3003	256



Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

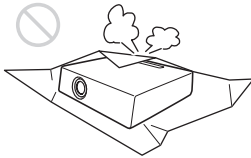
- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertes Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Schauen Sie nicht in das Objektiv, während es verwendet wird.
- Wenn Sie den Projektor einschalten, achten Sie darauf, dass niemand auf das Projektionsobjektiv blickt.
- Lassen Sie Kinder das Gerät nicht allein betätigen.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Geräts darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Füßen (einstellbar) einklemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem Einstellfuß.
- Achten Sie darauf, dass Sie das Gerät zu zweit tragen und dabei an beiden Seiten festhalten.
- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es einen Kurzschluss und Sachschäden verursachen kann.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.
- Achten Sie darauf, dass Ihre Finger nicht vom Lüfter erfasst werden.
- Tragen Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubbiederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Wenn ein Benutzer das Gerät auseinandernimmt, repariert oder verändert, kann dies schwerwiegende Probleme für die Sicherheit des Benutzers verursachen.
- Wenn der Projektor eine Fehlfunktion aufweist oder beschädigt ist, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.
- Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind, staut sich im Geräteinneren die Wärme und es kann zu einem Brand oder Schäden am Gerät kommen. Befolgen Sie die unten aufgeführten Punkte, um eine angemessene Luftzirkulation zu gewährleisten und einen Wärmestau im Geräteinneren zu vermeiden.
- Stellen Sie das Gerät in einem ausreichenden Abstand von Wänden oder Gegenständen auf (Seite 9).



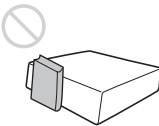
- Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) nicht durch irgendwelche Gegenstände.



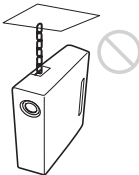
- Platzieren Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie dem Originalverpackungsmaterial, einem weichen Tuch, Papier, Teppichen oder Papierresten. Diese Materialien können durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.



- Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Mit der Funktionstaste der Bildabschaltung können Sie das Bild abschalten.



- Nutzen Sie den Sicherheitsriegel nicht, um den Diebstahl des Geräts beim Transport oder der Montage des Geräts zu vermeiden. Wenn Sie das Gerät am Sicherheitsriegel aufheben oder es an diesem Riegel aufhängen, kann es herunterfallen und beschädigt werden und es kann zu Personenschäden kommen.



- Nehmen Sie vor dem Projizieren unbedingt die Objektivschutzkappe ab. Wenn die Kappe während der Projektion angebracht ist, kann sie durch die Hitze schmelzen.

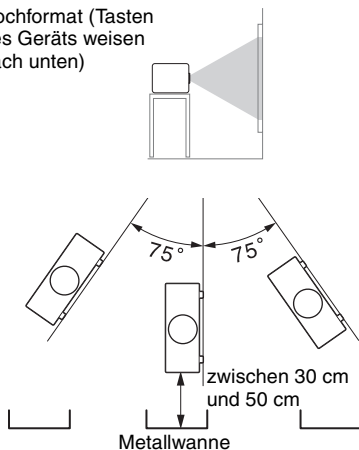
Für Händler

- Wenn der Projektor an der Decke montiert wird, muss zur Installation eine Sony-Halterung oder eine gleichwertige, empfohlene Vorrichtung verwendet werden.
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Vorsicht

Wenn das Gerät in dem in der Abbildung gezeigten Winkel installiert wird und die Lüftungsöffnungen nach unten weisen, müssen Sie direkt unter den Lüftungsöffnungen im unten angegebenen Abstand eine Metallwanne (mindestens 70 cm × 40 cm) anbringen. Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper oder Flüssigkeiten in die Lüftungsöffnungen gelangen.

Hochformat (Tasten des Geräts weisen nach unten)

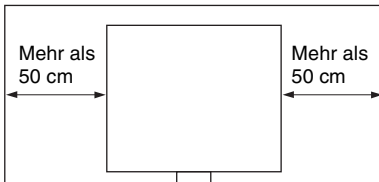


Sicherheitshinweise zur Montage des Geräts an der Decke

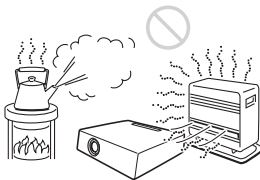
- Montieren Sie den Projektor auf keinen Fall selbst an der Decke und hängen Sie ihn nicht alleine um. Wenden Sie sich dazu unbedingt an das Geschäft, in dem Sie den Projektor gekauft haben, oder an einen Fachmonteur.
- Verwenden Sie bei der Montage des Geräts an der Decke unbedingt einen Sicherungsdraht o. Ä., damit das Gerät nicht herunterfallen kann. Wenden Sie sich für die Montage unbedingt an das Geschäft, in dem Sie den Projektor gekauft haben, oder an einen Fachmonteur.

Info zur Installation

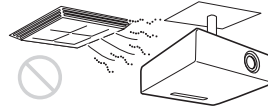
- Halten Sie bei der Installation die Abstände zwischen Wänden usw. und dem Gerät gemäß der Abbildung ein.



- Vermeiden Sie die Verwendung des Geräts an einem Ort, an dem die Temperatur oder Luftfeuchtigkeit sehr hoch sind oder die Temperatur sehr niedrig ist.



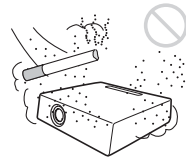
- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts an einem Ort, an dem es kühler oder warmer Luft von einer Klimaanlage ausgesetzt ist. Die Aufstellung an solch einem Ort kann aufgrund der Kondensation von Feuchtigkeit oder einem Temperaturanstieg zu Fehlfunktionen des Geräts führen.



- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts in der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors. Die Aufstellung an solch einem Ort kann zu Fehlfunktionen des Sensors führen.



- Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann.



- Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Installation auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.
- Stellen Sie „Montageposition“ im Menü „Installation“ zur Anpassung an den Montagewinkel korrekt ein. Wenn Sie längere Zeit die falsche Einstellung verwenden, wird möglicherweise die Zuverlässigkeit von Bauteilen beeinträchtigt.

Info zum Reinigen von Objektiv und Gehäuse

- Achten Sie darauf, das Netzkabel von der Netzsteckdose zu lösen, bevor Sie das Gerät reinigen.
- Wenn Sie das Gehäuse mit einem schmutzigen Tuch abwischen, kann das Gehäuse verkratzt werden.
- Wenn das Gerät flüchtigen Stoffen, wie z. B. Insektiziden, ausgesetzt ist, oder wenn das Gerät über längere Zeit in Kontakt mit einem Gummi- oder Vinylharzprodukt kommt, kann das Gerät beschädigt werden oder die Beschichtung kann sich lösen.
- Berühren Sie das Objektiv nicht mit bloßen Händen.
- Hinweise zur Reinigung der Objektivoberfläche:
Wischen Sie das Objektiv vorsichtig mit einem weichen Tuch ab, wie z. B. mit einem Glasreinigungstuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit Wasser befeuchtet wurde. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.
- Hinweise zur Reinigung des Gehäuses:
Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem weichen Tuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit einer milden Reinigungslösung befeuchtet und ausgewrungen wurde. Wischen Sie das Gehäuse danach mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemische Reinigungstücher.

Info zur Beleuchtung

Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.

Hinweis zur Wärmeabstrahlung

Die Temperatur des Projektorgehäuses kann während oder unmittelbar nach dem Gebrauch ansteigen. Dies ist allerdings keine Fehlfunktion.

Hinweise zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Hinweise zum Lüfter

Da der Projektor im Inneren mit einem Lüfter ausgestattet ist, der einen Anstieg der internen Temperatur verhindert, kann es zu einer gewissen Geräuscentwicklung kommen. Dies ist das normale Ergebnis des Herstellungsprozesses und stellt keine Fehlfunktion dar. Sie sollten sich aber an qualifiziertes Sony-Personal wenden, wenn es zu ungewöhnlichen Geräuschen kommt.

Austausch des Objektivs

Bringen Sie das Projektionsobjekt nicht an und entfernen Sie es nicht, wenn das Netzkabel angeschlossen ist.
Bringen Sie kein anderes Objektiv als das als Zubehör angegebene, gesondert erhältliche Objektiv an.

Hinweis zur Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen

Da das Gerät mit einem Laser arbeitet, sind bei der Wartung oder Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen besondere Vorsicht und eine sichere Umgebung erforderlich. Wenden Sie sich dazu unbedingt an qualifizierte Sony-Fachleute.

Hinweis zur Entsorgung gebrauchter Produkte

Entsorgen Sie die gebrauchten Produkte nicht über den allgemeinen Hausmüll. Entsorgen Sie gebrauchte Produkte korrekt, um Schäden für die Umwelt oder Gesundheit von Ihnen selbst oder anderen zu vermeiden. Befolgen Sie Ihre lokalen Entsorgungsrichtlinien.

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projektion auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweise zur Kondensation

Wenn sich die Temperatur in dem Raum, in dem der Projektor aufgestellt ist, schnell ändert oder wenn der Projektor plötzlich von einem kalten an einen warmen Ort gebracht wird, kann es im Inneren des Projektors zu einer Kondensation kommen. Da die Kondensation zu einer Fehlfunktion führen kann, sollten Sie bei den Temperatureinstellungen einer Klimaanlage vorsichtig sein.

Lassen Sie den Projektor vor der Verwendung ungefähr zwei Stunden eingeschaltet, wenn es zu einer Kondensation gekommen ist.

Hinweise zur Sicherheit

- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART DURCH UNTERLASSENE GEEIGNETE SICHERHEITSMASSNAHMEN AN ÜBERTRAGUNGSGERÄTEN, DURCH UNVERMEIDBARE DATENPREISGABE AUFGRUND DER ÜBERTRAGUNGSSPEZIFIKATIONEN ODER DURCH SICHERHEITSPROBLEME JEGLICHER ART ÜBERNEHMEN.
- Je nach Betriebsumgebung können unbefugte Dritte im Netzwerk unter Umständen auf dieses Gerät zugreifen. Achten Sie beim Verbinden des Geräts mit dem Netzwerk darauf, dass das Netzwerk gut abgesichert ist.
- Vom Sicherheitsstandpunkt sollten Sie unbedingt über einen Webbrowser auf das Steuerfenster zugreifen und die werkseitig eingestellten Werte für die Zugriffseinschränkung ändern, wenn das Gerät mit dem Netzwerk verbunden ist (siehe „Die Netzwerkfunktionen“ in der Bedienungsanleitung). Es wird auch empfohlen, das Passwort regelmäßig zu ändern.
- Rufen Sie keine andere Website im Webbrowser auf, während Sie Einstellungen vornehmen oder nachdem Sie Einstellungen vorgenommen haben. Da der Anmeldestatus beim Webbrowser gespeichert bleibt, schließen Sie den Webbrowser, wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, um zu verhindern, dass unautorisierte Dritte das Gerät nutzen oder schädliche Programme ausführen.

Hinweise

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet.
SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

RM-PJ30-Fernbedienung (1)
Batterien der Größe AA (R6) (2)
Netzkabel (1)
Steckerhalter (1)
Anschlussabdeckung (1)
Kurzreferenz (vorliegende Anleitung) (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)

Verwenden der Anleitungen auf der CD-ROM

Die Anleitung kann auf einem Computer, auf dem der Adobe Reader installiert ist, gelesen werden.
Sie können den Adobe Reader kostenlos von der Adobe-Website herunterladen.

- 1 Öffnen Sie die Datei index.htm auf der CD-ROM.
- 2 Wählen Sie die Anleitung aus, die Sie lesen möchten, und klicken Sie darauf.

Hinweis

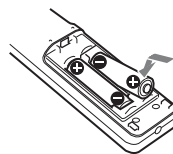
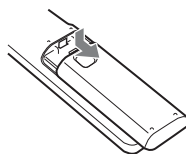
Wenn Sie die CD-ROM nicht mehr besitzen, oder wenn sie beschädigt ist, können Sie Ersatz bei Ihrem Sony-Händler oder der Sony-Servicevertretung bestellen.

Einlegen der Batterien

- 1 Entfernen Sie die Abdeckung, und legen Sie dann die beiden Batterien der Größe AA (R6) (mitgeliefert) mit der richtigen Polarität ein.

Den Deckel drücken und schieben.

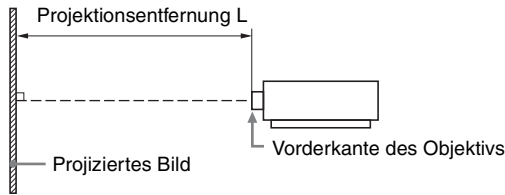
Die Batterien mit der Seite $\ominus$ zuerst einlegen.



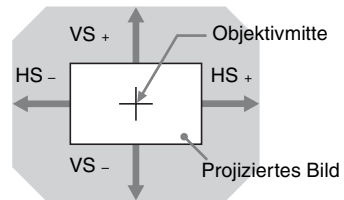
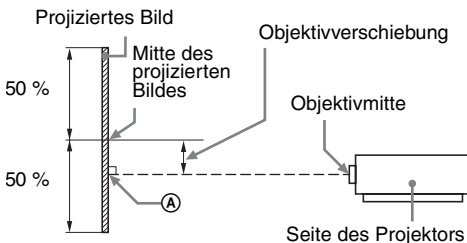
- 2 Bringen Sie den Deckel wieder an.

Projektionsentfernung und Objektivverschiebungsbereich

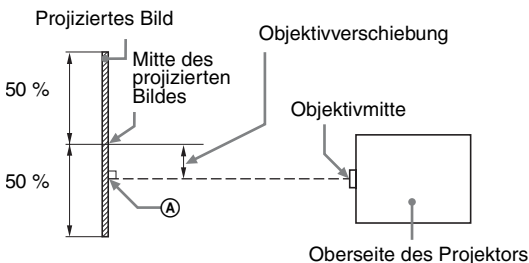
Die Projektionsentfernung bezieht sich auf den Abstand zwischen der Vorderkante des Objektivs und der projizierten Oberfläche.



Der Objektivverschiebungsbereich steht für die Entfernung in Prozent (%), um die das Objektiv von der Mitte des projizierten Bildes aus verschoben werden kann. Der Objektivverschiebungsbereich 0 % gilt, wenn sich Punkt (A) in der Abbildung (Punkt, an dem sich eine Linie von der Mitte des Objektivs und das projizierte Bild im rechten Winkel schneiden) in der Mitte des projizierten Bildes befindet. Befindet sich der Punkt in Breite oder Höhe ganz am Rand des projizierten Bildes gelten 100 %.



Schattierung:
Objektivverschiebungsbereich



- VS +: Vertikaler Objektivverschiebungsbereich (aufwärts) [%]
- VS -: Vertikaler Objektivverschiebungsbereich (abwärts) [%]
- HS +: Horizontaler Objektivverschiebungsbereich (rechts) [%]
- HS -: Horizontaler Objektivverschiebungsbereich (links) [%]

Projektionsentfernung

Einheit: m

Projektionsbildgröße		Projektionsentfernung L		
Diagonale	Breite × Höhe	Standardobjektiv	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80 Zoll (2,03 m)	1,72 × 1,08	2,36 – 3,86	1,09	1,44 – 1,69
100 Zoll (2,54 m)	2,15 × 1,35	2,96 – 4,84	1,38	1,82 – 2,13
120 Zoll (3,05 m)	2,58 × 1,62	3,57 – 5,82	1,67	2,20 – 2,57
150 Zoll (3,81 m)	3,23 × 2,02	4,47 – 7,29	2,11	2,76 – 3,23
200 Zoll (5,08 m)	4,31 × 2,69	5,97 – 9,73	2,83	3,70 – 4,34

Projektionsbildgröße	Projektionsentfernung L		
Diagonale	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80 Zoll (2,03 m)	1,69 – 2,37	4,00 – 5,48	5,45 – 8,32
100 Zoll (2,54 m)	2,13 – 2,98	5,03 – 6,87	6,84 – 10,43
120 Zoll (3,05 m)	2,56 – 3,59	6,05 – 8,27	8,24 – 12,55
150 Zoll (3,81 m)	3,22 – 4,50	7,59 – 10,36	10,33 – 15,72
200 Zoll (5,08 m)	4,31 – 6,03	10,15 – 13,85	13,82 – 21,00

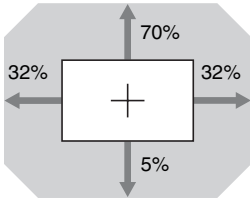
Formel zur Projektionsentfernung

D: Projektionsbildgröße (Zoll)
Beispiel) Geben Sie bei einer Projektionsbildgröße von 80 Zoll 80 für D ein. Einheit: m

Objektiv	Projektionsentfernung L (minimale Länge)	Projektionsentfernung L (maximale Länge)
Standard-objektiv	$L = 0,030040 \times D - 0,0443$	$L = 0,048910 \times D - 0,0442$
VPLL-3007	$L = 0,014518 \times D - 0,0700$	–
VPLL-Z3009	$L = 0,018832 \times D - 0,0678$	$L = 0,022017 \times D - 0,0635$
VPLL-Z3010	$L = 0,021850 \times D - 0,0631$	$L = 0,030491 \times D - 0,0640$
VPLL-Z3024	$L = 0,051187 \times D - 0,0973$	$L = 0,069717 \times D - 0,0930$
VPLL-Z3032	$L = 0,069792 \times D - 0,1414$	$L = 0,105707 \times D - 0,1323$

Objektivverschiebung

■ Standardobjektiv



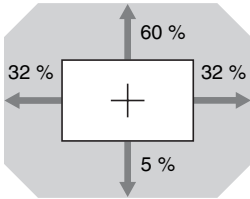
$$VS + = 70 - 2,187 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0,457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



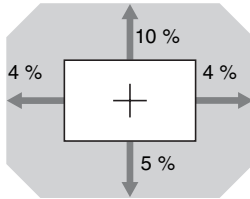
$$VS + = 60 - 1,875 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0,533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



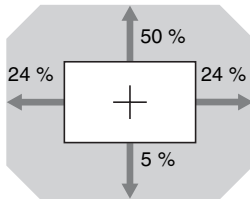
$$VS + = 10 - 2,500 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1,250 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



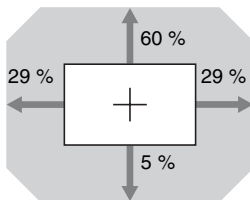
$$VS + = 50 - 2,083 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,208 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0,480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2,069 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,172 \times (HS + \text{oder } HS -) [\%]$$

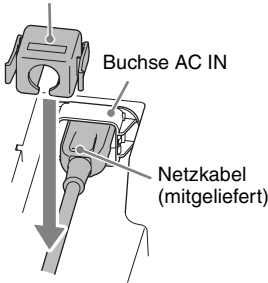
$$HS + = HS - = 29 - 0,483 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 5,800 \times VS - [\%]$$

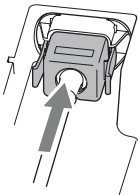
Anschließen des Netzkabels

- 1 Stecken Sie das Netzkabel in die Buchse AC IN und bringen Sie dann den Steckerhalter am Netzkabel an.

Steckerhalter (mitgeliefert)



- 2 Schieben Sie den Steckerhalter über das Netzkabel, um dieses am Gerät zu befestigen.



Wählen der Menüsprache

Die werkseitige Einstellung für die Sprache zur Anzeige der Menüs, Meldungen usw. ist Englisch.

Um die Sprache für die Bildschirmanzeige zu ändern, gehen Sie wie folgt vor:

- 1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.
- 2 Schalten Sie den Projektor ein. Drücken Sie die Taste **I/⏻** am Hauptgerät bzw. die Taste **I** auf der Fernbedienung.
- 3 Rufen Sie mit der Taste MENU das Menü auf.
Wenn die Anzeige nicht richtig zu sehen ist, passen Sie die Bildschärfe, die Größe und Position des projizierten Bildes an (Seite 21).
- 4 Wählen Sie die Menüsprache.
 - ① Drücken Sie die Taste **▲** oder **▼** zur Auswahl des Menüs Operation (**⚙️**), und drücken Sie dann die Taste ENTER.
 - ② Drücken Sie die Taste **▲** oder **▼** zur Auswahl von „Language (**A**)“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

Operation	
A Language	English
Menu Position	Bottom Left
Status	On
IR Receiver	Front & Rear
ID Mode	All
Security Lock	Off
Control Key Lock	Off
Lens Control	On

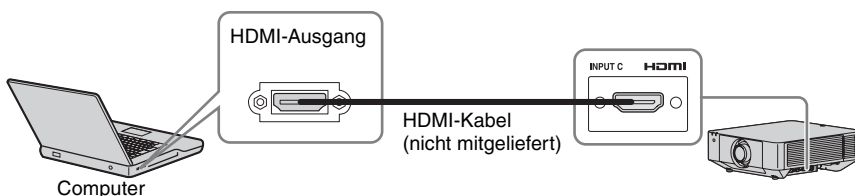
⏻ Set ENTER Set RETURN Back

- ③ Drücken Sie die Taste **▲/▼/◀/▶** zur Auswahl einer Sprache, und drücken Sie dann die Taste ENTER.
- 5 Drücken Sie die Taste MENU, um den Menübildschirm auszublenden.

Hinweise

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie für jede Verbindung die korrekten Kabel.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest hinein. Lose Verbindungen können die Bildqualität beeinträchtigen oder zu einer Fehlfunktion führen. Ziehen Sie beim Herausziehen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Weitere Informationen hierzu entnehmen Sie bitte auch den Bedienungsanleitungen der anzuschließenden Geräte.

Anschließen an einen Computer



Hinweise

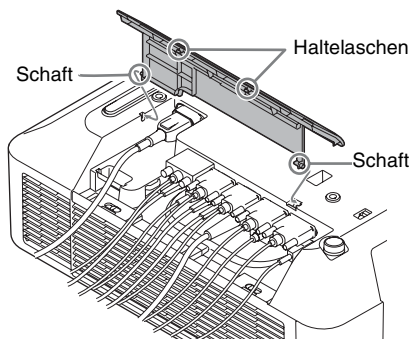
- Verwenden Sie HDMI-kompatible Geräte mit HDMI-Logo.
- Verwenden Sie HDMI-Hochgeschwindigkeitskabel, die das Logo des Kabeltyps aufweisen. (Sony-Produkte werden empfohlen.)
- Der HDMI-Anschluss dieses Projektors ist nicht mit dem DSD-Signal (Direct Stream Digital) oder CEC-Signal (Consumer Electronics Control) kompatibel.

Informationen zu anderen Anschlussmethoden finden Sie unter „Anschließen des Projektors“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

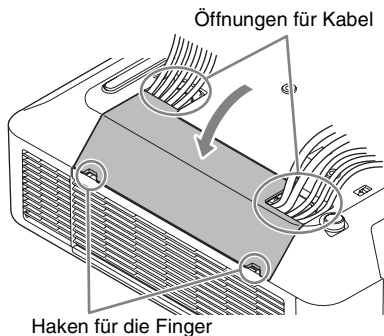
Anbringen der Anschlussabdeckung

Sie können die mitgelieferte Anschlussabdeckung anbringen, damit das Gerät sauber bleibt und kein Staub in die Anschlüsse gelangt.

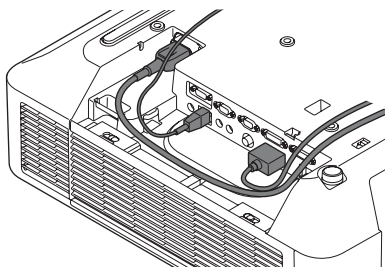
- 1 Setzen Sie den einen Schaft an der Seite der Anschlussabdeckung in die Aussparung an der Unterseite ein, biegen Sie dann die Abdeckung leicht und setzen Sie den anderen Schaft ein.



- 2 Schließen Sie die Anschlussabdeckung. Schließen Sie die Anschlussabdeckung, so dass die beiden Haltetaschen an der Anschlussabdeckung mit einem Klicken einrasten.



Beispiel für die Kabelanordnung an der Abdeckung



Hinweis

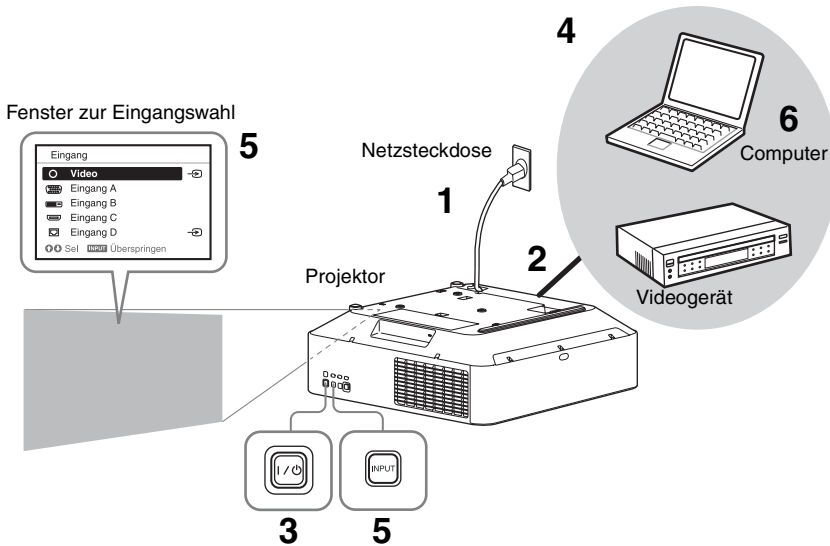
Je nach Installation, beispielsweise aufgrund des Zustands der Anschlusskabel oder bei Installation des Geräts auf dem Boden, lässt sich die Anschlussabdeckung möglicherweise nicht anbringen. Dies beeinträchtigt den normalen Betrieb jedoch nicht.

Öffnen der Anschlussabdeckung

Heben Sie die Abdeckung mit zwei Fingern an den Haken für die Finger an.

Projizieren von Bildern

Wie groß ein Bild projiziert wird, hängt vom Abstand zwischen Projektor und Leinwand ab. Stellen Sie den Projektor so auf, dass das projizierte Bild auf die Leinwand passt.



1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

2 Schließen Sie alle Geräte an den Projektor an (Seite 18).

3 Schalten Sie den Projektor ein. Drücken Sie die Taste I/O am Hauptgerät bzw. die Taste I auf der Fernbedienung.

4 Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein.

5 Wählen Sie das Eingangssignal aus. Rufen Sie mit der Taste INPUT am Projektor das Fenster zur Eingangswahl auf. Drücken Sie mehrmals die Taste INPUT oder die Taste ↕, um das zu projizierende Bild auszuwählen.

Beim Eingang eines Signals erscheint das Signalsymbol  rechts im Fenster zur Eingangswahl.

Sie können die Eingangsquelle mit den Direkteingangswahltasten auf der Fernbedienung auswählen.

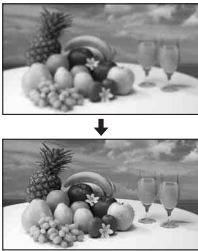
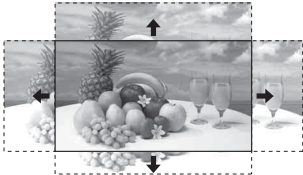
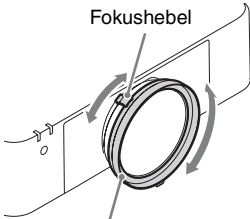
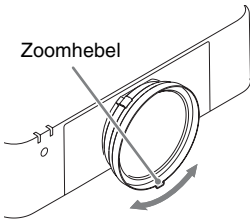
6 Ändern Sie die Einstellungen am Computer so, dass die Signalausgabe auf externe Anzeige geschaltet wird. Wie Sie den Computer auf Signalausgabe an den Projektor schalten, hängt vom jeweiligen Computertyp ab.

(Beispiel)



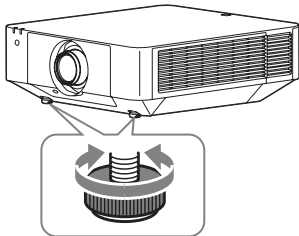
7 Stellen Sie Fokus, Größe und Position des projizierten Bildes ein.

Einstellen von Fokus, Größe und Position des projizierten Bildes

Fokus	Größe (Zoom)	Position (Objektivverschiebung)
		
Wenn das Objektiv mit elektronischem Fokus angebracht ist Drücken Sie die Taste FOCUS am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$, um den Fokus anzupassen. Wenn das Objektiv mit manuellem Fokus angebracht ist Drehen Sie den Fokushebel und den Randfokussiererring, um den Fokus anzupassen. Sie können den Fokus des peripheren Bereichs anpassen, indem Sie den Randfokussiererring drehen. 	Wenn das Objektiv mit elektronischem Zoom angebracht ist Drücken Sie die Taste ZOOM am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$, um die Größe anzupassen. Wenn das Objektiv mit manuellem Zoom angebracht ist Passen Sie die Größe durch Drehen des Zoomhebels an. 	Drücken Sie die Taste LENS SHIFT/SHIFT am Projektor oder auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$, um die Position anzupassen. So stellen Sie das Objektiv wieder so ein, dass der mittlere Bildbereich projiziert wird Drücken Sie während der Anpassung die Taste RESET auf der Fernbedienung.

Einstellen der Neigung des Projektors mit den vorderen Füßen (einstellbar)

Wenn der Projektor auf einer unebenen Fläche aufgestellt ist, können Sie mithilfe der vorderen Füße (einstellbar) eine Einstellung vornehmen.



Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie sich beim Absenken des Projektors nicht die Finger einklemmen.
- Üben Sie keinen Druck auf die Oberseite des Projektors aus, solange die vorderen Füße (einstellbar) ausgefahren sind. Andernfalls kann es zu einer Fehlfunktion kommen.

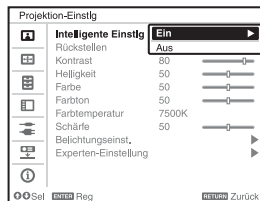
Anzeigen eines Testmusters zum Einstellen des Bildes

Sie können mit der Taste PATTERN auf der Fernbedienung ein Muster zum Einstellen des projizierten Bildes anzeigen lassen. Mit $\blacktriangle/\blacktriangledown$ können Sie das Muster und mit $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ die Farbe ändern. Drücken Sie erneut die Taste PATTERN, um wieder das vorherige Bild anzuzeigen.

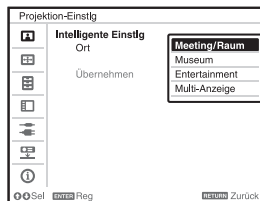
Automatische Optimierung der Projektoreinstellungen

Wenn Sie „Intelligente Einstlg“ im Menü Projektion-Einstlg auf „Ein“ setzen, können Sie die Bild- und Lichteinstellungen sowie die Kühlleistung des Systems (Drehgeschwindigkeit des Lüfters) optimieren. Wählen Sie dazu den Installationsort unter „Ort“ je nach der Umgebung aus, in der der Projektor verwendet wird. „Intelligente Einstlg“ sorgt für einen stabilen Betrieb und eine lange Lebensdauer des Projektors.

- 1 Rufen Sie mit der Taste MENU das Menü auf.
- 2 Setzen Sie „Intelligent Einstlg“ im Menü Projektion-Einstlg auf „Ein“ und drücken Sie dann die Taste ENTER.



- 3 Wählen Sie als Verwendungsort des Projektors eine der folgenden Optionen aus.



Meeting/Raum: Text und Grafiken werden scharf projiziert. Diese Option eignet sich für Meetingräume oder Klassenzimmer.

Museum: Farben werden präzise reproduziert. Diese Option eignet sich für ruhige Orte wie Galerien oder Museen.

Entertainment: Bilder werden mit starkem Kontrast projiziert. Eignet sich zum Einsatz in Vergnügungsparks, öffentlichen

Veranstaltungseinrichtungen, Konferenzräumen in einer Ausstellungshalle usw.

Multi-Anzeige: Diese Option eignet sich für die gleichzeitige Nutzung mehrerer Projektoren, z. B. zum Überlappen von projizierten Bildern auf der Projektionsfläche oder für Projektionen von mehreren nebeneinander aufgestellten Projektoren.

- 4** Wählen Sie „Übernehmen“ und drücken Sie dann die Taste ENTER.

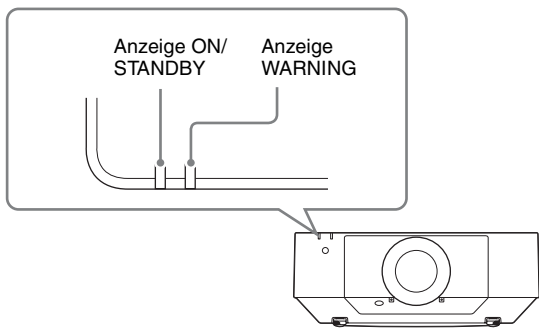
Ausschalten des Projektors

- 1** Drücken Sie die Taste I/⏻ am Hauptgerät bzw. die Taste ⏻ auf der Fernbedienung.
Der Projektor fährt herunter und schaltet sich aus.
Für eine lange Lebensdauer schalten Sie den Projektor aus, wenn er nicht in Gebrauch ist.
- 2** Ziehen Sie den Stecker des Netzkabels aus der Netzsteckdose.

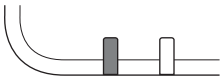
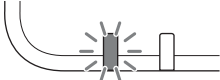
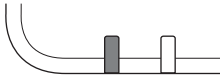
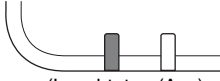
Wenn Sie weitere Einstellungen an projizierten Bildern vornehmen müssen, finden Sie Informationen unter „Projizieren/Einstellen von Bildern“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Anzeigen

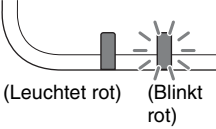
Die Anzeige ON/STANDBY und die Anzeige WARNING an der Vorderseite geben durch Leuchten bzw. Blinken Aufschluss über den Status des Projektors und weisen auf Funktionsstörungen hin. Wenn die Anzeigen rot blinken, beheben Sie das Problem wie in “Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen” (Seite 25) beschrieben.

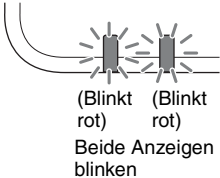


Betriebsstatusanzeige

Verhalten der Anzeige	Betriebsstatus	Bedeutung
 (Leuchtet rot) (Aus)	Bereitschaft	Der Projektor wird mit Strom versorgt und befindet sich im eingestellten Bereitschaftsmodus.
 (Blinkt grün) (Aus)	Aufwärmen	Der Projektor befindet sich nach dem Einschalten in der Aufwärmphase.
 (Leuchtet grün) (Aus)	Eingeschaltet	Der Projektor kann zur Bildprojektion verwendet werden.
 (Leuchtet orange) (Aus)	Anderer Bereitschaftsmodus	Der Projektor befindet sich im Modus Keine Eingabe (Licht aus) oder im Bereitschaftsmodus Schneller Neustart.

Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen

Verhalten der Anzeige	Häufigkeit des Blinkens	Bedeutung	Abhilfemaßnahmen
 (Leuchtet rot) (Blinkt rot)	Zweimal	Die seitliche Abdeckung oder der Luftfilter ist nicht sicher angebracht.	Überprüfen Sie, wie die seitliche Abdeckung und der Luftfilter angebracht sind, und bringen Sie die Teile gegebenenfalls sicher an.
	Dreimal	Die Lichtquelle leuchtet nicht richtig.	Lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.
	Sechsmal	Der Projektor wurde einem heftigen Stoß ausgesetzt.	Wenn keine Schäden zu sehen sind, lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.
	Achtmal	Das Objektiv ist nicht sicher angebracht.	Überprüfen Sie, wie das Objektiv angebracht ist, und bringen Sie es gegebenenfalls sicher an.

Verhalten der Anzeige	Häufigkeit des Blinkens	Bedeutung	Abhilfemaßnahmen
 (Blinkt rot) (Blinkt rot) Beide Anzeigen blinken	Zweimal	Die Temperatur im Projektor liegt außerhalb des zulässigen Bereichs.	• Überprüfen Sie, ob der Luftfilter verschmutzt ist, reinigen Sie ihn bei Bedarf oder tauschen Sie ihn aus (Seite 27). • Überprüfen Sie, ob die Lüftungsöffnungen (Einlass/Auslass) durch eine Wand oder einen Gegenstand blockiert sind, und sorgen Sie gegebenenfalls für einen ausreichenden Abstand. • Prüfen Sie die Umgebungstemperatur und verwenden Sie den Projektor innerhalb des zulässigen Betriebs-temperaturbereichs.

Wenn die Anzeigen anders blinken als oben beschrieben, lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.

Wenn das Problem weiterhin besteht, wenden Sie sich an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.

Falls ein Problem auftritt oder eine Fehlermeldung auf dem Bildschirm erscheint, finden Sie Informationen unter „Liste der Meldungen“ oder „Fehlerbehebung“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Reinigen des Luftfilters

Wenn Sie in einer Meldung dazu aufgefordert werden, müssen Sie den Luftfilter reinigen.

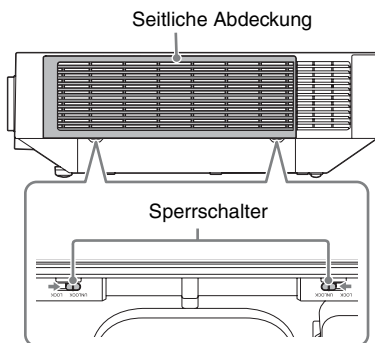
Falls der Luftfilter auch nach dem Reinigen nicht frei von Staub ist, tauschen Sie den Luftfilter gegen einen neuen aus.

Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, konsultieren Sie bitte qualifiziertes Sony-Personal.

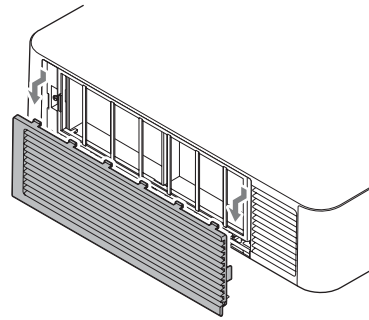
Vorsicht

Wenn Sie den Projektor auch nach der angezeigten Meldung weiter verwenden, kann sich Staub ansammeln und den Filter verstopfen. Als Folge davon erhöht sich möglicherweise die Temperatur im Inneren des Geräts und es besteht die Gefahr einer Fehlfunktion oder Feuergefahr.

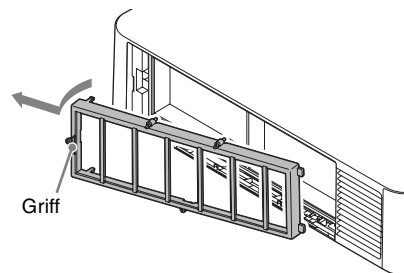
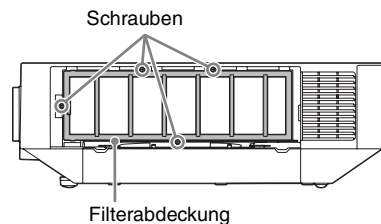
- 1** Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.
- 2** Schieben Sie den Sperrschalter an der seitlichen Abdeckung auf UNLOCK, um die Abdeckung zu entriegeln.



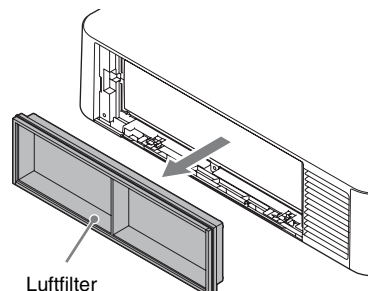
- 3** Verschieben Sie die oberen Ecken auf beiden Seiten und schieben Sie die seitliche Abdeckung zum Abnehmen nach unten.



- 4** Lösen Sie die Schrauben (vier) und ziehen Sie die Filterabdeckung am Griff an der linken Seite heraus.



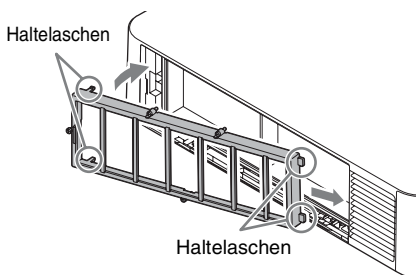
- 5** Ziehen Sie den Luftfilter aus dem Hauptgerät.



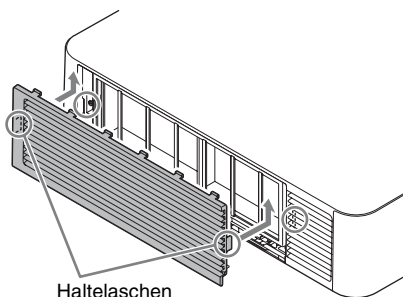
6 Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.

7 Setzen Sie den Luftfilter wieder ein und bringen Sie die Filterabdeckung an.

Setzen Sie beim Anbringen der Filterabdeckung die beiden Haltetaschen an der rechten Seite in das Gehäuse ein, schwenken Sie die Filterabdeckung um die rechte Seite nach innen und setzen Sie die beiden Haltetaschen an der linken Seite in das Gehäuse ein. Ziehen Sie dann die vier Schrauben an.



8 Setzen Sie die beiden Haltetaschen an der seitlichen Abdeckung in das Gehäuse ein und schieben Sie die seitliche Abdeckung nach oben.



9 Verriegeln Sie die seitliche Abdeckung.

Hinweis

Bringen Sie den Luftfilter fest an. Andernfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

Auswechseln des Projektionsobjektivs

Hinweise

- Nehmen Sie das Objektiv möglichst nicht heraus bzw. setzen Sie es nicht ein, solange der Projektor an der Decke montiert ist.
- Die geeigneten Projektionsobjektive sind unter „Sonderzubehör“ in der Bedienungsanleitung aufgeführt.
- Verwenden Sie ausschließlich die angegebenen, gesondert erhältlichen Zubehörobjective.
- Achten Sie darauf, das Projektionsobjektiv nicht fallen zu lassen.
- Berühren Sie die Objektivoberfläche möglichst nicht.

Herausnehmen

- 1 Bringen Sie das Projektionsobjektiv in die mittlere Position.
Drücken Sie bei eingeschaltetem Gerät die Taste LENS SHIFT auf der Fernbedienung und drücken Sie dann die Taste RESET auf der Fernbedienung. Das Projektionsobjektiv kehrt in die mittlere Position zurück.

Hinweis

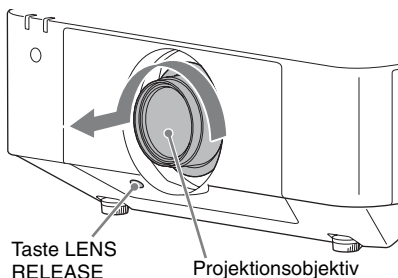
Das Projektionsobjektiv lässt sich nur abnehmen, nachdem es wieder zurück in die mittlere Position gebracht wurde.

- 2 Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

Vorsicht

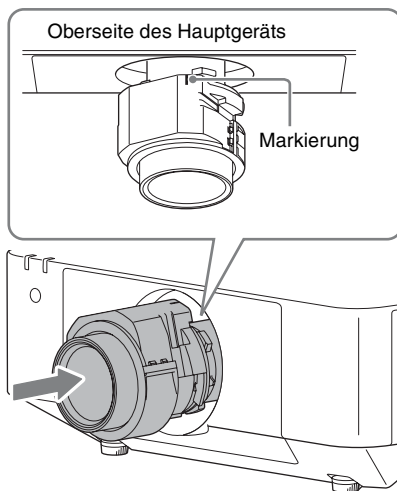
Wenn beim Auswechseln des Objektivs versehentlich sehr helles Licht in Ihre Augen fällt, kann dies zu Augenschäden führen. Schalten Sie vor dem Auswechseln des Objektivs den Projektor aus und lösen Sie das Netzkabel.

- 3 Halten Sie die Taste LENS RELEASE gedrückt, drehen Sie das Projektionsobjektiv gegen den Uhrzeigersinn und ziehen Sie es gerade heraus.

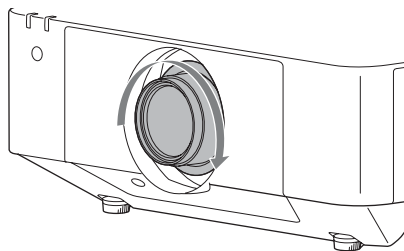


Anbringen

- 1 Setzen Sie das Projektionsobjektiv ganz ein, wobei die Markierung auf dem Objektiv auf die Oberseite des Hauptgeräts weisen muss.



- 2** Drehen Sie das Objektiv im Uhrzeigersinn, bis es mit einem Klicken einrastet.



Hinweis

Drücken Sie beim Anbringen des Projektionsobjektivs nicht die Taste LENS RELEASE.

Informazioni sulla Guida rapida all'uso

Questa Guida rapida all'uso spiega le operazioni di base per la proiezione di immagini. Inoltre, sono descritte note e precauzioni importanti a cui prestare attenzione durante l'uso di questa unità.

Consultare “Spie”, “Pulizia del filtro dell'aria” e “Sostituzione dell'obiettivo di proiezione”, secondo le necessità.

Per i dettagli sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.

Punto 1

PreparazionePagina 12

Punto 2

Collegamento.....Pagina 17

Punto 3

Proiezione.....Pagina 19

SpiePagina 23

Pulizia del filtro dell'ariaPagina 25

Sostituzione dell'obiettivo di proiezionePagina 26

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

Questo apparato deve essere collegato a terra.

ATTENZIONE

- Pericolo di esplosione in caso di sostituzione incorretta della batteria. Sostituire la batteria con una uguale o equivalente seguendo le raccomandazioni del produttore.
- Smaltire la batteria o il prodotto in conformità con le normative vigenti nella regione o paese di utilizzo. Non smaltire la batteria o il prodotto in forni ad alta temperatura o nel fuoco. Non tagliare né frantumare meccanicamente la batteria. Questo potrebbe causarne l'esplosione o dar luogo a incendi. Non esporre la batteria a pressioni atmosferiche estremamente basse. Questo potrebbe causare esplosioni o perdite di gas o liquidi infiammabili.
- Non esporre la batteria ad elevate temperature, come ad esempio sotto luce solare diretta o in prossimità di fiamme per evitare che possa prendere fuoco, esplodere o causare incendi. Non immergere né bagnare la batteria in acqua. Questo potrebbe causare scariche elettriche.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE

Per ragioni di sicurezza, non collegare alla porta indicata di seguito un connettore di cablaggio di dispositivi periferici su cui potrebbe essere presente una tensione eccessiva:

- LAN

AVVERTENZA

1. Utilizzare il cavo di alimentazione (a 3 conduttori) / connettore per l'apparecchio / spina con contatti di messa a terra approvato e conforme alle normative sulla sicurezza in vigore nel paese o nella regione geografica di utilizzo.
2. Utilizzare il cavo di alimentazione (a 3 conduttori) / connettore per l'apparecchio / spina adatto alle caratteristiche di tensione e corrente della rete elettrica.

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione / connettore per l'apparecchio / spina di cui sopra, rivolgersi a personale qualificato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione dell'apparecchio è situata nella posizione indicata di seguito:

- Parte inferiore

ATTENZIONE

Il telecomando richiede il seguente tipo e il seguente numero di batterie:

- Formato: AA (R6)
- Numero di batterie: due

Per evitare il rischio di esplosioni, utilizzare unicamente batterie di tipo:

- Manganese/alcalina

Per i clienti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

AVVERTENZA

Questo apparecchio è conforme alla Classe A delle norme CISPR 32. In un ambiente residenziale, questo apparecchio potrebbe causare interferenze radio.

AVVERTENZA

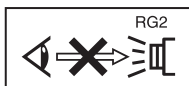
L'utilizzo di questo apparecchio in un ambiente residenziale potrebbe causare interferenze radio.

Per i clienti in Europa

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.



IEC 60825-1:2014 PRODUCTO LÁSER DE CLASE 1



Come per qualsiasi sorgente luminosa intensa, non fissare direttamente il fascio di luce, RG2 IEC 62471-5:2015.

AVVERTENZA: Non guardare nella lente durante l'uso.

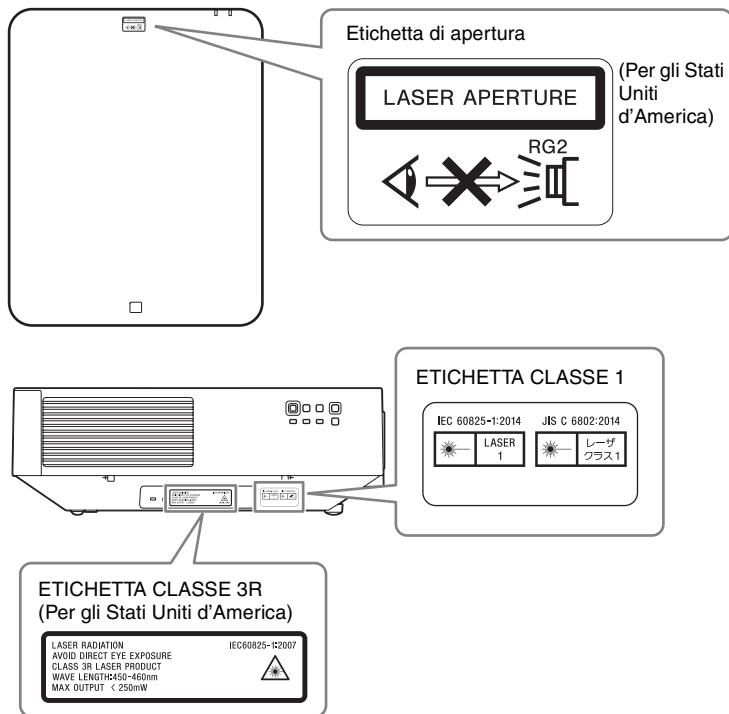
Attenzione

L'uso di comandi o regolazioni o l'esecuzione di procedimenti diversi da quelli specificati in questo manuale possono causare esposizione a radiazioni pericolose.

Attenzione

L'uso di strumenti ottici con questo prodotto aumenta il rischio di danni alla vista.

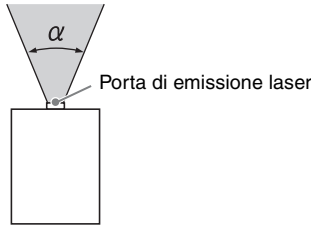
Informazioni sulla posizione delle etichette



Specifiche sorgente luminosa

Diodi laser da 4,35 W
× 32 (VPL-FHZ75)
× 28 (VPL-FHZ70)
Lunghezza d'onda: 450 - 460 nm

Angolo di divergenza del raggio dall'obiettivo dell'unità

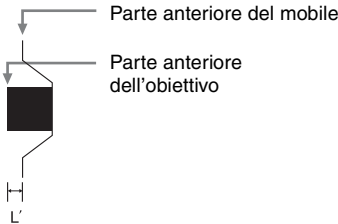


Obiettivo	Zoom massimo: α	Zoom minimo: α
Obiettivo standard	45,3°	29,4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

Distanza L' tra la parte anteriore dell'obiettivo (centro) e la parte anteriore del mobile

Unità: mm

Obiettivo	L'
Obiettivo standard	1,2
VPLL-3007	52,4
VPLL-Z3009	51,2
VPLL-Z3010	60
VPLL-Z3024	9,9
VPLL-Z3032	9,9
VPLL-2007	52,4
VPLL-Z2009	51,2
VPLL-Z1024	9,9
VPLL-Z1032	9,9
VPLL-3003	256

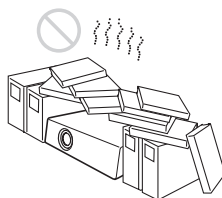


Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare nella lente durante l'uso.
- Quando si accende il proiettore, accertarsi che nessuno stia sbirciando nell'obiettivo di proiezione.
- Non lasciare che i bambini utilizzino l'unità senza controllo da parte di un adulto.
- Non avvicinare mani o oggetti alle prese di ventilazione: l'aria che ne fuoriesce è molto calda.
- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel supporto (regolabile). Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il dispositivo di regolazione è allungato.
- Per trasportare l'unità sono necessarie due persone per poter afferrare entrambi i lati.
- Non usare un cavo di prolunga di tensione nominale inferiore che potrebbe causare corti circuiti e infortuni.
- Nello spostare il proiettore installato sul pavimento, non pizzicare le dita fra l'unità e la superficie del pavimento.
- Prestare attenzione a non incastrare le dita nella ventola di raffreddamento.

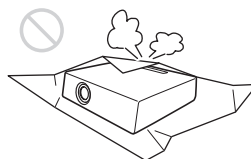
- Non trasportare il proiettore con il mobile e il coperchio aperto.
- Non installare l'unità in una posizione prossima a sorgenti di calore quali radiatori o condotti di aria, oppure in un luogo esposto alla luce solare diretta, a polvere o umidità eccessiva, vibrazione meccanica o urti.
- Se un utente smonta, ripara o altera in altro modo l'unità, potrebbe provocare un problema grave alla propria sicurezza.
- Se il proiettore non funziona correttamente o è danneggiato, rivolgersi al personale Sony qualificato.
- Se i fori di aerazione sono ostruiti, il calore potrebbe accumularsi all'interno e causare incendi o danni all'unità. Per consentire un'adeguata circolazione dell'aria e impedire l'accumulo di calore all'interno, attenersi alle indicazioni riportate di seguito:
- Posizionare l'unità lasciando spazio sufficiente dai muri o altri oggetti (pagina 9).



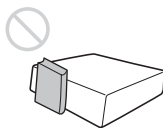
- Evitare di coprire i fori di aerazione (scarico/aspirazione).



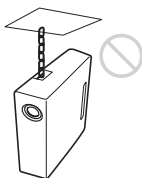
- Non collocare l'unità sull'imballaggio originale, su tessuti morbidi, carta, tappeti o frammenti di carta. I fori di aerazione potrebbero aspirare tali materiali.



- Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Utilizzare il tasto della funzione di disattivazione dell'immagine per escludere l'immagine.



- Non utilizzare la barra di sicurezza, pensata per impedire il furto, al fine di trasportare o installare l'unità. Se l'unità viene sollevata o viene appesa per mezzo della barra di sicurezza, l'unità potrebbe cadere e danneggiarsi, provocando eventualmente infortuni.



- Accertarsi di rimuovere il coperchio dell'obiettivo della confezione protettiva prima della proiezione. Il coperchio attaccato potrebbe fondere con il calore durante la proiezione.

Per rivenditori

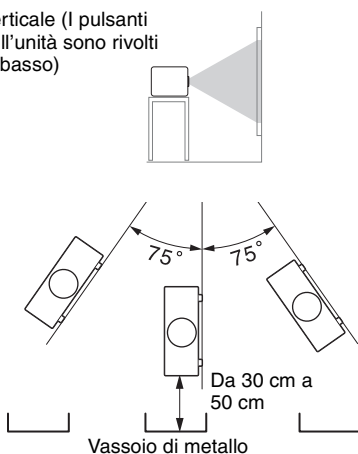
- Se si installa il proiettore sul soffitto, utilizzare per l'installazione una staffa Sony o equivalente consigliata.
- Fissare saldamente il coperchio dell'unità per una installazione sul soffitto sicura.

Attenzione

Se i fori di ventilazione fossero rivolti verso il basso quando si installa l'unità con l'angolo illustrato, installare un vassoio di metallo (min. 70 cm × 40 cm) alla distanza indicata di seguito, immediatamente sotto i fori di ventilazione.

Assicurarsi che eventuali materiali estranei o liquidi non cadano nei fori di ventilazione.

Verticale (I pulsanti dell'unità sono rivolti in basso)

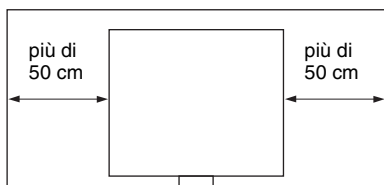


Precauzioni di sicurezza per l'installazione dell'unità sul soffitto

- Non montare mai il proiettore sul soffitto né spostarlo da soli. Rivolgersi al negozio in cui è stato acquistato il proiettore o a un installatore specializzato.
- Se si installa l'unità sul soffitto, accertarsi di utilizzare un cavetto di sicurezza, ecc., per impedire la caduta dell'unità. Per l'installazione, rivolgersi al negozio in cui è stato acquistato il proiettore o a un installatore specializzato.

Informazioni sull'installazione

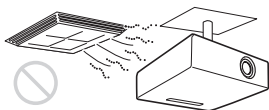
- Durante l'installazione dell'unità, lasciare uno spazio tra qualsiasi parete, ecc. e l'unità come illustrato.



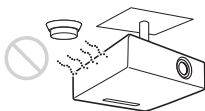
- Evitare di utilizzare l'unità in un ambiente in cui la temperatura o l'umidità è molto elevata o in cui la temperatura è molto bassa.



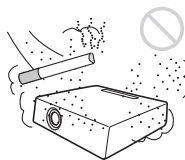
- Evitare di installare l'unità in un luogo su cui è diretta l'aria fredda o calda di un climatizzatore. L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare problemi di funzionamento dell'unità, dovuti alla condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.



- Evitare di installare l'unità in prossimità di un sensore di calore o di fumo. L'installazione in tali posizioni può causare problemi di funzionamento del sensore.



- Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità.



- Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu Installazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.
- Impostare "Modo installazione" sul menu Installazione in modo corretto in base all'angolo di installazione. Un uso continuo dell'impostazione errata può influire negativamente sull'affidabilità del componente.

Pulizia della lente e del telaio

- Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA prima della pulizia.
- Non sfregare l'unità con un panno non pulito, onde evitare di graffiarla.
- Se l'unità è esposta a materiali volatili, come gli insetticidi, o se rimane in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, l'unità potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.
- Non toccare la lente a mani nude.
- Pulizia della superficie della lente: Pulire delicatamente la lente con un panno morbido, ad esempio un panno per la pulizia degli occhiali. Rimuovere le macchie persistenti con un panno morbido leggermente inumidito con acqua. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

- **Pulizia del telaio:**

Pulire delicatamente il telaio con un panno morbido. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno morbido leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata e strizzato, quindi asciugare con un panno morbido asciutto. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

Illuminazione

Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.

Informazioni sulla dissipazione di calore

La temperatura dell'involucro del proiettore può aumentare durante o immediatamente dopo l'utilizzo. Tuttavia non si tratta di un malfunzionamento.

Schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Ventola

Il proiettore è munito di una ventola interna per impedire l'innalzamento della temperatura interna, pertanto potrebbe produrre qualche rumore. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento. Tuttavia, in caso di rumori anomali è consigliabile rivolgersi a personale Sony qualificato.

Informazioni sulla sostituzione dell'obiettivo

Quando è collegata l'alimentazione, non fissare o rimuovere l'obiettivo di proiezione. Non inserire obiettivi diversi da quello accessorio specificato venduto a parte.

Per il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa

Poiché l'unità utilizza un laser, quando si esegue la manutenzione o il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa, è necessario prestare particolare attenzione e operare in un ambiente sicuro. Per l'installazione rivolgersi a personale Sony qualificato.

Smaltimento dei prodotti usati

Non smaltire insieme i prodotti usati e i rifiuti generici. Smaltire correttamente i prodotti usati per evitare di danneggiare l'ambiente o la salute propria e degli altri. Seguire le norme di smaltimento della propria zona.

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Informazioni sulla condensa

Se la temperatura dell'ambiente dove il proiettore installato cambia rapidamente, o se il proiettore viene improvvisamente spostato da una stanza fredda a una calda, è possibile che sul proiettore si formi condensa. Dato che la condensa può provocare malfunzionamenti, prestare attenzione alle regolazioni delle impostazioni di temperatura del condizionatore d'aria. Se si forma condensa, lasciare il proiettore acceso per circa due ore prima dell'uso.

Note sulla sicurezza

- SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO RISULTANTI DALLA MANCATA IMPLEMENTAZIONE DI MISURE DI PROTEZIONE ADEGUATE SUI DISPOSITIVI DI TRASMISSIONE, DA INEVITABILI DIFFUSIONI DI DATI RISULTANTI DALLE SPECIFICHE TECNICHE DELLA TRASMISSIONE O DA PROBLEMATICHE RELATIVE ALLA SICUREZZA DI QUALSIASI TIPO.
- In base all'ambiente operativo, terze parti non autorizzate alla rete potrebbero essere in grado di accedere all'unità. Quando si collega l'unità alla rete, accertarsi di confermare che la rete è efficacemente protetta.
- Per garantire la protezione, quando si utilizza l'unità collegata alla rete, si consiglia di accedere alla finestra di controllo tramite un browser Web e di modificare le impostazioni della limitazione di accesso rispetto ai valori predefiniti (consultare "Utilizzo delle funzioni di rete" nelle Istruzioni d'uso). Si consiglia anche di modificare la password regolarmente.

- Non accedere ad altri siti con il browser Web durante o dopo la determinazione delle impostazioni. Poiché lo stato di accesso rimane nel browser Web, chiudere il browser una volta completate le impostazioni per impedire che terze parti non autorizzate possano utilizzare l'unità o eseguire programmi pericolosi.

Note

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Verifica degli accessori in dotazione

Telecomando RM-PJ30 (1)
Pile AA (R6) (2)
Cavo di alimentazione CA (1)
Supporto della spina (1)
Coperchio dei terminali (1)
Guida rapida all'uso (questo manuale) (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)

Uso del manuale su CD-ROM

Il manuale può essere letto esclusivamente su un computer su cui è installato Adobe Reader.

È possibile scaricare gratuitamente Adobe Reader dal sito web di Adobe.

- 1** Aprire il file `index.html` nel CD-ROM.
- 2** Selezionare e fare clic sul manuale che si desidera leggere.

Nota

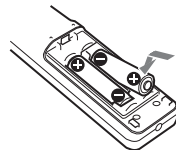
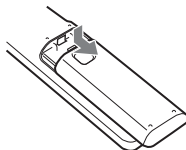
In caso di perdita o di danneggiamento del CD-ROM, è possibile acquistarne uno nuovo da un rivenditore Sony o rivolgendosi all'assistenza Sony.

Inserimento delle pile

- 1** Rimuovere il coperchio e inserire le due pile AA (R6) (in dotazione) rispettando la polarità corretta.

Premere e fare scorrere il coperchio.

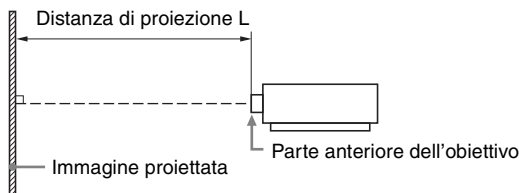
Accertarsi di inserire le pile dal lato $\ominus$.



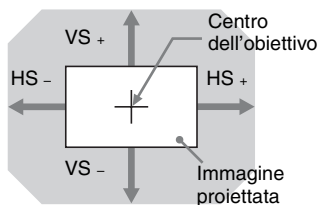
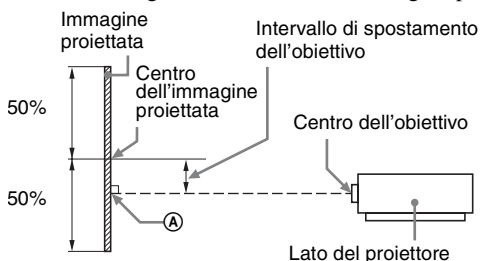
- 2** Rimontare il coperchio.

Distanza di proiezione e campo di spostamento dell'obiettivo

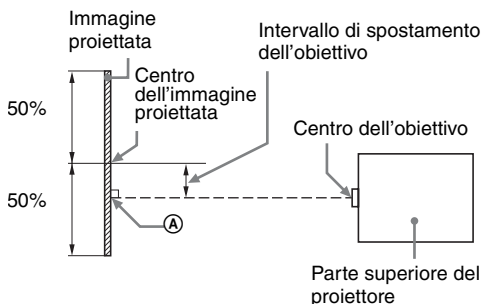
La distanza di proiezione si riferisce alla distanza tra la parte anteriore dell'obiettivo e la superficie di proiezione.



Il campo di spostamento dell'obiettivo rappresenta la distanza, in percentuale (%), di cui può essere spostato l'obiettivo rispetto al centro dell'immagine proiettata. L'intervallo di spostamento dell'obiettivo è considerato come pari a 0% quando il punto (A) nella figura (punto in cui una linea disegnata dal centro dell'obiettivo e l'immagine proiettata si incrociano ad angolo retto) è allineato al centro dell'immagine proiettata, mentre si considera come 100% la massima larghezza o altezza dell'immagine proiettata.



Area ombreggiata: intervallo di spostamento dell'obiettivo



VS +: Campo di spostamento verticale dell'obiettivo (alto) [%]

VS -: Campo di spostamento verticale dell'obiettivo (basso) [%]

HS +: Campo di spostamento orizzontale dell'obiettivo (destra) [%]

HS -: Campo di spostamento orizzontale dell'obiettivo (sinistra) [%]

Distanza di proiezione

Unità: m

Dimensione dell'immagine di proiezione		Distanza di proiezione L		
Diagonale	Larghezza × Altezza	Obiettivo standard	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80 pollici (2,03 m)	1,72 × 1,08	2,36 – 3,86	1,09	1,44 – 1,69
100 pollici (2,54 m)	2,15 × 1,35	2,96 – 4,84	1,38	1,82 – 2,13
120 pollici (3,05 m)	2,58 × 1,62	3,57 – 5,82	1,67	2,20 – 2,57
150 pollici (3,81 m)	3,23 × 2,02	4,47 – 7,29	2,11	2,76 – 3,23
200 pollici (5,08 m)	4,31 × 2,69	5,97 – 9,73	2,83	3,70 – 4,34

Dimensione dell'immagine di proiezione	Distanza di proiezione L		
	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80 pollici (2,03 m)	1,69 – 2,37	4,00 – 5,48	5,45 – 8,32
100 pollici (2,54 m)	2,13 – 2,98	5,03 – 6,87	6,84 – 10,43
120 pollici (3,05 m)	2,56 – 3,59	6,05 – 8,27	8,24 – 12,55
150 pollici (3,81 m)	3,22 – 4,50	7,59 – 10,36	10,33 – 15,72
200 pollici (5,08 m)	4,31 – 6,03	10,15 – 13,85	13,82 – 21,00

Formula per la distanza di proiezione

D: Dimensione immagine di proiezione (pollici)

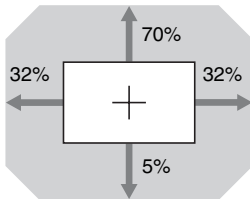
Esempio) Immettere 80 in D per la dimensione dell'immagine di proiezione 80".

Unità: m

Obiettivo	Distanza di proiezione L (lunghezza minima)	Distanza di proiezione L (lunghezza massima)
Obiettivo standard	$L = 0,030040 \times D - 0,0443$	$L = 0,048910 \times D - 0,0442$
VPLL-3007	$L = 0,014518 \times D - 0,0700$	–
VPLL-Z3009	$L = 0,018832 \times D - 0,0678$	$L = 0,022017 \times D - 0,0635$
VPLL-Z3010	$L = 0,021850 \times D - 0,0631$	$L = 0,030491 \times D - 0,0640$
VPLL-Z3024	$L = 0,051187 \times D - 0,0973$	$L = 0,069717 \times D - 0,0930$
VPLL-Z3032	$L = 0,069792 \times D - 0,1414$	$L = 0,105707 \times D - 0,1323$

Campo di spostamento dell'obiettivo

■ Obiettivo standard



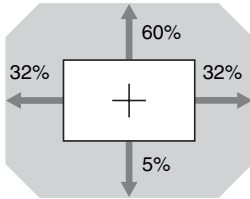
$$VS + = 70 - 2,187 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0,457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



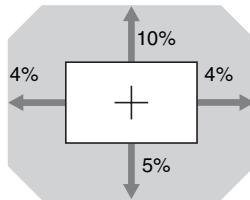
$$VS + = 60 - 1,875 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0,533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



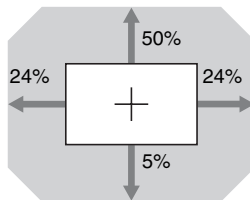
$$VS + = 10 - 2,500 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1,250 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



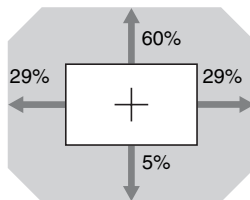
$$VS + = 50 - 2,083 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,208 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0,480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2,069 \times (HS + o HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,172 \times (HS + o HS -) [\%]$$

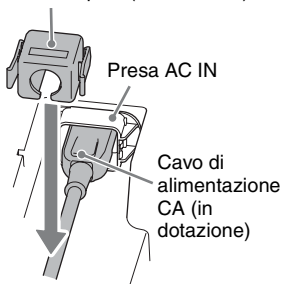
$$HS + = HS - = 29 - 0,483 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 5,800 \times VS - [\%]$$

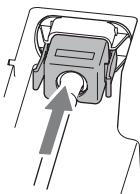
Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Collegare il cavo di alimentazione CA alla presa AC IN, quindi inserire il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA.

Supporto della spina (in dotazione)



- 2 Fare scorrere il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA per assicurarlo all'unità.



Selezione della lingua del menu

L'impostazione di fabbrica relativa alla lingua di visualizzazione di menu, messaggi e simili è l'inglese.

Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo, procedere come indicato di seguito:

- 1 Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro.
- 2 Accendere il proiettore.
Premere il tasto **I**/**U** sull'unità principale oppure il tasto **I** sul telecomando.
- 3 Premere il tasto **MENU** per visualizzare il menu.
Se non è possibile visualizzare correttamente le indicazioni, regolare la messa a fuoco, la dimensione e la posizione dell'immagine proiettata (pagina 20).
- 4 Selezionare la lingua per i menu.
 - ① Premere il tasto **▲** o **▼** per selezionare il menu **Operation** (**☐**), quindi premere il tasto **ENTER**.
 - ② Premere il tasto **▲** o **▼** per selezionare "Language (**A**)", quindi premere il tasto **ENTER**.

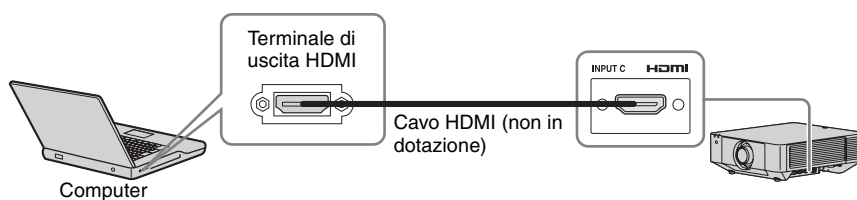
Operation	
A Language	English
Menu Position	Bottom Left
Status	On
IR Receiver	Front & Rear
ID Mode	All
Security Lock	Off
Control Key Lock	Off
Lens Control	On
Sel ENTER Set RETURN Back	

- ③ Premere il tasto **▲/▼/◀/▶** per selezionare una lingua, quindi premere il tasto **ENTER**.
- 5 Premere il tasto **MENU** per chiudere la schermata di menu.

Note

- Spegnerne tutti le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi; eventuali collegamenti instabili potrebbero ridurre le prestazioni dei segnali di immagine o causare malfunzionamenti. Per scollegare un cavo, tirare la spina, non il cavo stesso.
- Per maggiori informazioni, fare riferimento anche ai manuali d'uso delle apparecchiature collegate.

Collegamento di un computer



Note

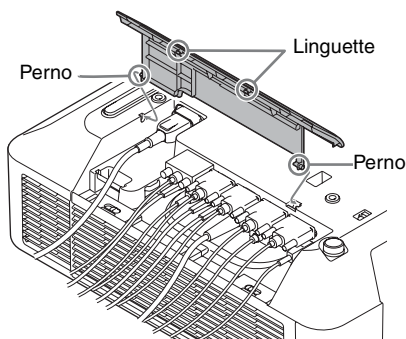
- Utilizzare apparecchiature compatibili HDMI con il logo HDMI.
- Utilizzare cavi HDMI ad alta velocità sui quali sia specificato il logo relativo al tipo di cavo (sono consigliati prodotti Sony).
- Il terminale HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).

Per informazioni su altri metodi di collegamento, consultare "Collegamento del proiettore" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

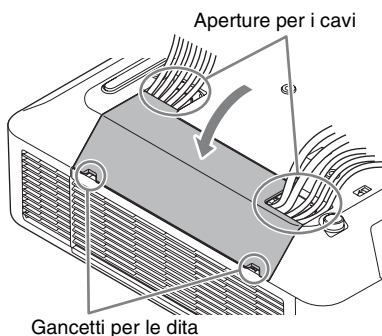
Fissaggio del coperchio dei terminali

È possibile fissare il coperchio i terminali in dotazione per evitare infiltrazioni di polvere nei terminali e mantenere un aspetto ordinato.

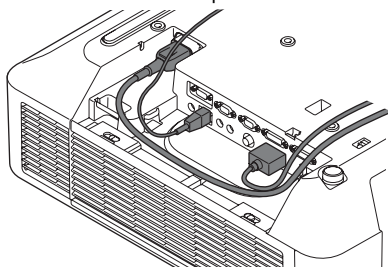
- 1 Inserire uno dei perni sul lato del coperchio dei terminali nel foro sul fondo, quindi inserire l'altro perno flettendo leggermente il coperchio.



- 2 Chiudere il coperchio dei terminali. Spingere il coperchio dei terminali finché le due linguette del coperchio non scattano in posizione.



Esempio del posizionamento dei cavi nel coperchio



Nota

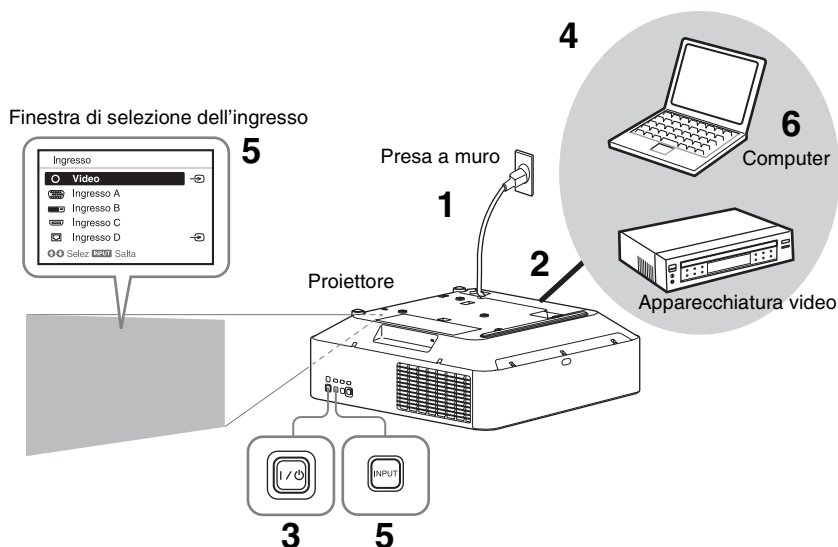
Il coperchio dei terminali potrebbe non essere presente in funzione del metodo di installazione, ad esempio a causa della condizione dei cavi connessi o se si installa l'unità sul pavimento. Tuttavia, ciò non ha alcun impatto sul normale utilizzo.

Apertura del coperchio dei terminali

Sollevare il coperchio inserendo le dita nei gancetti predisposti.

Proiezione dell'immagine

Le dimensioni dell'immagine proiettata dipendono dalla distanza tra il proiettore e lo schermo. Installare il proiettore in modo che l'immagine proiettata rientri nelle dimensioni dello schermo.



- 1** Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro.
- 2** Collegare tutte le apparecchiature al proiettore (pagina 17).
- 3** Accendere il proiettore.
Premere il tasto I/O sull'unità principale oppure il tasto I sul telecomando.
- 4** Accendere l'apparecchiatura collegata.
- 5** Selezionare la sorgente d'ingresso.
Premere il tasto INPUT sul proiettore per visualizzare la finestra di selezione dell'ingresso. Premere più volte il tasto INPUT o il tasto ▲/▼ per selezionare un'immagine da proiettare.
L'icona di segnale ➡ compare sul lato destro nella finestra di selezione

dell'ingresso quando viene immesso un segnale.

È possibile selezionare la sorgente di ingresso utilizzando i tasti di selezione diretta dell'ingresso sul telecomando.

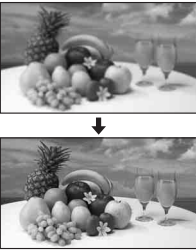
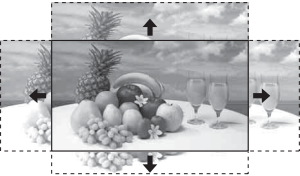
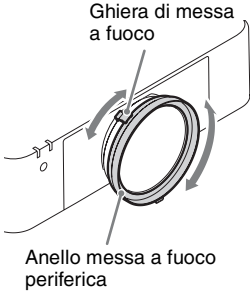
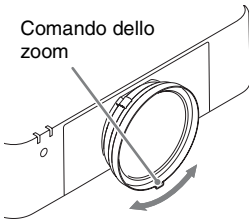
- 6** Commutare l'uscita del computer sul monitor esterno modificando le impostazioni del computer.
Il metodo per commutare la visualizzazione del computer sul proiettore varia in funzione del tipo di computer.

(Esempio)



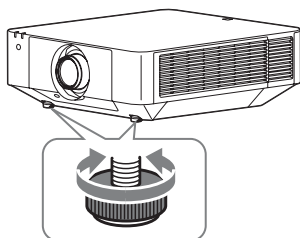
- 7** Regolare la messa a fuoco, le dimensioni e la posizione dell'immagine proiettata.

Regolazione della messa a fuoco, delle dimensioni e della posizione dell'immagine proiettata

Messa a fuoco	Dimensioni (zoom)	Posizione (spostamento dell'obiettivo)
		
Con obiettivo con messa a fuoco asservita Premere il tasto FOCUS sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ per regolare la messa a fuoco. Con obiettivo con messa a fuoco manuale Ruotare la ghiera di messa a fuoco e l'anello messa a fuoco periferica per regolare la messa a fuoco. È possibile regolare la messa a fuoco dell'area periferica ruotando l'anello messa a fuoco periferica. 	Con obiettivo con zoom asservito Premere il tasto ZOOM sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ per regolare la dimensione. Con obiettivo con zoom manuale Ruotare il comando dello zoom per regolare le dimensioni. 	Premere il tasto LENS SHIFT/SHIFT sul proiettore o sul telecomando, quindi premere il tasto $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ per regolare la posizione. Per riportare l'obiettivo nella posizione centrale dell'immagine proiettata Premere il tasto RESET sul telecomando durante la regolazione.

Regolazione dell'inclinazione del proiettore con i supporti anteriori (regolabili)

Se il proiettore è installato su una superficie non uniforme, è possibile regolare tramite i supporti anteriori (regolabili).



Note

- Prestare attenzione a non pizzicare le dita sotto il proiettore.
- Non spingere con forza sulla parte superiore del proiettore quando i supporti anteriori (regolabili) sono estesi. Potrebbe verificarsi un malfunzionamento.

Visualizzazione di un modello per la regolazione di un'immagine

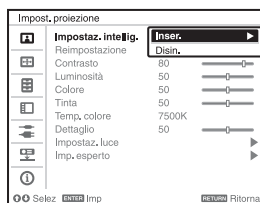
È possibile visualizzare un modello per la regolazione dell'immagine proiettata utilizzando il tasto PATTERN sul telecomando. Utilizzare $\uparrow/\downarrow$ per cambiare il modello e $\leftarrow/\rightarrow$ per cambiare il colore. Premere nuovamente il tasto PATTERN per ripristinare l'immagine precedente.

Ottimizzazione automatica delle impostazioni del proiettore

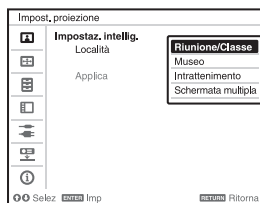
Quando si imposta "Impostaz. intellig." su "Inser." nel menu Impost. proiezione, è possibile ottimizzare le impostazioni dell'immagine, della luce e delle prestazioni di raffreddamento del sistema (velocità di rotazione della ventola) selezionando la posizione di installazione in "Località" in funzione dell'ambiente di utilizzo del proiettore. "Impostaz. intellig." consente un utilizzo stabile e prolungato del proiettore.

- 1 Premere il tasto MENU per visualizzare il menu.

- 2 Impostare "Impostaz. intellig." su "Inser." nel menu Impost. proiezione, quindi premere il tasto ENTER.



- 3 Selezionare la posizione di utilizzo del proiettore dalle opzioni seguenti.



Riunione/Classe: proietta nitidamente testo e grafica. Adatta per l'utilizzo in riunioni o aule.

Museo: riproduce i colori con precisione. Adatta per l'uso in luoghi silenziosi, quali gallerie o musei.

Intrattenimento: offre immagini con contrasto elevato. Adatta per l'utilizzo in parchi e tema, strutture pubbliche di intrattenimento, sale conferenze in spazi espositivi e così via.

Schermata multipla: adatta quando si utilizzano simultaneamente più proiettori, ad esempio per proiezioni con dissolvenze o proiezioni da più proiettori affiancati.

- 4 Selezionare "Applica", quindi premere il tasto ENTER.

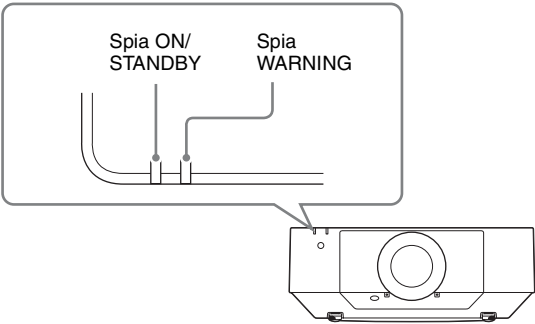
Spegnimento dell'alimentazione

- 1** Premere il tasto I/⏻ sull'unità principale oppure il tasto ⏻ sul telecomando.
Il proiettore avvia l'arresto e si spegne.
Per un uso a lungo termine, spegnere il proiettore quando non viene utilizzato.
- 2** Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

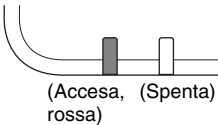
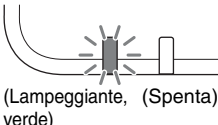
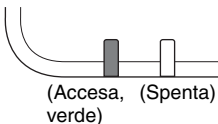
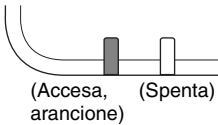
Se fosse necessario regolare ulteriormente le immagini proiettate, consultare "Proiezione/regolazione dell'immagine" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

Spie

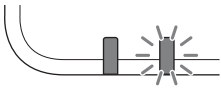
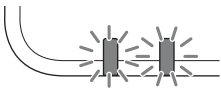
È possibile verificare lo stato o anomalie del proiettore controllando lo stato di illuminazione/lampeggiamento della spia ON/STANDBY e della spia WARNING sulla parte anteriore. Se le spie lampeggiano in rosso, risolvere il problema come indicato in “Spie di avvertimento e soluzioni” (pagina 24).



Indicazione dello stato di funzionamento

Stato spia	Stato di funzionamento	Significato
 (Accesa, (Spenta) rossa)	Attesa	Viene fornita alimentazione al proiettore e il proiettore è in modo di attesa secondo le impostazioni.
 (Lampeggiante, (Spenta) verde)	Riscaldamento	Il proiettore si sta riscaldando dopo l'accensione.
 (Accesa, (Spenta) verde)	Accensione	Il proiettore è pronto per la proiezione.
 (Accesa, (Spenta) arancione)	Altro stato di attesa	Il proiettore è in modo di attesa No s. ingr. (Speg. luce) o Riavvio rapido.

Spie di avvertimento e soluzioni

Stato spia	Numero di lampeggiamenti	Significato	Soluzioni
 (Accesa, rossa) (Lampeggiante, rossa)	Due	Il coperchio laterale o il filtro dell'aria non è installato saldamente.	Verificare il fissaggio del coperchio laterale o del filtro dell'aria e fissare saldamente.
	Tre	La sorgente luminosa non si accende correttamente.	Scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.
	Sei	È stato rilevato un forte urto al proiettore.	Se non vi sono anomalie visibili, scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.
	Otto	L'obiettivo non è inserito saldamente.	Verificare il fissaggio dell'obiettivo e installarlo saldamente.
 (Lampeggiante, rossa) (Lampeggiante, rossa) Entrambe le spie lampeggiano	Due	La temperatura del proiettore è anomala.	• Verificare se il filtro dell'aria è intasato, quindi pulirlo o sostituirlo (pagina 25). • Verificare che le prese di ventilazione (aspirazione/scarico) non siano ostruite da un muro o da un oggetto e assicurare uno spazio sufficiente. • Verificare la temperatura ambiente e utilizzare il proiettore entro la gamma di temperatura di funzionamento.

Se le spie lampeggiano in modi differenti da quelli descritti, scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore.
Se il problema persiste, rivolgersi a personale Sony qualificato.

Se si verificano problemi o viene visualizzato un messaggio di errore sullo schermo, consultare "Elenco dei messaggi" o "Risoluzione dei problemi" nelle Istruzioni d'uso fornite nel CD-ROM in dotazione.

Pulizia del filtro dell'aria

Quando viene visualizzato il messaggio che richiede di pulire il filtro dell'aria, pulire il filtro dell'aria.

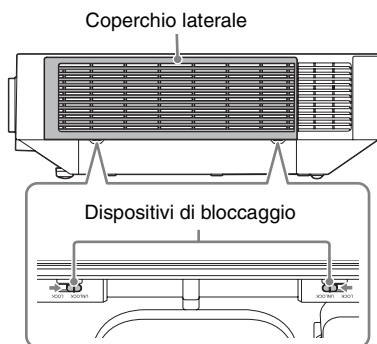
Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria anche dopo la pulizia, sostituirlo con un filtro nuovo.

Per i dettagli sul nuovo filtro dell'aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.

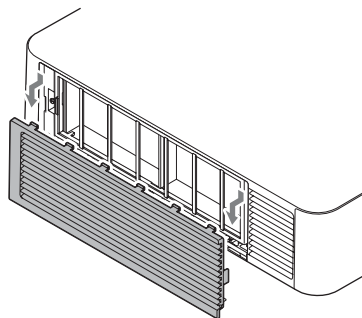
Attenzione

Se si continua ad utilizzare il proiettore anche dopo la visualizzazione del messaggio, la polvere può accumularsi e provocare ostruzioni. Di conseguenza, la temperatura interna dell'unità potrebbe aumentare, comportando problemi di funzionamento e incendi.

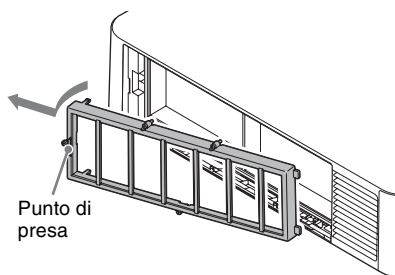
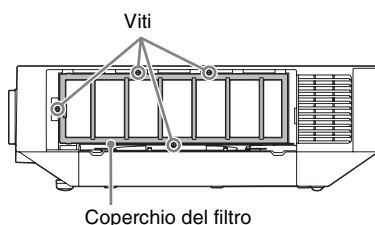
- 1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.
- 2 Fare scorrere il dispositivo di bloccaggio sul coperchio laterale verso UNLOCK per sbloccare il coperchio.



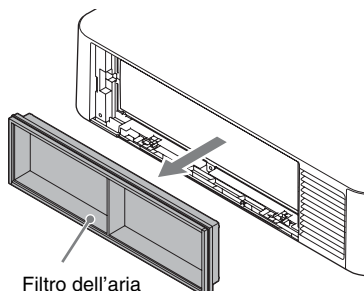
- 3 Fare scorrere verso il basso il coperchio laterale spingendo gli angoli superiori sui due lati per rimuovere il coperchio laterale.



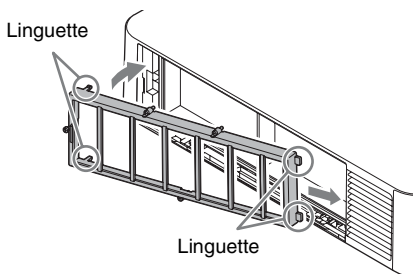
- 4 Allentare le viti (quattro) ed estrarre il coperchio del filtro pizzicando i punti di presa sul lato sinistro.



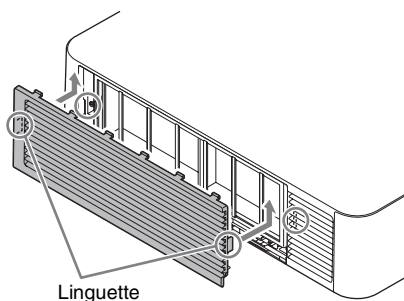
- 5 Estrarre il filtro dell'aria dall'unità principale.



- 6** Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.
- 7** Ripristinare il filtro dell'aria e fissare il coperchio del filtro.
- Quando si fissa il coperchio del filtro, inserire in posizione le due linguette sulla destra, ruotare il coperchio del filtro utilizzando il lato destro come asse e inserire in posizione le due linguette a sinistra. Quindi, serrare le quattro viti.



- 8** Inserire in posizione le due linguette del coperchio laterale e fare scorrere verso l'alto il coperchio laterale.



- 9** Fissare il coperchio laterale.

Nota

Verificare di fissare saldamente il filtro dell'aria: nel caso questo non sia fissato saldamente, l'alimentazione non potrà essere attivata.

Sostituzione dell'obiettivo di proiezione

Note

- Evitare di rimuovere/inserire l'obiettivo quando il proiettore è sospeso ad un soffitto.
- Per gli obiettivi di proiezione utilizzabili, vedere "Accessori opzionali" nelle Istruzioni d'uso.
- Non utilizzare alcun obiettivo differente dagli obiettivi accessori specificati e venduti separatamente.
- Prestare attenzione a non far cadere l'obiettivo di proiezione.
- Evitare di toccare la superficie dell'obiettivo.

Rimozione

- 1** Riportare l'obiettivo di proiezione alla posizione centrale.
- Con l'unità accesa, premere il pulsante LENS SHIFT sul telecomando, quindi premere il pulsante RESET su di esso. L'obiettivo di proiezione ritorna alla posizione centrale.

Nota

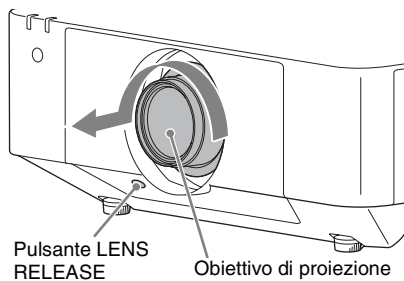
L'obiettivo di proiezione non può essere rimosso se non è tornato nella posizione centrale.

- 2** Spegner il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

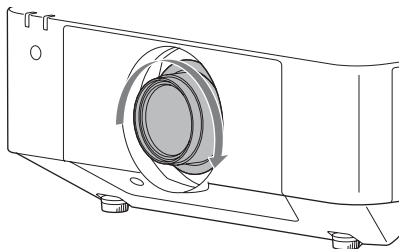
Attenzione

Quando si sostituisce l'obiettivo, se una luce intensa raggiunge accidentalmente gli occhi, questi potrebbero venire danneggiati. Prima di sostituire l'obiettivo, spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA.

- 3** Mentre si tiene premuto il pulsante LENS RELEASE, ruotare l'obiettivo di proiezione in senso antiorario per estrarlo orizzontalmente.



- 2** Ruotare l'obiettivo in senso antiorario, finché non scatta in posizione.

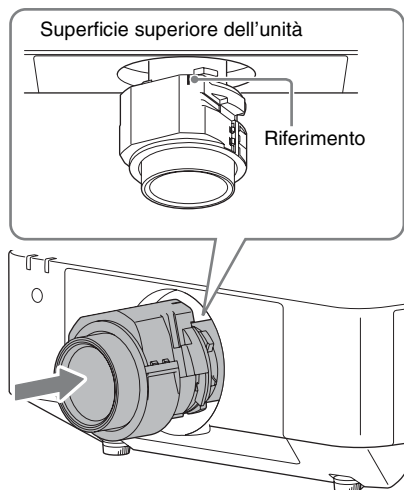


Nota

Quando si fissa l'obiettivo di proiezione, non premere il pulsante LENS RELEASE.

Inserimento

- 1** Inserire completamente l'obiettivo di proiezione con il riferimento su di esso rivolto verso la superficie superiore dell'unità principale.



О документе **Краткое справочное руководство**

В данном документе “Краткое справочное руководство” описаны основные операции для проецирования изображений. В этом руководстве также содержатся важные примечания и предупреждения, которым следует уделять особое внимание при обращении с аппаратом и его эксплуатации.

При необходимости см. разделы “Индикаторы”, “Очистка воздушного фильтра” и “Замена объектива проектора”.

Для получения дополнительной информации об операциях см. документ Инструкция по эксплуатации, содержащийся на прилагаемом компакт-диске.

Шаг 1.

Подготовка.....Стр. 14

Шаг 2.

ПодключениеСтр. 19

Шаг 3.

ПроецированиеСтр. 21

Индикаторы.....Стр. 26

Очистка воздушного фильтра.....Стр. 29

Замена объектива проектораСтр. 31

Перед использованием устройства внимательно прочитайте настоящее руководство и сохраните его для получения необходимой информации в будущем.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Для снижения риска возгорания и поражения электрическим током не допускайте воздействия на аппарат влаги и сырости. Чтобы исключить риск поражения электрическим током, не вскрывайте корпус. Обслуживание аппарата должны выполнять только квалифицированные специалисты.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Данное устройство должно быть заземлено.

ВНИМАНИЕ

- При неправильной замене элементов питания возникает опасность взрыва. Используйте для замены только идентичные или эквивалентные элементы питания, рекомендуемые изготовителем.
- При утилизации аккумулятора или изделия следует соблюдать законы соответствующей страны или соответствующего региона. Не утилизируйте аккумулятор или изделие в огне или в горячей печи, не уничтожайте их механическим путем и не разрезайте аккумулятор. Он может взорваться или привести к пожару. Не подвергайте аккумулятор воздействию чрезвычайно низкого атмосферного давления, которое может привести к взрыву или утечке воспламеняющейся жидкости или воспламеняющегося газа.
- Не размещайте аккумулятор в местах с высокой температурой, например под воздействием прямых солнечных лучей или возле огня. Он может загореться, взорваться или привести к пожару. Не подвергайте аккумулятор воздействию воды. Это может привести к поражению электрическим током.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

При установке устройства используйте легкодоступный прерыватель питания с фиксированной проводкой или подключите провод питания к легкодоступной настенной розетке, расположенной рядом с устройством. Если в процессе эксплуатации блока возникнет неисправность, с помощью прерывателя отключите питание, или отсоедините провод питания.

ВНИМАНИЕ

В целях безопасности не подключайте разъем проводки периферийных устройств, который может подать чрезмерное напряжение на следующий порт:
- LAN

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

1. Используйте разрешенные к применению шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку с заземляющими контактами, соответствующие действующим нормам техники безопасности каждой отдельной страны/каждого отдельного региона.
2. Используйте шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку, соответствующие допустимым номинальным характеристикам (напряжение, сила тока).

В случае вопросов относительно использования упомянутых выше шнура питания / разъема для подключения бытовых приборов / штепсельной вилки, пожалуйста, обращайтесь к квалифицированным специалистам по сервисному обслуживанию.

ВАЖНО

Информационная табличка расположена в следующем месте устройства.

- Внизу

ВНИМАНИЕ

Для пульта дистанционного управления требуется следующее число аккумуляторов следующего размера.

- Размер: AA (R6)
- Число аккумуляторов: два

Чтобы избежать опасности взрыва, используйте только аккумуляторы следующего типа.

- Марганцевый/щелочной

Проектор данных

Сони Корпорейшн

1-7-1 Конан Минато-ку Токио, 108-0075 Япония

Импортер на территории стран Таможенного союза

АО «Сони Электроникс», Россия, 123103, Москва, Карамышевский проезд, 6

Сделано в Китае

Этот продукт предназначен для проекции изображений.

Условия краткосрочного хранения:

Хранить в темных, сухих, чистых, вентилируемых помещениях, изолированными от мест хранения кислот и щелочей.

Хранить вдали от источников тепла и влаги во избежание конденсации.

Условия краткосрочного хранения:

Хранить в темных, сухих, чистых, вентилируемых помещениях, изолированными от мест хранения кислот и щелочей.

Хранить вдали от источников тепла и влаги во избежание конденсации.

- Хранить при температуре от -10°C до +60°C.
- Хранить при относительной влажности не более 80%, без образования конденсата.

Срок хранения не установлен.

Год выпуска: см. информационную табличку на изделии или упаковочной коробке.

Пример (2016-01): 2016: год. 01: месяц

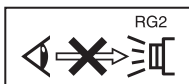
Реализацию осуществлять в соответствии с действующими требованиями законодательства. Отслужившее изделие утилизировать в соответствии с действующими требованиями законодательства.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Использование этого оборудования в жилой зоне может вызвать радиопомехи.



**IEC 60825-1:2014
ЛАЗЕРНАЯ
АППАРАТУРА
КЛАССА 1**



Как и в случае с любым источником яркого света, не смотрите прямо на луч, RG2 IEC 62471-5:2015.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ: Нельзя смотреть сквозь линзу при использовании.

Внимание

Использование устройств управления, регулировок и других процедур может привести к опасной экспозиции излучения.

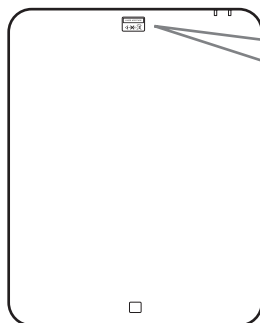
Осторожно!

Выполнение настроек или действий, отличных от указанных может привести к опасному оптическому излучению.

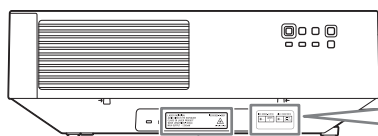
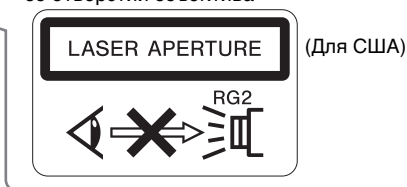
Осторожно!

Использование оптических инструментов с данным изделием приведет к увеличению опасного воздействия на глаза.

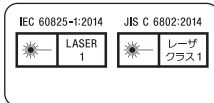
Расположение информации на наклейках



Наклейка с предупреждением об отверстии объектива



НАКЛЕЙКА КЛАССА 1



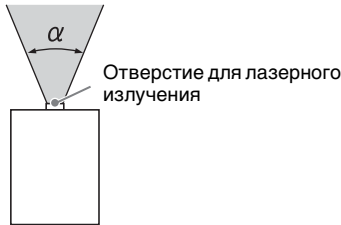
**НАКЛЕЙКА КЛАССА 3R
(Для США)**



Характеристики источника света

Лазерные диоды 4,35 Вт
× 32 (VPL-FHZ75)
× 28 (VPL-FHZ70)
Длина волны: 450 - 460 нм

Угол расходимости пучка от объектива устройства

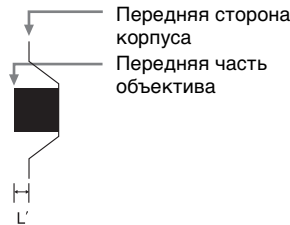


Объектив	Максимальное увеличение: α	Минимальное увеличение: α
Стандартный объектив	45,3°	29,4°
VPLL-3007	84°	—
VPLL-Z3009	69°	61°
VPLL-Z3010	61°	46°
VPLL-Z3024	28°	21°
VPLL-Z3032	21°	14°
VPLL-2007	84°	—
VPLL-Z2009	69°	61°
VPLL-Z1024	28°	21°
VPLL-Z1032	21°	14°
VPLL-3003	122°	—

Расстояние L' между передней частью объектива (центр) и передней частью корпуса

Ед. изм.: мм

Объектив	L'
Стандартный объектив	1,2
VPLL-3007	52,4
VPLL-Z3009	51,2
VPLL-Z3010	60
VPLL-Z3024	9,9
VPLL-Z3032	9,9
VPLL-2007	52,4
VPLL-Z2009	51,2
VPLL-Z1024	9,9
VPLL-Z1032	9,9
VPLL-3003	256

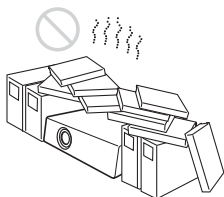


Меры предосторожности

Сведения о безопасности

- Убедитесь, что рабочее напряжение устройства идентично напряжению местной электросети. При необходимости адаптации напряжения обратитесь к квалифицированному персоналу компании Sony.
- В случае попадания внутрь корпуса устройства посторонних предметов или жидкостей отключите его от электрической сети и перед дальнейшим использованием передайте на проверку квалифицированному персоналу компании Sony.
- Если устройство не будет использоваться на протяжении нескольких дней, отключите его от электрической розетки.
- Для отсоединения шнура беритесь за штепсель. Никогда не тяните за шнур.
- Устройство следует подключать к расположенной рядом электрической розетке, доступ к которой ничем не затруднен.
- Устройство остается подключенным к источнику питания переменного тока, пока оно подключено к электрической розетке, даже если само устройство выключено.
- Нельзя смотреть сквозь линзу при использовании.
- При включении проектора убедитесь, что никто не смотрит в объектив проектора.
- Не позволяйте детям самостоятельно использовать устройство.
- Не подносите руки или какие-либо предметы к вентиляционным отверстиям - из них выходит горячий воздух.
- Соблюдайте осторожность, чтобы не защемить пальцы ножками (регулируемыми) во время регулировки высоты устройства. Не давите на устройство с силой, когда регулятор выдвинут.
- Перемещать устройство нужно вдвоем, взявшись за обе стороны устройства.
- Не используйте удлинитель в условиях низкого напряжения - это может вызвать короткое замыкание и привести к травмам.
- Будьте осторожны, чтобы не прищемить пальцы, передвигая проектор, установленный на полу.
- Будьте осторожны, чтобы пальцы не попали в вентилятор.
- Не переносите проектор внутри корпуса с открытой крышкой.
- Не устанавливайте проектор возле источников тепла, например батарей или трубопроводов горячего воздуха, а также в местах, не защищенных от прямых солнечных лучей, в условиях чрезмерной запыленности или влажности, механических вибраций или толчков.
- Разбор, ремонт или изменение устройства пользователем может привести к угрозам безопасности пользователя.
- Если проектор неисправен или поврежден, обратитесь к квалифицированному специалисту Sony.
- В случае блокировки вентиляционных отверстий внутренняя температура устройства повышается, что может стать причиной пожара или повреждения устройства. Выполните следующие действия, чтобы обеспечить необходимую циркуляцию воздуха и предотвратить повышение внутренней температуры устройства.

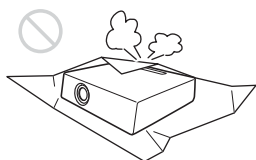
- Установите устройство на некотором расстоянии от стен и других объектов (стр. 10).



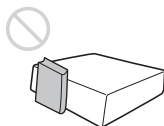
- Ничем не накрывайте вентиляционные отверстия (выходные/входные).



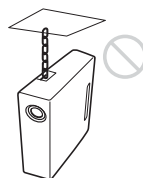
- Не подкладывайте под устройство упаковочный материал, мягкую ткань, коврики, листы или обрезки бумаги. Такие материалы могут попасть в вентиляционные отверстия.



- Не размещайте перед объективом никаких объектов, которые могут заблокировать проекционный свет во время проецирования. Излучаемое тепло может повредить предмет. Используйте функцию блокировки изображения, чтобы прервать отображение.



- При транспортировке или установке устройства не используйте защитную панель для предотвращения кражи устройства. Не поднимайте и не подвешивайте устройство за защитную панель - это может привести к падению и повреждению устройства, а также травмам.



- Перед проецированием убедитесь, что защитная крышка объектива снята. Проецирование с присоединенной крышкой может привести к ее расплавлению вследствие воздействия тепла.

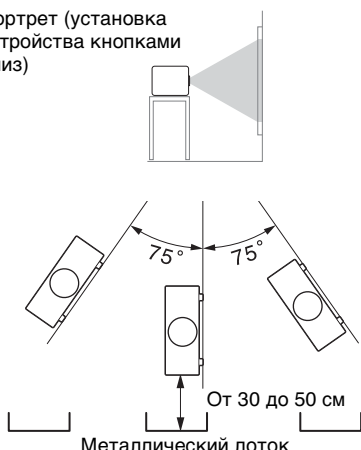
Информация для дилеров

- Для установки проектора на потолке необходимо использовать кронштейн производства компании Sony или аналогичное рекомендованное крепление.
- При установке на потолок плотно закрывайте крышку корпуса.

Внимание!

Установка устройства под углом, как показано на рисунке: если вентиляционные отверстия обращены вниз, установите металлический лоток (мин. 70 см × 40 см), оставив непосредственно под вентиляционными отверстиями указанное далее расстояние. Убедитесь в том, что посторонние предметы и жидкости не могут попасть в вентиляционные отверстия.

Портрет (установка устройства кнопками вниз)



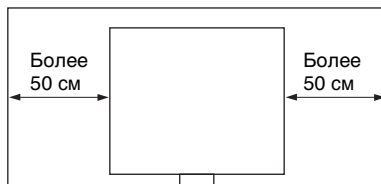
Меры предосторожности при установке устройства на потолке

- Не пытайтесь установить проектор на потолке или переместить его самостоятельно. Обязательно проконсультируйтесь со специалистом в магазине, где был приобретен проектор, или с опытным монтажником.
- Устанавливая устройство на потолке, обязательно используйте страховочный шнур или другие средства для предотвращения падения устройства. Перед установкой обязательно проконсультируйтесь со специалистом в магазине, где был

приобретен проектор, или с опытным монтажником.

Информация по установке

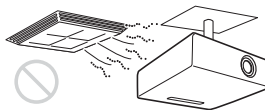
- Устанавливайте устройство на расстоянии от стен и других объектов, как показано на рисунке.



- Не устанавливайте устройство в помещениях с повышенной температурой и влажностью, или пониженной температурой.



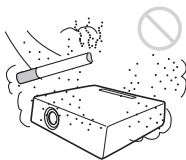
- Не устанавливайте устройство вблизи кондиционера, под прямым потоком холодного или теплого воздуха. Установка в таких местах может привести к неисправности устройства вследствие конденсации влаги или повышения температуры.



- Не устанавливайте устройство вблизи датчиков температуры или дыма. Это может стать причиной неисправности датчика.



- Не устанавливайте устройство в условиях крайней запыленности или задымленности. Воздушный фильтр может засориться, что приведет к неисправности устройства или его повреждению.



- В случае использования устройства на высоте от 1500 м устанавливайте для параметра “Режим выпол.” значение “Вкл.” в меню установки. Если при эксплуатации на значительной высоте не установить данный режим, могут возникнуть нежелательные эффекты, такие как снижение надежности некоторых компонентов.
- Задайте необходимое значение для параметра “Полож. Устан.” в меню установки в соответствии с углом установки. Использование неправильных настроек может повлиять на надежность компонентов.

Очистка линзы и корпуса

- Перед очисткой отключите шнур питания переменного тока от электрической розетки.
- Не вытирайте устройство грязной тканью - это может привести к появлению царапин на корпусе.
- Длительный контакт с летучими веществами (например, средство от насекомых), а также изделиями из резины или винила может привести к изменению внешнего вида устройства и повреждению покрытия.
- Не касайтесь линзы голыми руками.
- Очистка поверхности линзы: Аккуратно протрите линзу мягкой тканью, например тканью для очистки стекла. Загрязнение, которое не удастся устранить,

можно очистить, слегка смочив ткань водой. Не используйте растворители, спирт, бензин или кислоту, щелочные и абразивные моющие средства или пропитанную ткань для очистки.

- Очистка корпуса: Аккуратно очистите корпус мягкой тканью. Загрязнения, которые не удастся устранить, можно очистить, слегка смочив ткань слабым раствором моющего средства, предварительно отжав ее, а затем протерев корпус сухой мягкой тканью. Не используйте растворители, спирт, бензин или разбавитель, кислоту, щелочные и абразивные средства или пропитанную ткань для очистки.

Освещение

Для получения изображения хорошего качества необходимо, чтобы экран был защищен от прямого освещения или солнечного света.

О рассеянии тепла

Температура корпуса проектора может повышаться во время использования или сразу после него; однако это не является неисправностью.

Экран

При использовании экрана с негладкой поверхностью на экране могут иногда появляться полосы, в зависимости от расстояния между экраном и устройством, а также значения приближения. Это не является неисправностью устройства.

Вентилятор

Проектор оснащен внутренним вентилятором, который служит для снижения внутренней температуры. Работа вентилятора может сопровождаться легким шумом. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Однако, при высоком уровне шума следует обратиться к квалифицированному персоналу компании Sony.

Замена линзы

Если питание подключено, не прикрепляйте и не снимайте объектив. Не устанавливайте другие объективы, кроме указанного дополнительного объектива (продается отдельно).

Осмотр компонентов источника освещения

В данном устройстве используется лазер, поэтому при обслуживании или осмотре компонентов источника освещения необходимо соблюдать осторожность и обеспечить безопасность. Обязательно проконсультируйтесь с квалифицированным персоналом компании Sony.

Утилизация использованных продуктов

Не утилизируйте использованные продукты вместе с бытовыми отходами. Соблюдайте порядок утилизации использованных продуктов во избежание негативного воздействия на окружающую среду и здоровье людей. Следуйте нормативам по утилизации, действующим в вашем регионе.

Жидкокристаллический проектор

ЖК-проектор создан с использованием высокоточных технологий. Однако, на экране ЖК-проектора могут периодически появляться мелкие черные и/или яркие (красные, синие или зеленые) точки. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Кроме того, при использовании для проецирования на один экран нескольких ЖК-проекторов, даже одной модели, цветопередача разных проекторов может отличаться, так как баланс цвета на них может быть настроен по-разному.

О конденсации

При быстром изменении температуры в помещении, в котором установлен проектор, или при быстром перемещении проектора из холодного в теплое место внутри него может образоваться конденсат. Так как конденсат может привести к неисправности, соблюдайте осторожность при изменении настроек температуры кондиционера. При образовании конденсата перед использованием проектора оставьте его включенным приблизительно на два часа.

Примечания о безопасности

- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРЬ, ВОЗНИКШИЙ ВСЛЕДСТВИЕ НЕСОБЛЮЖДЕНИЯ МЕР ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ ПРИ ИСПОЛЬЗОВАНИИ УСТРОЙСТВ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, НЕИЗБЕЖНЫХ УТЕЧЕК ИНФОРМАЦИИ, СВЯЗАННЫХ СО

СПЕЦИФИКАЦИЯМИ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, ИЛИ ПРОБЛЕМ БЕЗОПАСНОСТИ ЛЮБОГО РОДА.

- В зависимости от операционной среды возможен несанкционированный доступ посторонних лиц к устройству. При подключении устройства к сети убедитесь в том, что сеть надежно защищена.
- При использовании устройства, подключенного к сети, в целях безопасности рекомендуется открыть окно управления с помощью веб-браузера и изменить заводские настройки по умолчанию для ограничения доступа (см. раздел “Использование сетевых функций” в документе “Инструкции по эксплуатации”). Кроме того, рекомендуется регулярно менять пароль.
- Во время установки настроек и после ее завершения не заходите на какие-либо веб-сайты через веб-браузер. Поскольку состояние входа сохраняется в браузере, по завершении настроек закройте веб-браузер, чтобы предотвратить несанкционированный доступ посторонних лиц к устройству и воздействие вредоносного программного обеспечения.

Примечания

- Всегда проверяйте исправность устройства, прежде чем его использовать. КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВКЛЮЧАЯ, В ЧАСТНОСТИ, КОМПЕНСАЦИЮ ИЛИ ВОЗМЕЩЕНИЕ УБЫТКОВ В СВЯЗИ С УТРАТОЙ ИЛИ НЕДОПОЛУЧЕНИЕМ ПРИБЫЛЕЙ ИЗ-ЗА НЕРАБОТОСПОСОБНОСТИ ЭТОГО ОБОРУДОВАНИЯ, КАК НА ПРОТЯЖЕНИИ ГАРАНТИЙНОГО ПЕРИОДА, ТАК И ПОСЛЕ ИСТЕЧЕНИЯ ГАРАНТИЙНОГО СРОКА, А ТАКЖЕ ВСЛЕДСТВИЕ ЛЮБЫХ ИНЫХ ВОЗМОЖНЫХ ПРИЧИН.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕТЕНЗИИ ЛЮБОГО РОДА, ПРЕДЪЯВЛЕННЫЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЯМИ ЭТОГО ПРИБОРА ИЛИ ТРЕТЬИМИ ЛИЦАМИ.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕКРАЩЕНИЕ ИЛИ ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ КАКИХ-ЛИБО УСЛУГ, СВЯЗАННЫХ С ЭТИМ ПРИБОРОМ, ВНЕ ЗАВИСИМОСТИ ОТ ОБСТОЯТЕЛЬСТВ.

Проверка аксессуаров из комплекта поставки

RM-PJ30 - пульт дистанционного управления (1)
Батареи размера AA (R6) (2)
Шнур питания переменного тока (1)
Держатель штекера (1)
Крышка разъема (1)
Краткое справочное руководство (данное руководство) (1)
Инструкция по эксплуатации (CD-ROM) (1)

Использование руководства на компакт-диске

Руководство можно открыть с помощью компьютера, на котором установлена программа Adobe Reader. Программу Adobe Reader можно бесплатно скачать с веб-сайта Adobe.

- 1** Откройте файл index.html на компакт-диске.
- 2** Выберите нужное руководство и щелкните по нему.

Примечание

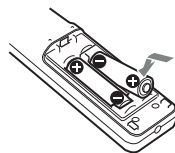
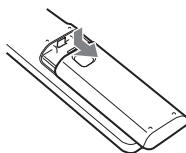
В случае утери или повреждения компакт-диска новый диск можно приобрести у ближайшего дилера Sony или в сервисном центре Sony.

Установка батарей

- 1** Снимите крышку и установите две батареи размера AA (R6) (прилагаются), учитывая полярность.

Сдвиньте крышку, нажав на нее.

Вставляйте батарею со стороны .



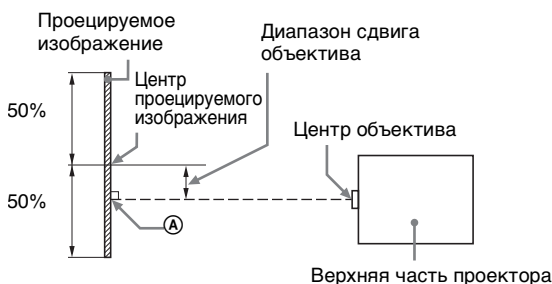
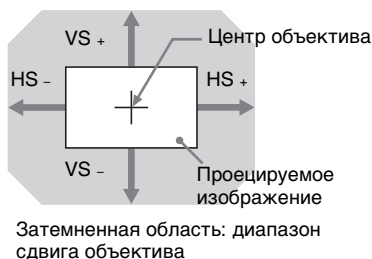
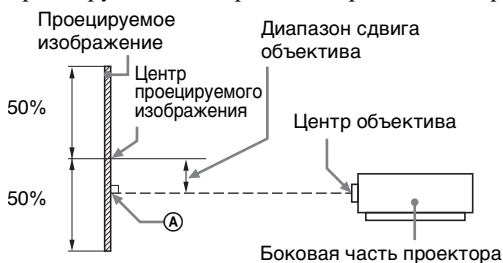
- 2** Закройте крышку.

Расстояние проецирования и диапазон сдвига объектива

Расстояние проецирования соответствует расстоянию между передней частью объектива и проекционным экраном.



Диапазон сдвига объектива соответствует расстоянию в процентах (%), на которое можно сместить объектив от центра проецируемого изображения. Диапазон сдвига объектива принимается равным 0%, если точка на рисунке (A) (точка пересечения линии, проведенной от центра объектива и проецируемого изображения под прямым углом) выровнена с центральной частью проецируемого изображения и полная ширина, а также полная высота проецируемого изображения принимаются равными 100%.



VS +: диапазон сдвига объектива по вертикали вверх [%]

VS -: диапазон сдвига объектива по вертикали вниз [%]

HS +: диапазон сдвига объектива по горизонтали вправо [%]

HS -: диапазон сдвига объектива по горизонтали влево [%]

Расстояние проецирования

Ед. изм.: м

Размер проецируемого изображения		Расстояние проецирования L		
Диагональ	Ширина × Высота	Стандартный объектив	VPLL-3007	VPLL-Z3009
80 дюймов (2,03 м)	1,72 × 1,08	2,36 – 3,86	1,09	1,44 – 1,69
100 дюймов (2,54 м)	2,15 × 1,35	2,96 – 4,84	1,38	1,82 – 2,13
120 дюймов (3,05 м)	2,58 × 1,62	3,57 – 5,82	1,67	2,20 – 2,57
150 дюймов (3,81 м)	3,23 × 2,02	4,47 – 7,29	2,11	2,76 – 3,23
200 дюймов (5,08 м)	4,31 × 2,69	5,97 – 9,73	2,83	3,70 – 4,34

Размер проецируемого изображения	Расстояние проецирования L		
Диагональ	VPLL-Z3010	VPLL-Z3024	VPLL-Z3032
80 дюймов (2,03 м)	1,69 – 2,37	4,00 – 5,48	5,45 – 8,32
100 дюймов (2,54 м)	2,13 – 2,98	5,03 – 6,87	6,84 – 10,43
120 дюймов (3,05 м)	2,56 – 3,59	6,05 – 8,27	8,24 – 12,55
150 дюймов (3,81 м)	3,22 – 4,50	7,59 – 10,36	10,33 – 15,72
200 дюймов (5,08 м)	4,31 – 6,03	10,15 – 13,85	13,82 – 21,00

Формула расчета расстояния проецирования

D: Размер проецируемого изображения (дюймы)

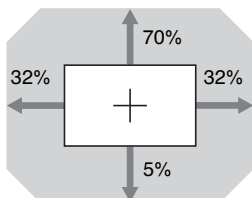
Пример) Введите 80 в D для размера проецируемого изображения 80 дюймов.

Ед. изм.: м

Объектив	Расстояние проецирования L (минимальное расстояние)	Расстояние проецирования L (максимальное расстояние)
Стандартный объектив	$L = 0,030040 \times D - 0,0443$	$L = 0,048910 \times D - 0,0442$
VPLL-3007	$L = 0,014518 \times D - 0,0700$	–
VPLL-Z3009	$L = 0,018832 \times D - 0,0678$	$L = 0,022017 \times D - 0,0635$
VPLL-Z3010	$L = 0,021850 \times D - 0,0631$	$L = 0,030491 \times D - 0,0640$
VPLL-Z3024	$L = 0,051187 \times D - 0,0973$	$L = 0,069717 \times D - 0,0930$
VPLL-Z3032	$L = 0,069792 \times D - 0,1414$	$L = 0,105707 \times D - 0,1323$

Диапазон сдвига объектива

■ Стандартный объектив



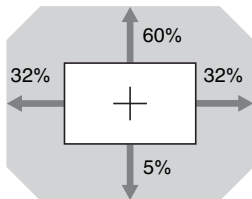
$$VS + = 70 - 2,187 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$HS + = 32 - 0,457 \times VS + [\%]$$

$$HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3024, VPLL-Z3032



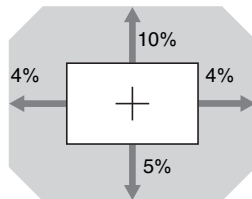
$$VS + = 60 - 1,875 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,156 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 0,533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 32 - 6,400 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-3007



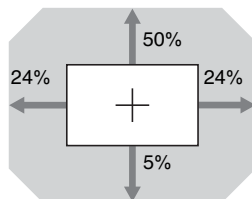
$$VS + = 10 - 2,500 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 1,250 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,400 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 4 - 0,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3009



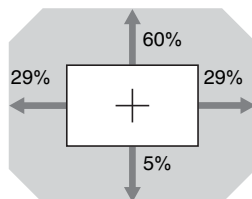
$$VS + = 50 - 2,083 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,208 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 0,480 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 24 - 4,800 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z3010



$$VS + = 60 - 2,069 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

$$VS - = 5 - 0,172 \times (HS + \text{или } HS -) [\%]$$

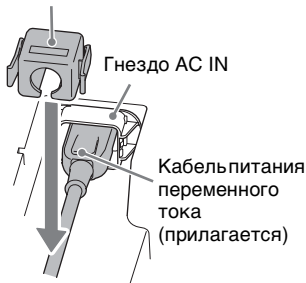
$$HS + = HS - = 29 - 0,483 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 29 - 5,800 \times VS - [\%]$$

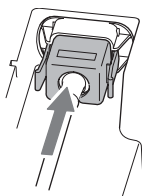
Подключение кабеля питания переменного тока

- 1 Вставьте кабель питания переменного тока в гнездо AC IN, затем подключите держатель штекера к кабелю питания переменного тока.

Держатель штекера (прилагается)



- 2 Сдвиньте держатель штекера по кабелю питания переменного тока для крепления к устройству.



Выбор языка меню

По умолчанию для отображаемых меню, сообщений и т. д. выбран английский язык.

Для изменения языка экрана выполните следующие действия:

- 1 Вставьте шнур питания переменного тока в розетку.
- 2 Включите проектор. Нажмите клавишу I/O на устройстве или кнопку I на пульте дистанционного управления.
- 3 Нажмите клавишу MENU для отображения меню. Если экран отображается нечетко, отрегулируйте фокус, размер и положение проектируемого изображения (стр. 23).
- 4 Выберите язык меню.
 - ① Нажмите клавишу ↑ или ↓, чтобы выбрать меню Operation (O), а затем нажмите клавишу ENTER.
 - ② Нажмите клавишу ↑ или ↓, чтобы выбрать "Language (A)", а затем нажмите клавишу ENTER.

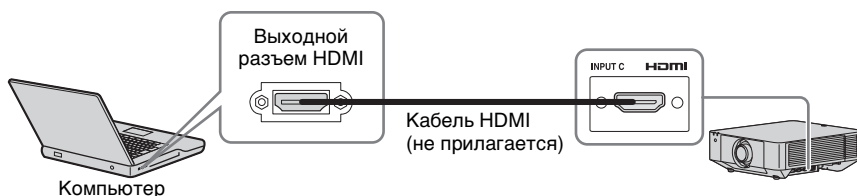
Operation	
A Language	English
Menu Position	Bottom Left
Status	On
IR Receiver	Front & Rear
ID Mode	All
Security Lock	Off
Control Key Lock	Off
Lens Control	On
Sel Set RETURN Back	

- ③ Нажимайте клавишу ↑/↓/←/→ для выбора языка, а затем нажмите ENTER.
- 5 Нажмите клавишу MENU, чтобы отключить экран меню.

Примечания

- Выключите все оборудование перед выполнением любых подключений.
- Используйте соответствующий кабель для каждого соединения.
- Плотно вставляйте разъемы кабеля. Ненадежный контакт может привести к снижению качества видеосигнала или неправильной работе устройства. При отсоединении кабеля тяните за штекер, а не за сам кабель.
- Для получения подробной информации также см. инструкции по эксплуатации подключаемого оборудования.

Подключение компьютера



Примечания

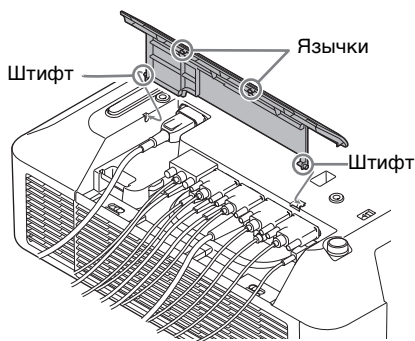
- Используйте оборудование с поддержкой стандарта HDMI и наличием логотипа HDMI.
- Используйте высокоскоростные кабели HDMI, на которых указан логотип с типом кабеля. (Рекомендуется использовать изделия компании Sony.)
- Разъем HDMI этого проектора не совместим с сигналами формата DSD (прямой потоковый цифровой сигнал) и CEC (сигнал управления бытовыми электронными приборами).

Для получения информации о других способах подключения см. раздел “Подключение проектора” в документе “Инструкция по эксплуатации”, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

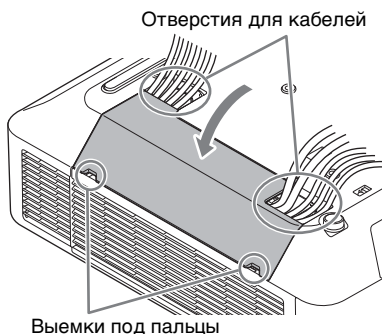
Крепление крышки разъемов

Можно установить прилагаемую крышку разъемов, чтобы предотвратить попадание пыли в разъемы и обеспечить аккуратный внешний вид.

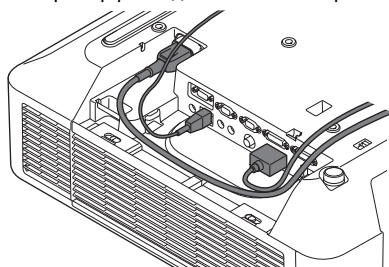
- 1 Вставьте один штифт на боковой части крышки разъемов в отверстие в нижней части устройства, затем вставьте другой штифт, слегка согнув крышку.



- 2 Закройте крышку разъемов. Закройте крышку разъемов так, чтобы два язычка на крышке разъемов защелкнулись.



Пример разводки кабелей на крышке



Примечание

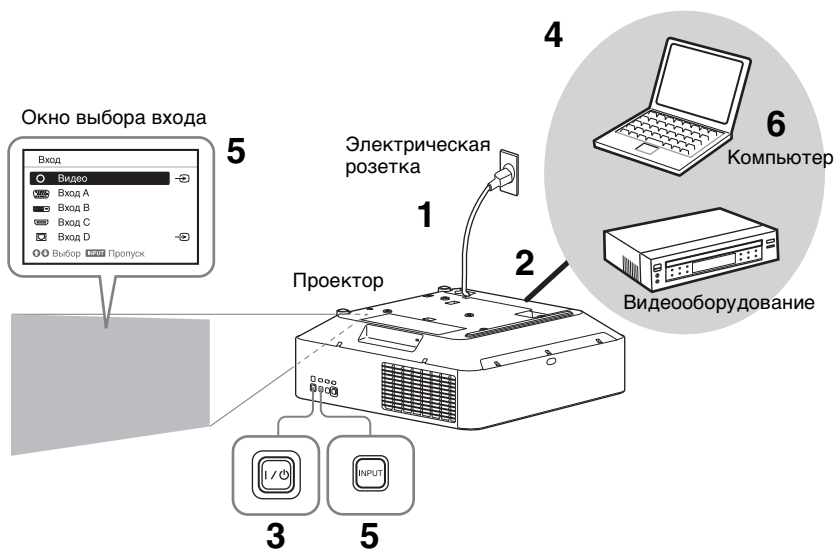
Крышку разъемов, возможно, не удастся установить в зависимости от способа установки, например, от состояния подключенных кабелей, а также при установке устройства на полу. Однако это не скажется на обычном использовании.

Открытие крышки разъемов

Вставьте пальцы в выемки для пальцев и поднимите крышку.

Проецирование изображения

Размер проецируемого изображения зависит от расстояния между проектором и экраном. Устанавливайте проектор таким образом, чтобы проецируемое изображение соответствовало размерам экрана.



- 1** Подключите кабель питания переменного тока к электрической розетке.
- 2** Подключите все оборудование к проектору (стр. 19).
- 3** Включите проектор.
Нажмите клавишу I/⏻ на основном устройстве или клавишу I на пульте дистанционного управления.
- 4** Включите подключенное к телевизору оборудование.
- 5** Выберите источник входного сигнала.
Нажмите клавишу INPUT на проекторе, чтобы отобразить окно выбора входа. Повторно нажимайте клавишу INPUT или клавиши ⬆/⬆, чтобы выбрать проецируемое изображение. Значок сигнала -> отображается с правой стороны в окне выбора входа при подаче сигнала. Кроме этого, источник входного сигнала можно выбрать клавишами прямого выбора входа на пульте дистанционного управления.

6 Изменяя параметры на компьютере, установите вывод изображения на внешний дисплей.

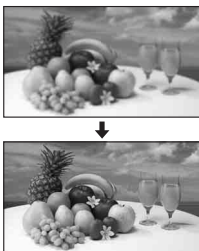
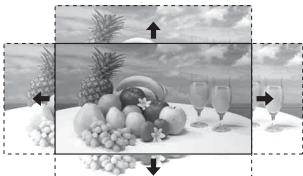
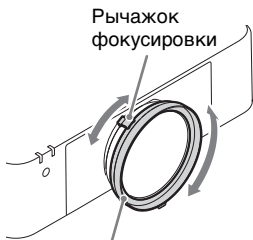
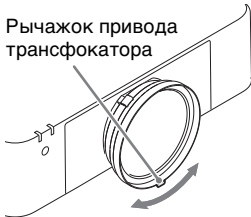
Способ переключения выхода сигнала с компьютера на проектор зависит от типа компьютера.

(Пример)



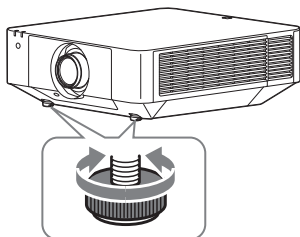
7 Настройте фокусировку, размер и расположение проецируемого изображения.

Регулировка фокусировки, размера и расположения проецируемого изображения

Фокусировка	Размер (увеличение)	Положение (сдвиг объектива)
		
Установлен объектив с функцией электрической фокусировки Нажмите клавишу FOCUS на проекторе или пульте дистанционного управления, затем с помощью клавиши $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ отрегулируйте фокусировку. Установлен объектив с функцией ручной фокусировки С помощью рычажка фокусировки и кольца периферийной фокусировки отрегулируйте фокусировку. Вы можете отрегулировать фокусировку периферийной области, поворачивая кольцо периферийной фокусировки.  Рычажок фокусировки Кольцо периферийной фокусировки	Установлен объектив с функцией электрического увеличения Нажмите клавишу ZOOM на проекторе или пульте дистанционного управления, затем с помощью клавиши $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ отрегулируйте размер. Установлен объектив с функцией ручного увеличения С помощью рычажка привода трансфокатора отрегулируйте размер.  Рычажок привода трансфокатора	Нажмите клавишу LENS SHIFT/SHIFT на проекторе или пульте дистанционного управления, затем с помощью клавиши $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ отрегулируйте положение. Чтобы вернуть объектив в центральное положение проецируемого изображения Во время регулировки нажмите клавишу RESET на пульте дистанционного управления.

Регулировка наклона проектора с помощью передних ножек (регулируемые)

Если проектор установлен на неровной поверхности, изображение можно выровнять с помощью передних ножек (регулируемые).



Примечания

- Будьте осторожны, чтобы ваши пальцы не попали в проектор.
- Не давите слишком сильно на верхнюю часть проектора с выдвинутыми передними ножками (регулируемые). Это может привести к неисправности.

Отображение шаблона для регулировки изображения

С помощью клавиши PATTERN на пульте дистанционного управления можно отобразить шаблон для регулировки проецируемого изображения. Используйте клавиши $\uparrow/\downarrow$ для изменения шаблона и клавиши $\leftarrow/\rightarrow$ для изменения цвета шаблона. Снова нажмите клавишу PATTERN, чтобы восстановить предыдущее изображение.

Автоматическая оптимизация параметров проектора

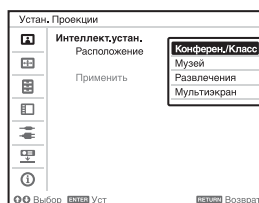
Когда для параметра “Интеллект.устан.” установлено значение “Вкл” в меню “Устан. проекции”, можно оптимизировать параметры изображения, параметры света и работу охлаждения системы (скорость вращения вентилятора), выбрав в меню “Расположение” место

установки, исходя из окружающей среды, в которой используется проектор. Параметр “Интеллект.устан.” предназначен для стабильного и долгого использования проектора.

- 1 Нажмите клавишу MENU, чтобы отобразить меню.
- 2 Установите для параметра “Интеллект.устан.” значение “Вкл” в меню “Устан. проекции”, а затем нажмите на клавишу ENTER.



- 3 Выберите расположение использования проектора из следующих вариантов.



Конферен./Класс: проецирование текста и графики с высокой резкостью. Этот вариант подходит для использования в комнатах для конференций и классах.

Музей: точное отображение цветов. Этот вариант подходит для использования в тихих помещениях, например в галереях или музеях.

Развлечения: отображение изображений с высокой контрастностью. Подходит для использования в тематических парках, местах массового отдыха,

конференц-залах, выставочных помещениях и т. п.

Мультиэкран: Этот вариант подходит для одновременного использования нескольких проекторов для проецирования, например для смешанного проецирования, или для проецирования с нескольких проекторов, установленных рядом.

- 4 Выберите “Применить”, а потом нажмите клавишу ENTER.

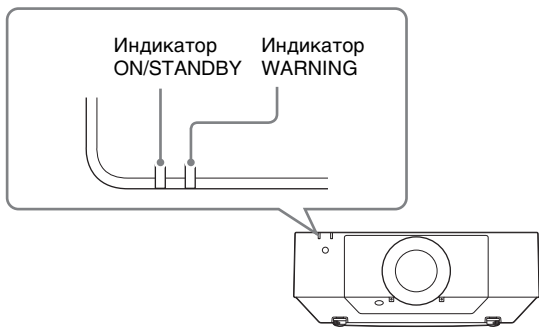
Выключение питания

- 1 Нажмите клавишу I/⏻ на основном устройстве или клавишу ⏻ на пульте дистанционного управления. При этом начнется процедура выключения проектора, и он будет выключен.
Для долгосрочного использования выключайте проектор, когда он не используется.
- 2 Отсоедините кабель питания переменного тока от электрической розетки.

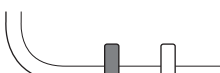
Если требуется дополнительная регулировка проецируемых изображений, см. раздел “Проецирование/регулировка изображения” в документе “Инструкция по эксплуатации”, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Индикаторы

Светящиеся/мигающие индикаторы ON/STANDBY и WARNING на передней части проектора позволяют проверить состояние проектора и узнать о его неправильной работе. Если индикаторы мигают красным светом, решайте проблему в соответствии с указаниями в разделе “Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем” (стр. 27).

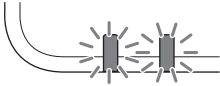


Индикация рабочего состояния

Состояние индикатора	Рабочее состояние	Значение
 (Горит красным (Выкл.) цветом)	Ожидание	Питание подается на проектор, и он находится в режиме ожидания в соответствии с настройками.
 (Мигает зеленым цветом) (Выкл.)	Прогрев	Проектор прогревается после включения.
 (Горит зеленым цветом) (Выкл.)	Включенное состояние	Проектор готов к проецированию.
 (Горит оранжевым цветом) (Выкл.)	Другое состояние ожидания	Проектор находится в режиме ожидания Без сиг. вх. (Выкл. света) или Быстрая загрузка.

Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем

Состояние индикатора	Число вспышек	Значение	Действия
 (Горит красным цветом) (Мигает красным)	Две	Боковая крышка или воздушный фильтр установлены ненадежно.	Проверьте крепление боковой крышки или воздушного фильтра и закрепите их надлежащим образом.
	Три раза	Источник света работает неправильно.	Отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.
	Шесть раз	Обнаружен сильный удар по проектору.	Если отсутствуют видимые нарушения работы, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.
	Восемь раз	Объектив установлен ненадежно.	Проверьте крепление объектива и установите его надлежащим образом.

Состояние индикатора	Число вспышек	Значение	Действия
 (Мигает красным) (Мигает красным) Оба индикатора мигают	Две	Ненормальная температура проектора.	• Проверьте воздушный фильтр, и если он засорился, очистите или замените его (стр. 29). • Убедитесь, что вентиляционные отверстия (впускные/выпускные) не заблокированы стеной или предметом, и при необходимости установите проектор на достаточном расстоянии от них. • Проверьте окружающую температуру воздуха. Используйте проектор в пределах рабочего диапазона температур.

Если индикаторы мигают иным образом, отличным от описанных выше, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.

Если проблему не удастся устранить, обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

При возникновении каких-либо проблем или отображении сообщения об ошибке на экране см. раздел “Список сообщений” или “Поиск и устранение неисправностей” в документе “Инструкция по эксплуатации”, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Очистка воздушного фильтра

При появлении сообщения об очистке воздушного фильтра очистите воздушный фильтр.

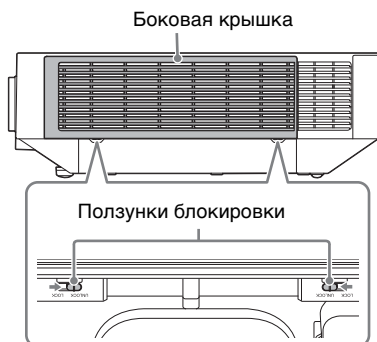
Если даже после очистки пыль из воздушного фильтра удалить не удается, замените воздушный фильтр новым.

Для получения дополнительной информации о новом воздушном фильтре обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

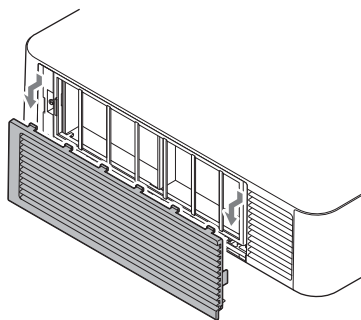
Осторожно

Если продолжить эксплуатацию проектора после отображения этого сообщения, в нем может накопиться пыль, что приведет к засорению. В результате внутри устройства может повыситься температура, что может привести к неисправности или возгоранию.

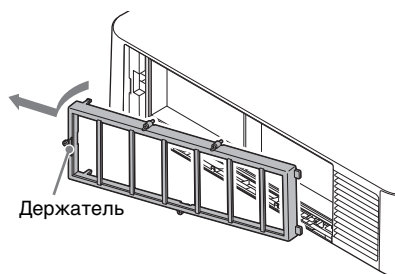
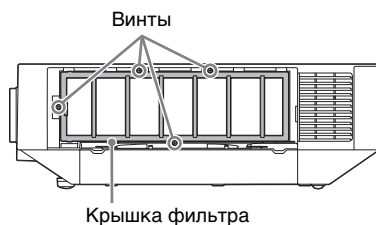
- 1 Выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.
- 2 Для снятия крышки переместите ползунок блокировки в положение UNLOCK.



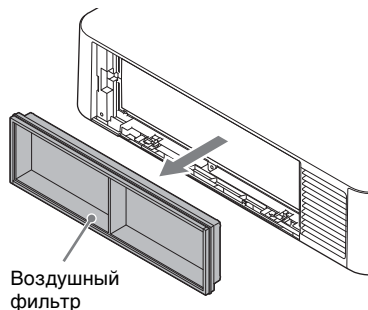
- 3 Чтобы снять боковую крышку, сдвиньте ее вниз, нажав на верхние углы с обеих сторон.



- 4 Ослабьте винты (четыре) и извлеките крышку фильтра, поддев ее за держатель с левой стороны.



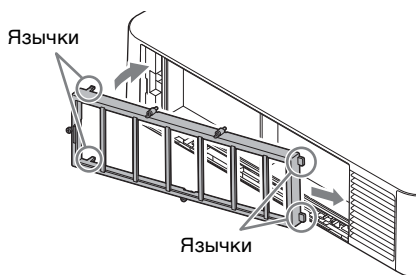
- 5** Извлеките воздушный фильтр из основного устройства.



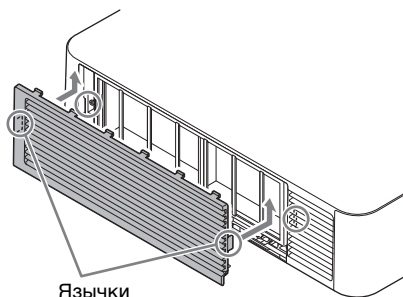
- 6** Очистите воздушный фильтр пылесосом.

- 7** Поместите воздушный фильтр на место и установите крышку фильтра.

При установке крышки фильтра вставьте два язычка с правой стороны в пазы, поверните крышку фильтра, используя правую часть в качестве оси, и вставьте два язычка с левой стороны в пазы. После этого затяните четыре винта.



- 8** Вставьте два язычка на боковой крышке в пазы и переместите боковую крышку вверх.



- 9** Заприте боковую крышку.

Примечание

Убедитесь в надежной установке воздушного фильтра. Питание не удастся включить, если он установлен неправильно.

Замена объектива проектора

Примечания

- Старайтесь не выполнять снятие или установку объектива проектора, установленного на потолке.
- Информацию по использованию проекционных объективов см. в разделе “Дополнительные принадлежности” документа Инструкции по эксплуатации.
- Не устанавливайте другие объективы, кроме указанного дополнительного объектива (продается отдельно).
- Будьте аккуратны, чтобы не уронить объектив проектора.
- Не прикасайтесь к линзе объектива.

Снятие

- 1 Верните объектив проектора в центральное положение. При включенном устройстве нажмите кнопку LENS SHIFT на пульте дистанционного управления, затем нажмите кнопку RESET на нем. Объектив проектора вернется в центральное положение.

Примечание

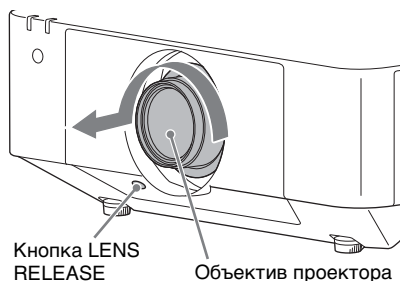
Объектив невозможно снять, пока он не вернулся в центральное положение.

- 2 Выключите проектор, а затем отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.

Осторожно

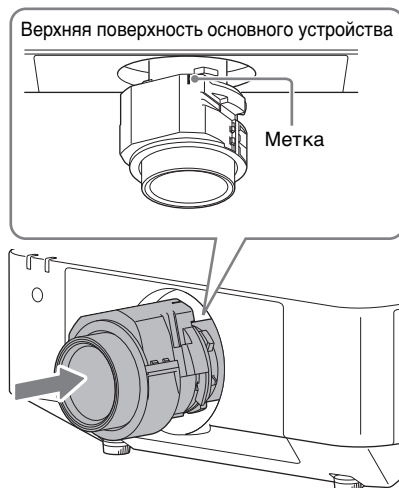
При замене объектива возможно попадание яркого света в глаза, что может повредить зрение. Перед заменой объектива выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока.

- 3 Нажав и удерживая кнопку LENS RELEASE, поверните объектив проектора против часовой стрелки, и выньте его без перекоса.

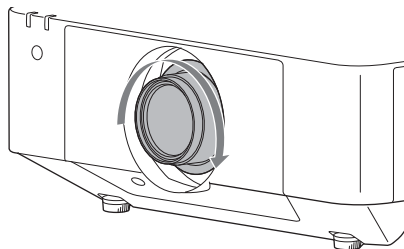


Установка

- 1 Полностью вставьте объектив проектора, направив метку на объективе в сторону верхней поверхности основного устройства.



2 Поверните объектив по часовой стрелке до щелчка.



Примечание

При установке объектива не нажимайте на кнопку LENS RELEASE.

Қазақстандағы тұтынушыларға арналған

Ақпараттық проектор VPL-FHZ75/FHZ70

Конденсацияны болдырмау үшін, ыстық және ылғал көздерінен алыс сақтаңыз.

Жұмыс температурасы: 0 °C – 40 °C

Жұмыс ылғалдылығы: 20% – 80%
(конденсатсыз)

Сақтау температурасы: -10°C – +60°C.

Сақтау ылғалдылығы: конденсациясыз
20% – 80% аспайды.

Сақтау мерзімі белгіленбеген.

Қажетті қуат:

VPL-FHZ75: 100 В – 120 В айнымалы ток,
5,4 А – 2,2 А, 50/60 Гц

VPL-FHZ70: 100 В – 240 В айнымалы ток,
4,9 А – 2,0 А, 50/60 Гц

Тұтынылатын қуат:

100 В – 120 В айнымалы ток:

VPL-FHZ75: 537 Вт, VPL-FHZ70: 483 Вт

220 В – 240 В айнымалы ток:

VPL-FHZ75: 518 Вт, VPL-FHZ70: 468 Вт

Тұтынылатын қуат (күту режимі):

100 В – 120 В айнымалы ток: 0,50 Вт

(күту режимі төмен мәнге қойылғанда)

220 В – 240 В айнымалы ток: 0,50 Вт

(күту режимі төмен мәнге қойылғанда)

Тұтынылатын қуат (желілік күту
режимі):

100 В – 120 В айнымалы ток: 16,0 Вт

(LAN), 20,7 Вт (HDBaseT), 20,7 Вт

(барлық клеммалар мен желілер
жалғанған) (күту режиміне стандартты
мән қойылғанда)

220 В – 240 В айнымалы ток: 13,3 Вт

(LAN), 18,7 Вт (HDBaseT), 18,7 Вт

(барлық клеммалар мен желілер
жалғанған) (күту режиміне стандартты
мән қойылғанда)

Жылу таралуы:

100 В – 120 В айнымалы ток:

VPL-FHZ75: 1833 БЖБ/сағ,

VPL-FHZ70: 1648 БЖБ/сағ

220 В – 240 В айнымалы ток:

VPL-FHZ75: 1768 БЖБ/сағ,

VPL-FHZ70: 1597 БЖБ/сағ

Сыртқы көлемдері:

460 × 175 × 515 мм (Е/Б/Қ)

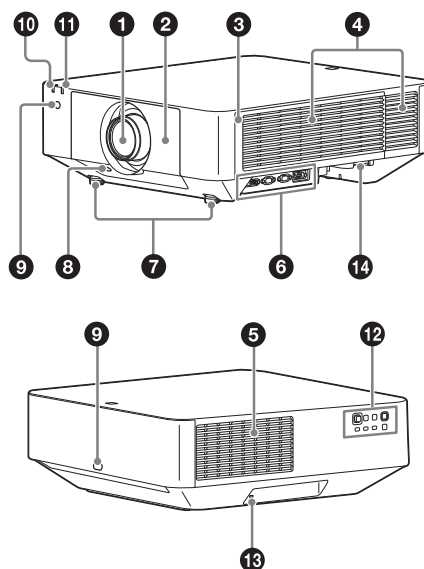
460 × 169 × 515 мм (Е/Б/Қ) (шығыңқы
бөліктерсіз)

Салмағы:

Шамамен 16 кг

Басқару элементтерінің орны мен функциясы

Негізгі құрылғы



- 1 Объектив
- 2 Алдыңғы панель
- 3 Бүйір жабын
- 4 Желдету тесіктері (ішке)

5 Желдету тесіктері (сыртқа)

Абайлаңыз

Желдету тесіктерінің жанына ештеңе қоймаңыз, себебі соның салдарынан ішкі жағы қызуы мүмкін. Желдету тесіктерінің (сыртқа бағытталған) жанына және маңайына қолдарыңызды қоймаңыз, себебі ол жарақаттауы мүмкін.

6 Терминалдар (34-бет)

7 Алдыңғы аяқтар (реттемелі)

8 LENS RELEASE түймесі

9 Қашықтан басқару құралының қабылдағышы

Қашықтан басқару құралының қабылдағыштары проектордың алдында және артында орналасқан.

10 ON/STANDBY индикаторы

11 WARNING индикаторы

12 Басқару панелі (35-бет)

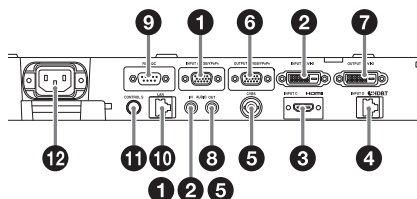
13 Ұрлыққа қарсы құлып

Kensington шығарған таңдаулы ұрлыққа қарсы кабельге жалғайды. Kensington веб-сайтынан қосымша ақпарат алыңыз.
<http://www.kensington.com/>

14 Ұрлыққа қарсы жолақ

Сатып алынған ұрлыққа қарсы шынжырға немесе сымға жалғайды.

Терминалдар



1 INPUT A

Бейне: RGB/YPbPr кіріс терминалы (RGB/YPbPr)

Аудио: аудио кіріс терминалы (AUDIO)

2 INPUT B

Бейне: DVI-D кіріс терминалы (DVI-D)

Аудио: аудио кіріс терминалы (AUDIO)

3 INPUT C

Бейне: HDMI кіріс терминалы (HDMI)

Аудио: HDMI кіріс терминалы (HDMI)

4 INPUT D

HDBaseT терминалы

5 VIDEO (VIDEO IN)

Бейне: бейне кіріс терминалы
Аудио: аудио кіріс терминалы (AUDIO)

Ескертпелер

- Проектордың аудио кіріс терминалдары сыртқы жабдыққа дыбыс шығаруға арналған. Сыртқы аудио жабдықты аудио шығыс көзіне жалғаңыз.
- INPUT A, INPUT B және VIDEO аудио кірістері бөлісіледі.

6 OUTPUT A

Бейне: RGB/YPbPr шығыс терминалы (RGB/YPbPr)

7 OUTPUT B

Бейне: DVI-D шығыс терминалы (DVI-D)

8 AUDIO OUT

Аудио: аудио шығыс терминалы (AUDIO)

Ескертпе

Бұл терминалдар кескіндерді немесе дыбысты проекциялап шығарады. Кескіндерге қатысты INPUT A ұясынан шыққан сигнал кірісі OUTPUT A ұясынан беріледі, ал INPUT B сигнал кірісі OUTPUT B ұясынан шығады. Дегенмен INPUT B ұясынан шыққан кіріс сигналы HDCP арқылы қорғалады, сигнал OUTPUT B ұясынан шықпайды. Дыбысқа қатысты INPUT A не B, не болмаса VIDEO ұясы тандалғанда, аудио кіріс терминалынан аудио сигнал кірісі шығады; INPUT C не D тандалғанда, тандалған кіріс терминалынан аудио сигнал кірісі шығады.

9 RS-232C терминалы

RS-232C үйлесімді басқару терминалы

10 LAN терминалы

11 CONTROL S кіріс терминалы (тұрақты ток көзі) (CONTROL S)

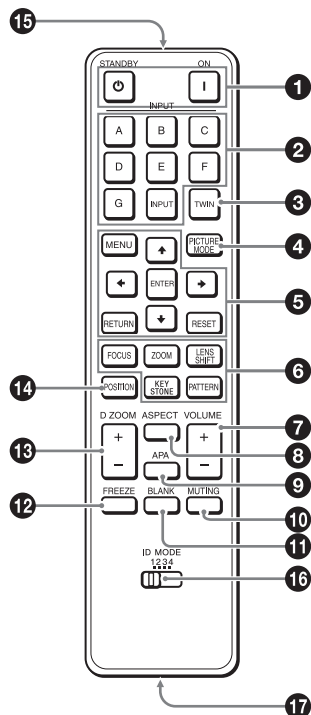
Сымды қашықтан басқару құралы етіп пайдаланғанда, жинақтағы қашықтан басқару құралындағы CONTROL S шығыс терминалына кабельмен (стерео шағын ашалы (жинақта жоқ)) жалғайды. Қашықтан басқару құралына батареяларды салудың қажеті жоқ, себебі қуат осы терминалдан беріледі.

12 Айнымалы ток кірісі (~) ұясы

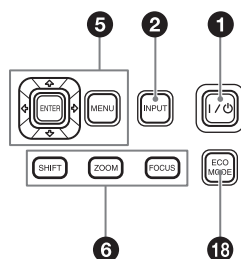
Жинақтағы айнымалы ток сымын жалғайды.

Қашықтан басқару құралы және басқару панелі

Қашықтан басқару құралы



Басқару панелі



1 I (қосу) пернесі / O (күту режимі) пернесі

Проекторды қосады немесе күту режиміне өтеді.

2 INPUT пернесі/Тікелей кіріс таңдау пернелері

Кіріс сигналын таңдаңыз.

VIDEO (VIDEO IN) сигналын INPUT пернесімен таңдаңыз.

Бұл проекторда E, F және G пернелері пайдаланылмайды.

3 TWIN (қосарланған кескін) пернесі

Экранда екі кіріс сигналынан келген кескіндерді бір уақытта негізгі кескін және қосалқы кескін етіп проекциялайды.

4 PICTURE MODE пернесі

«Кескін режимі» параметрін ауыстырады.

Ескертпе

Проекция параметрі мәзіріндегі «Зияткерлік параметр» опциясына «Қосу» мәні қойылғанда, «Кескін режимі» параметрін орнатылмайды.

5 MENU пернесі/ENTER пернесі/▲/▼/◀/▶ (бағыттауыш) пернелері/RETURN пернесі/RESET пернесі

Негізгі әрекет үшін пайдаланылады.

6 FOCUS пернесі

Электр фокустық объектив бекітілгенде пайдаланылады.

ZOOM пернесі

Электр масштабтау объективі бекітілгенде пайдаланылады.

LENS SHIFT/SHIFT пернесі/PATTERN пернесі/KEYSTONE пернесі

Проекцияланған кескінді реттеу үшін пайдаланылады.

7 VOLUME пернесі

Проектордың аудио шығыс терминалынан шыққан дыбыс деңгейін реттейді.

8 ASPECT пернесі

Проекцияланған кескіннің өлшемдер арақатынасын өзгертеді.

9 APA (пикселді автоматты туралау) пернесі

Компьютер сигналы RGB кіріс терминалы (INPUT A) арқылы кіргенде, кескіннің ең анық деңгейіне автоматты түрде реттейді. Реттеу кезінде APA пернесін қайтадан басқанда, реттеуден бас тартуға болады.

10 MUTING пернесі

Дыбысты өшіреді. Алдыңғы дыбыс деңгейін қалпына келтіру үшін қайтадан басыңыз.

11 BLANK пернесі

Кескінді уақытша қиып алады. Кескінді қалпына келтіру үшін қайтадан басыңыз.

12 FREEZE пернесі

Проекцияланған кескінді уақытша тоқтатады. Кескінді қалпына келтіру үшін қайтадан басыңыз.

Компьютерден сигнал келгенде, осы пернені басыңыз.

13 D ZOOM (цифрлық масштаб) пернесі

Проекция кезінде кескіннің бір бөлігін үлкейтеді.

14 POSITION (кескін орны) пернесі

Проектор үшін пайдаланылмайды.

15 Инфрақызыл таратқыш

16 ID MODE қосқышы

Қашықтан басқару құралының идентификаторлық режимін орнатыңыз. Бірнеше проектор пайдаланылған кезде әр проекторға әр түрлі идентификаторлық нөмір тағайындасаңыз, идентификаторлық режимі қашықтан басқару құралымен бірдей проекторды ғана басқара аласыз.

17 CONTROL S шығыс

терминалы

Қашықтан басқару құралын сымды тәсілмен қолдану үшін проектордағы CONTROL S кіріс терминалын кабельмен (стерео шағын ашалы (жинақта жоқ)) жалғаңыз.

Қашықтан басқару құралына батареяларды салудың қажеті жоқ, себебі қуат проектордан беріледі.

18 ECO MODE пернесі

Қуат үнемдеу режимі үшін пайдаланылады.

Қашықтан басқару құралының әрекеті туралы

- Қашықтан басқару құралын қашықтан басқару құралының қабылдағышына қарай бағыттаңыз.
- Қашықтан басқару құралы мен проектордың арақашықтығы неғұрлым жақын болса, қашықтан басқару құралының проекторды басқару бұрышы соғұрлым кең болады.
- Егер қашықтан басқару құралы мен проектордағы қабылдағыштың арасында кедергі болса, проектор қашықтан басқару құралынан сигнал қабылдай алмауы мүмкін.

